
佐倉市高齢者福祉・介護計画
見直しのためのアンケート調査
報 告 書

平成 26 年 10 月

佐倉市

調査の概要

1 調査目的

本調査は、平成 27 年度から平成 29 年度までを計画期間とする「第 6 期佐倉市高齢者福祉・介護計画」策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査概要

(1) 調査の種類および調査対象者

調査種別	調査対象者	対象者数
ア. 介護保険第 1 号被保険者調査 (65 歳以上 75 歳未満)	平成 26 年 6 月末日時点において、要支援・要介護認定を受けていない市内在住の 65 歳以上 75 歳未満の高齢者（無作為抽出）	500 名
イ. 介護保険第 1 号被保険者調査 (75 歳以上)	平成 26 年 6 月末日時点において、要支援・要介護認定を受けていない市内在住の 75 歳以上の高齢者（無作為抽出）	500 名
ウ. 要支援認定者調査	平成 26 年 6 月末日時点において、要支援認定を受けている市内在住の被保険者（無作為抽出）	500 名
エ. 要介護認定者調査	平成 26 年 6 月末日時点において、要介護認定を受けている市内在住の被保険者（無作為抽出）	500 名

※「ア」と「イ」及び「ウ」と「エ」は、共通の調査票を使用しています。

(2) 調査方法

郵送配布、郵送回収（無記名、自記式）

(3) 調査期間

平成 26 年 7 月 11 日（金）～7 月 31 日（木）

(4) 回収結果

調査種別	配布数	有効回収数	有効回収率
ア. 一般高齢者調査（65 歳以上 75 歳未満）	500	305	61.0%
イ. 一般高齢者調査（75 歳以上）	500	276	55.2%
ウ. 要支援認定者調査（要支援 1、2）	500	295	59.0%
エ. 要介護認定者調査（要介護 1～5）	500	211	42.2%
合 計	2,000	1087	54.4%

3 調査結果の見方

- (1) 集計・分析にあたり、共通の調査票を使用している「ア. 一般高齢者調査（65歳以上75歳未満）」と「イ. 一般高齢者（75歳以上）」及び「ウ. 要支援認定者調査」と「エ. 要介護認定者」を一体のものとして取り扱い、「全体」の値を算出しています。
- (2) 集計した数値（%）は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が一つだけの場合、選択肢の数値（%）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
- (3) 回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えます。
- (4) アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表では、要約して表現している場合があります。
- (5) 表では、特別の表記がない限り、%（小数点以下第1位まで）を表示しています。

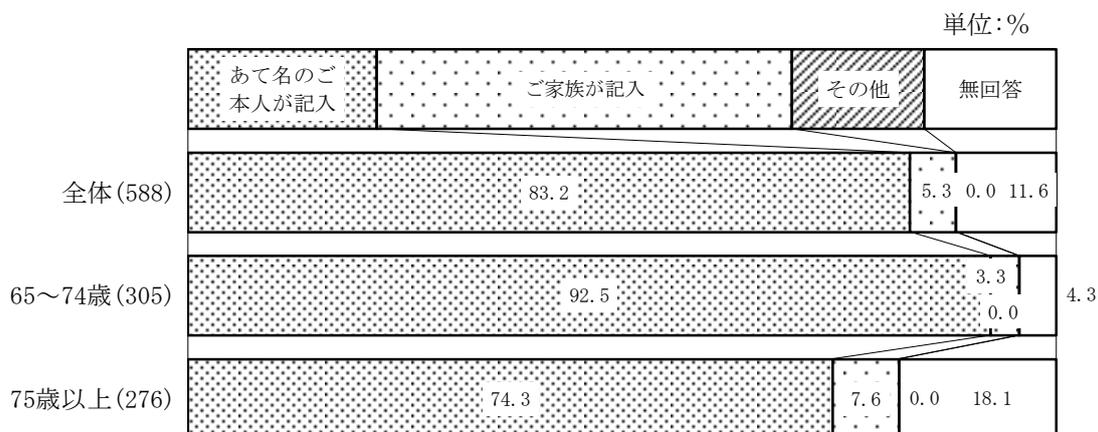
※ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

65歳以上の市民の実態と意向
(一般高齢者調査結果)

□この調査票は、どなたがご記入されますか。

(1つに○)

1. あて名のご本人が記入 2. ご家族が記入 3. その他



【全体（記入者）】

「あて名のご本人が記入」が 83.2%を占めています。

【65～74 歳（記入者）】

「あて名のご本人が記入」が 92.5%を占めています。

【75 歳以上（記入者）】

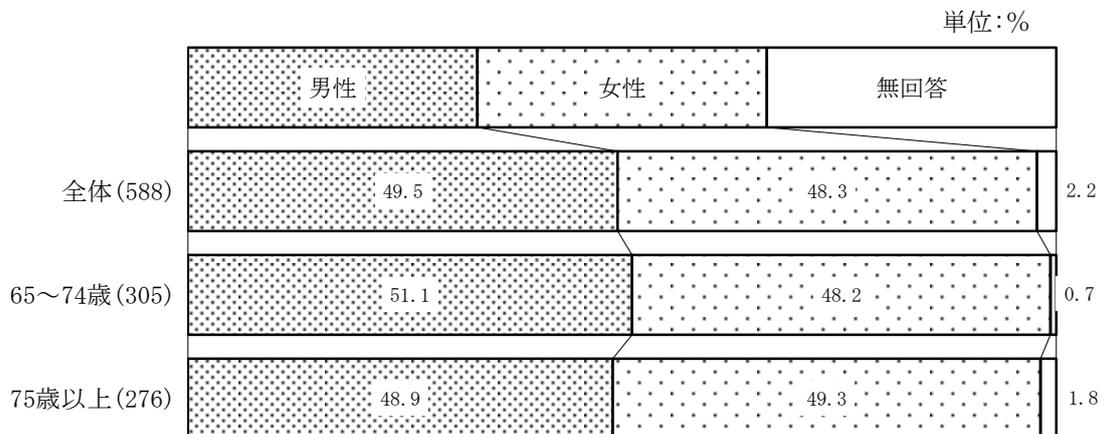
「あて名のご本人が記入」が 74.3%を占めています。

あて名ご本人（以下、「ご本人」）について、おうかがいします

□ご本人の性別をお答えください。

（1つに○）

1. 男性	2. 女性
-------	-------



【全体（本人の性別）】

「男性」が49.5%、「女性」が48.3%となっています。

【65～74歳（本人の性別）】

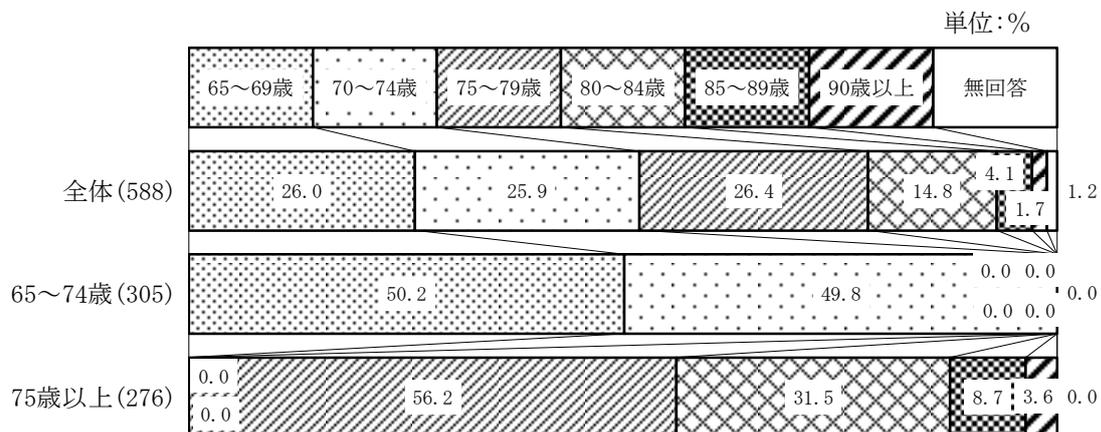
「男性」が51.1%、「女性」が48.2%となっています。

【75歳以上（本人の性別）】

「男性」が48.9%、「女性」が49.3%となっています。

□ご本人の年齢をお答えください。（平成26年7月1日現在） （1つに○）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 4. 80～84歳 |
| 2. 70～74歳 | 5. 85～89歳 |
| 3. 75～79歳 | 6. 90歳以上 |



【全体（本人の年齢）】

「75～79歳」が26.4%で最も多く、次いで「65～69歳」が26.0%、「70～74歳」が25.9%、「80～84歳」が14.8%となっています。

【65～74歳（本人の年齢）】

「65～69歳」が50.2%、「70～74歳」が49.8%となっています。

【75歳以上（本人の年齢）】

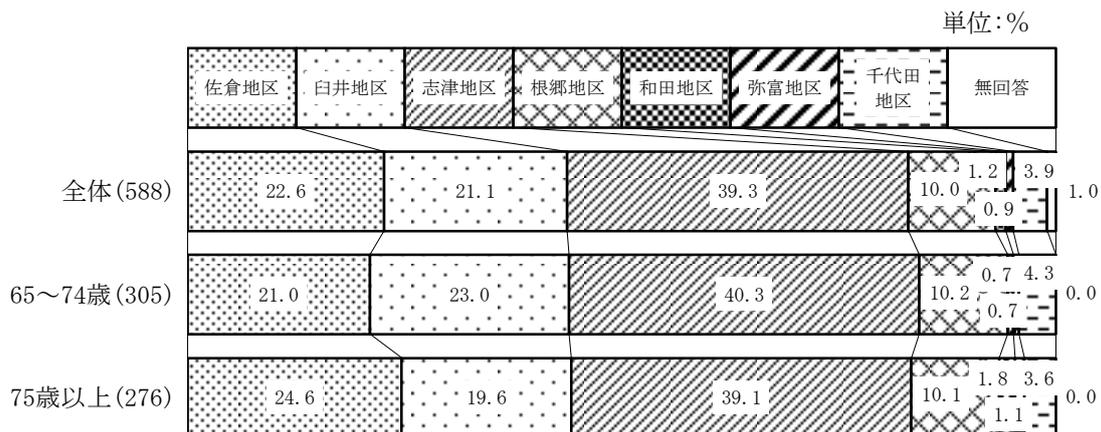
「75～79歳」が56.2%、「80～84歳」が31.5%、「85～89歳」が8.7%となっています。

□ご本人のお住まいは、どの地区ですか。

(1つに○)

- 1. 佐倉地区
- 2. 臼井地区
- 3. 志津地区
- 4. 根郷地区
- 5. 和田地区
- 6. 弥富地区
- 7. 千代田地区

封筒のあて名に記載されている地区と同じものに○を付けてください。



【全体（本人の居住地区）】

「志津地区」が39.3%で最も多く、次いで「佐倉地区」が22.6%、「臼井地区」が21.1%となっています。

【65～74歳（本人の居住地区）】

「志津地区」が40.3%で最も多く、次いで「臼井地区」が23.0%、「佐倉地区」が21.0%となっています。

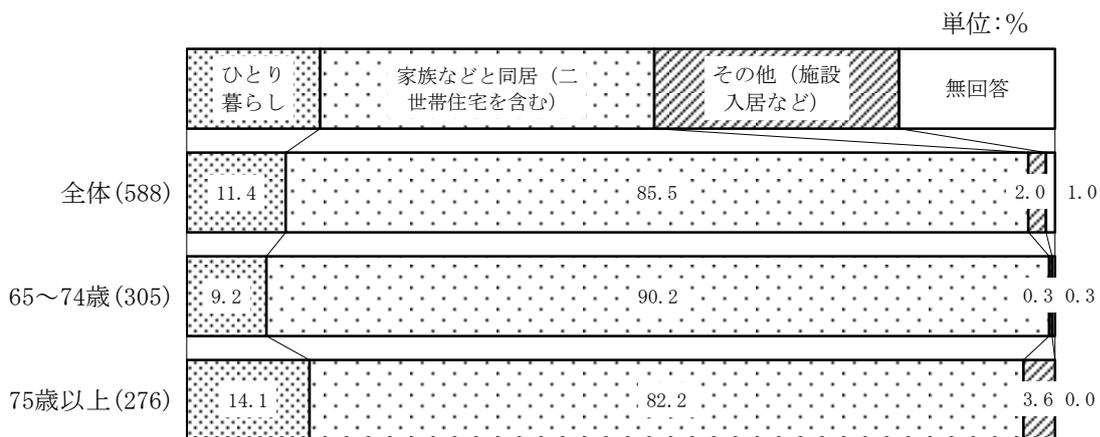
【75歳以上（本人の居住地区）】

「志津地区」が39.1%で最も多く、次いで「佐倉地区」が24.6%、「臼井地区」が19.6%となっています。

(1) ご本人のご家族や生活状況について、おうかがいします

問 1. ご本人の世帯の状況をお答えください。 (1つに〇)

1. ひとり暮らし 2. 家族などと同居 (二世帯住宅を含む) 3. その他 (施設入居など)



【全体 (問 1)】

「家族などと同居 (二世帯住宅を含む)」が 85.5%を占めています。

【65～74 歳 (問 1)】

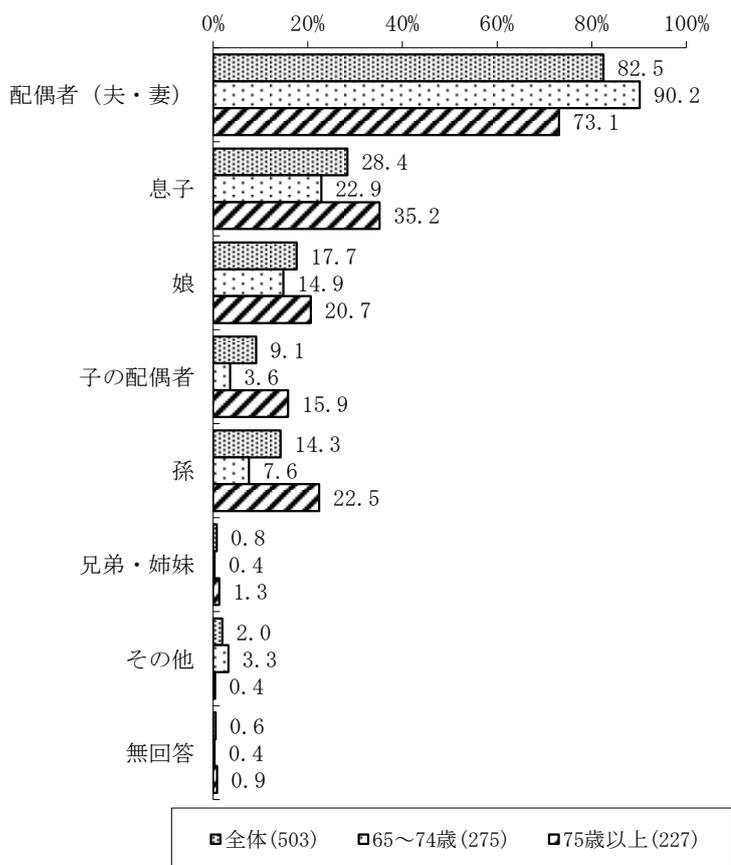
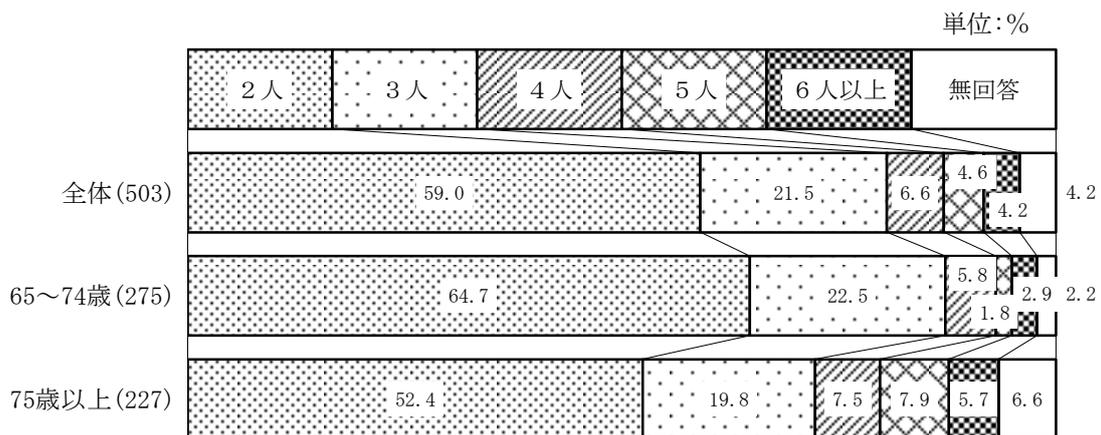
「家族などと同居 (二世帯住宅を含む)」が 90.2%を占めています。

【75 歳以上 (問 1)】

「家族などと同居 (二世帯住宅を含む)」が 82.2%を占めています。

問 1-1. (家族など同居されている方のみ) ご自分を含めて何人で暮らしていますか。
 また、同居されている方はどなたですか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 配偶者(夫・妻) | 5. 孫 |
| 2. 息子 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 3. 娘 | 7. その他() |
| 4. 子の配偶者 | |



【全体（問 1-1）】

同居人数は「2人」が59.0%で最も多く、次いで「3人」が21.5%となっています。
同居者は「配偶者（夫・妻）」が82.5%、「息子」が28.4%、「娘」が17.7%となっています。

【65～74歳（問 1-1）】

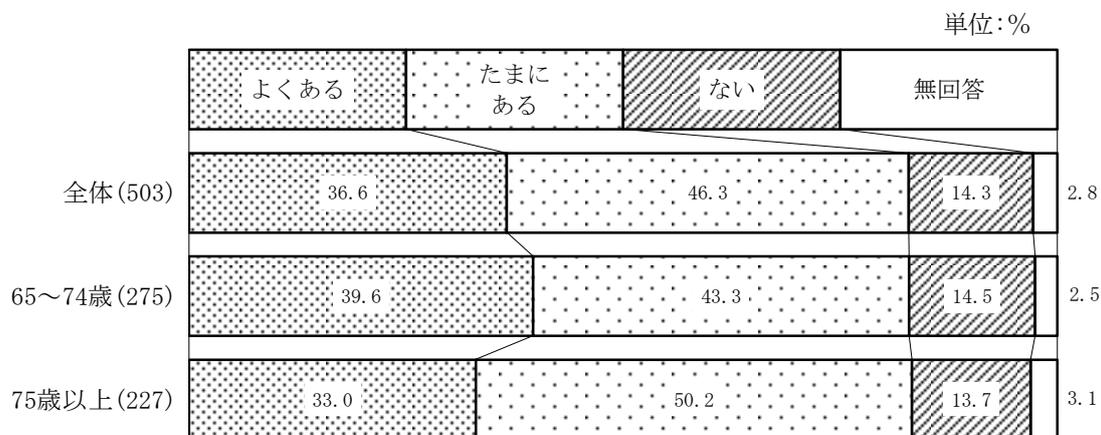
同居人数は「2人」が64.7%で最も多く、次いで「3人」が22.5%となっています。
同居者は「配偶者（夫・妻）」が90.2%、「息子」が22.9%、「娘」が14.9%となっています。

【75歳以上（問 1-1）】

同居人数は「2人」が52.4%で最も多く、次いで「3人」が19.8%となっています。
同居者は「配偶者（夫・妻）」が73.1%、「息子」が35.2%、「孫」が22.5%となっています。

問 1-2. （家族など同居されている方のみ）日中、一人になることはありますか。
（1つに〇）

1. よくある	2. たまにある	3. ない
---------	----------	-------



【全体（問 1-2）】

「たまにある」が46.3%、「よくある」が36.6%、「ない」が14.3%となっています。

【65～74歳（問 1-2）】

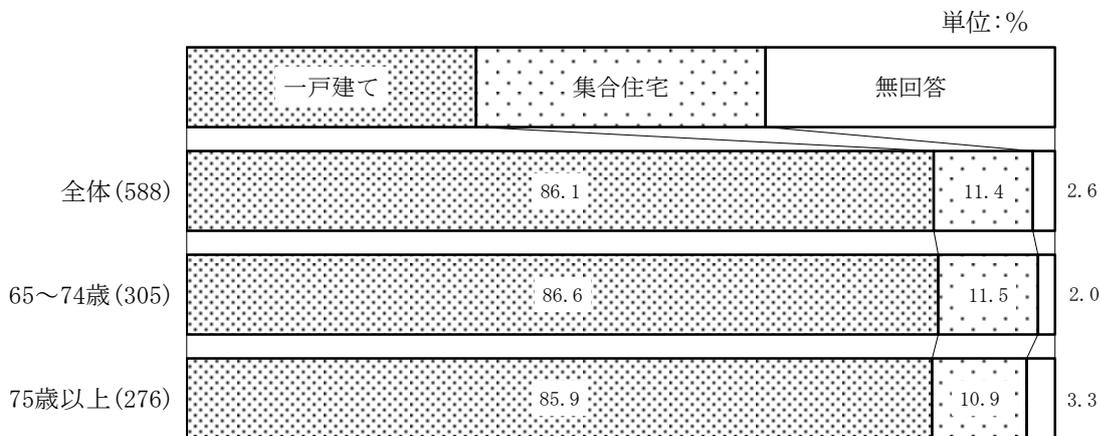
「たまにある」が43.3%、「よくある」が39.6%、「ない」が14.5%となっています。

【75歳以上（問 1-2）】

「たまにある」が50.2%、「よくある」が33.0%、「ない」が13.7%となっています。

問 2. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。 (1つに〇)

1. 一戸建て	2. 集合住宅
---------	---------



【全体 (問 2)】

「一戸建て」が 86.1% を占め、「集合住宅」が 11.4% となっています。

【65～74 歳 (問 2)】

「一戸建て」が 86.6% を占め、「集合住宅」が 11.5% となっています。

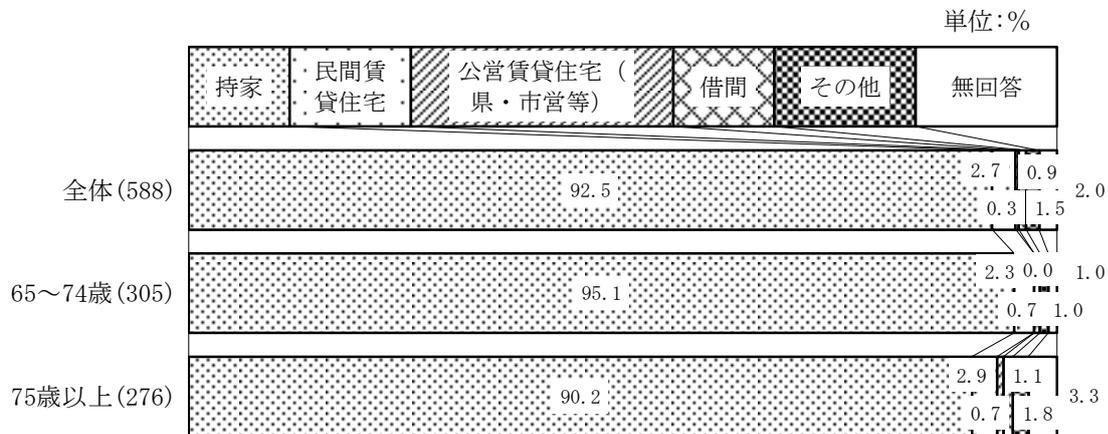
【75 歳以上 (問 2)】

「一戸建て」が 85.9% を占め、「集合住宅」が 10.9% となっています。

問 3. お住まいは、次のどれにあたりますか。

(1つに○)

- | | |
|------------------|--------|
| 1. 持家 | 4. 借間 |
| 2. 民間賃貸住宅 | 5. その他 |
| 3. 公営賃貸住宅（県・市営等） | |



【全体（問3）】

「持家」が92.5%を占めています。

【65～74歳（問3）】

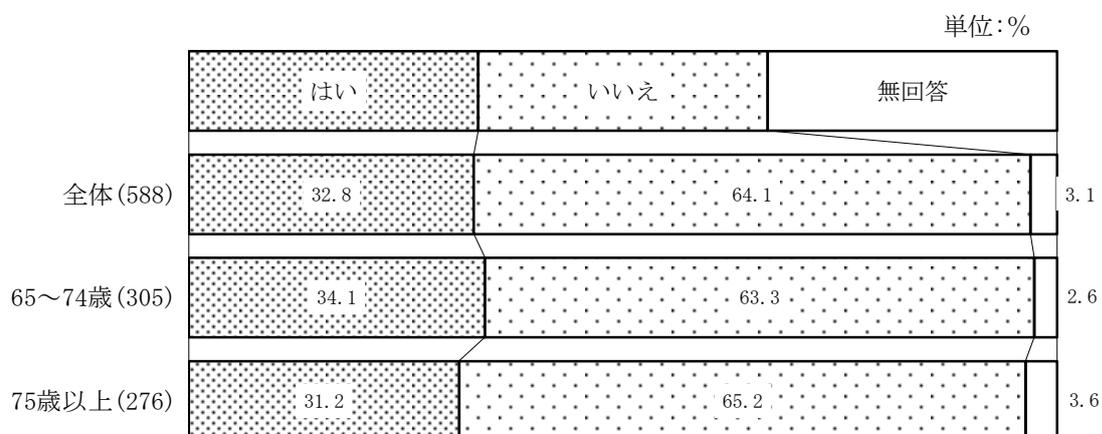
「持家」が95.1%を占めています。

【75歳以上（問3）】

「持家」が90.2%を占めています。

問 4. お住まい（主に生活する部屋）は2階以上にありますか。 （1つに○）

1. はい	2. いいえ
-------	--------



【全体（問4）】

「はい」が32.8%、「いいえ」が64.1%となっています。

【65～74歳（問4）】

「はい」が34.1%、「いいえ」が63.3%となっています。

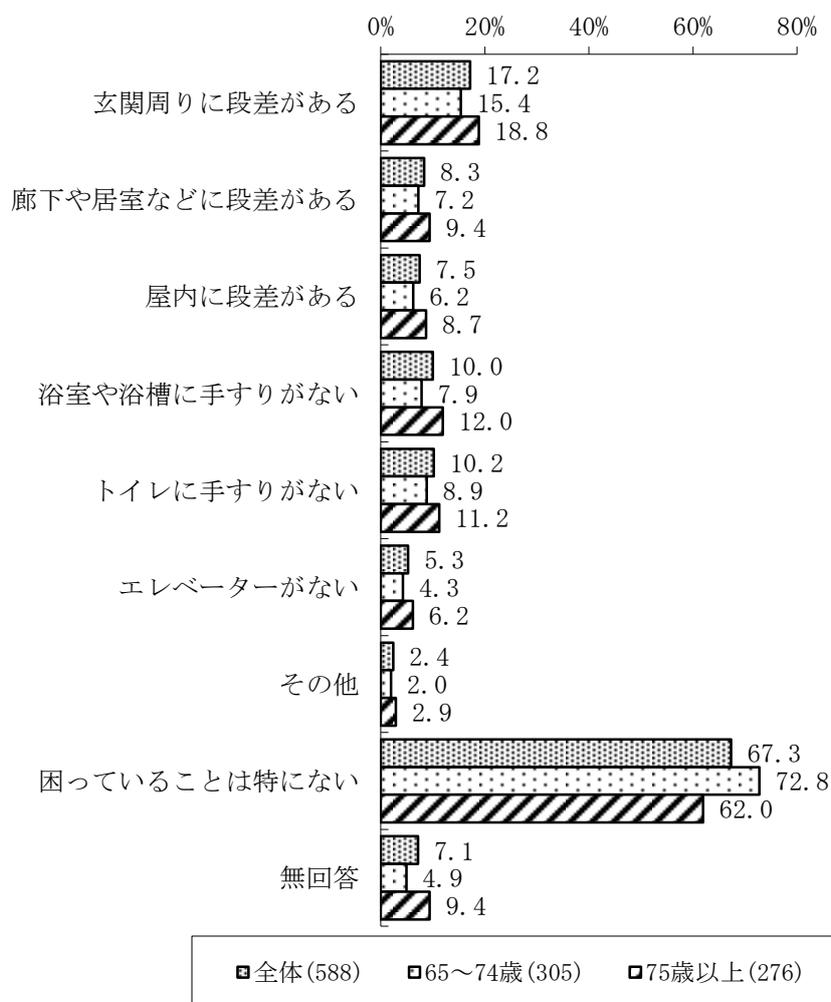
【75歳以上（問4）】

「はい」が31.2%、「いいえ」が65.2%となっています。

問 5. 現在のお住まいのことで困っていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 玄関周りに段差がある | 5. トイレに手すりがない |
| 2. 廊下や居室などに段差がある | 6. エレベーターがない |
| 3. 屋内に段差がある | 7. その他() |
| 4. 浴室や浴槽に手すりがない | 8. 困っていることは特にない |



【全体 (問5)】

「困っていることは特にない」が67.3%で最も多く、次いで「玄関周りに段差がある」が17.2%となっています。

【65~74歳 (問5)】

「困っていることは特にない」が72.8%で最も多く、次いで「玄関周りに段差がある」が15.4%となっています。

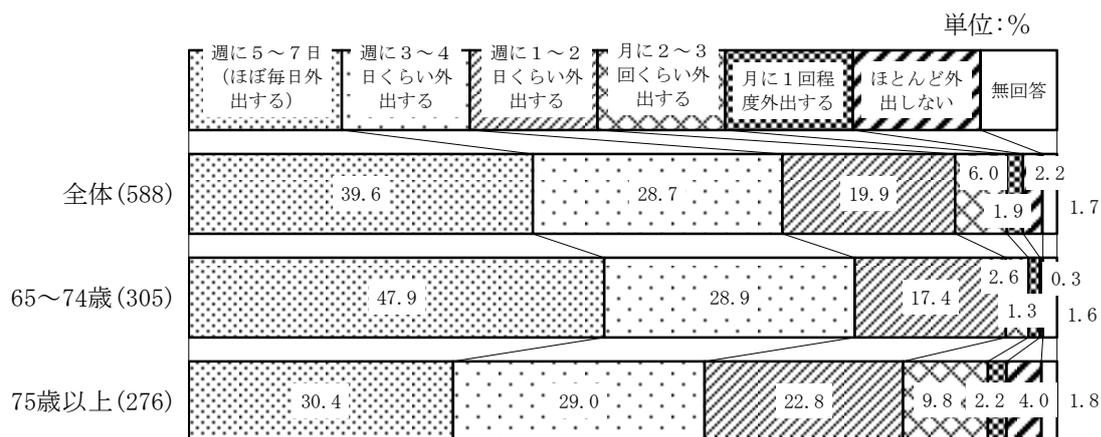
【75歳以上 (問5)】

「困っていることは特にない」が62.0%で最も多く、次いで「玄関周りに段差がある」が18.8%となっています。

問 6. 買い物、通院などの生活に必要な外出をどのくらいしていますか。

(1つに〇)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1. 週に5～7日（ほぼ毎日外出する） | 6. ほとんど外出しない |
| 2. 週に3～4日くらい外出する | |
| 3. 週に1～2日くらい外出する | |
| 4. 月に2～3回くらい外出する | |
| 5. 月に1回程度外出する | |



【全体（問6）】

「週に5～7日（ほぼ毎日外出する）」が39.6%で最も多く、次いで「週に3～4日くらい外出する」が28.7%、「週に1～2日くらい外出する」が19.9%となっています。

【65～74歳（問6）】

「週に5～7日（ほぼ毎日外出する）」が47.9%で最も多く、次いで「週に3～4日くらい外出する」が28.9%、「週に1～2日くらい外出する」が17.4%となっています。

【75歳以上（問6）】

「週に5～7日（ほぼ毎日外出する）」が30.4%で最も多く、次いで「週に3～4日くらい外出する」が29.0%、「週に1～2日くらい外出する」が22.8%となっています。

。

問 6-1. 問 6で「1～5」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。外出する際の
 移動手段は何ですか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------------|-------------|-----------------|
| 1. 徒歩 | 6. 電車 | 10. 電動車いす (カート) |
| 2. 自転車 | 7. 路線バス | 11. 歩行器・シルバーカー |
| 3. バイク | 8. 病院や施設のバス | 12. タクシー |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 9. 車いす | 13. その他 |
| 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | | () |

【全体 (問 6-1)】

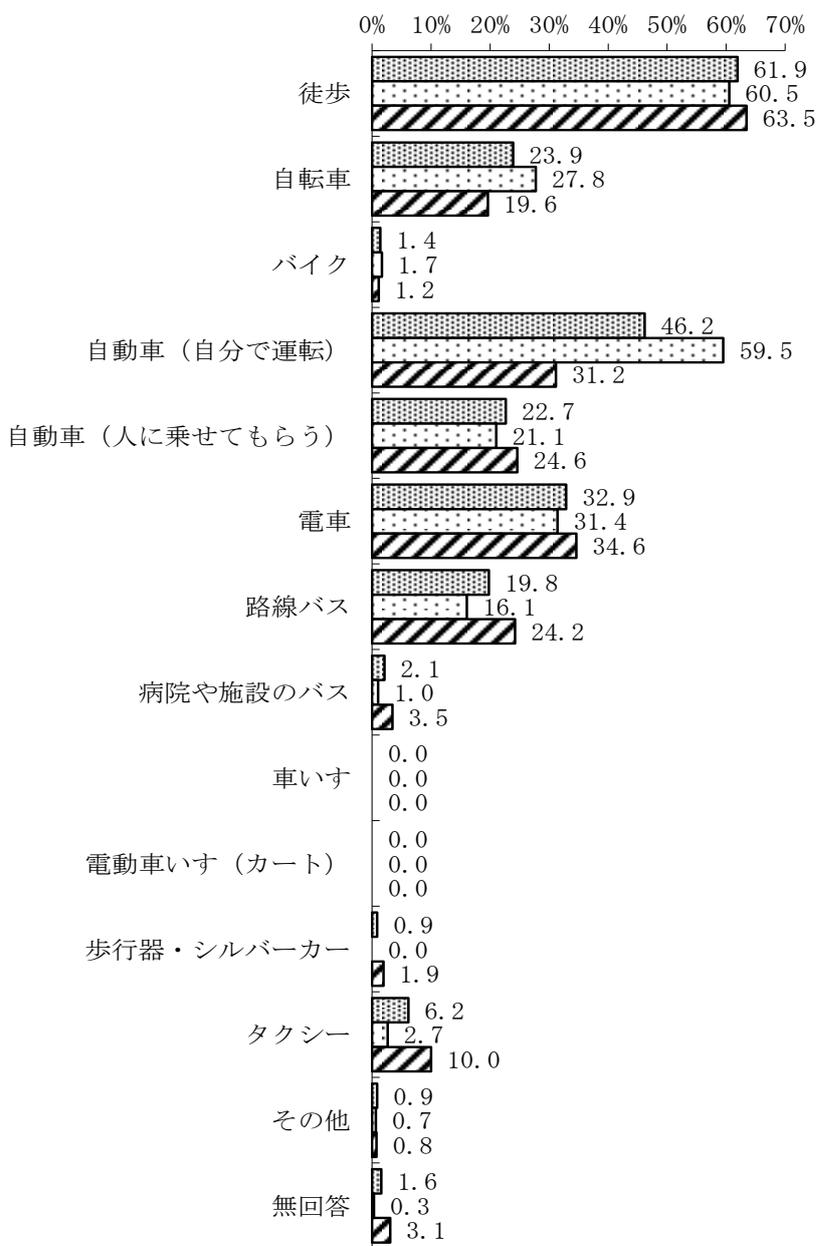
「徒歩」が61.9%で最も多く、
 次いで「自動車 (自分で運転)」
 が46.2%、「電車」が32.9%
 となっています。

【65～74 歳 (問 6-1)】

「徒歩」が60.5%で最も多く、
 次いで「自動車 (自分で運転)」
 が59.5%、「電車」が31.4%
 となっています。

【75 歳以上 (問 6-1)】

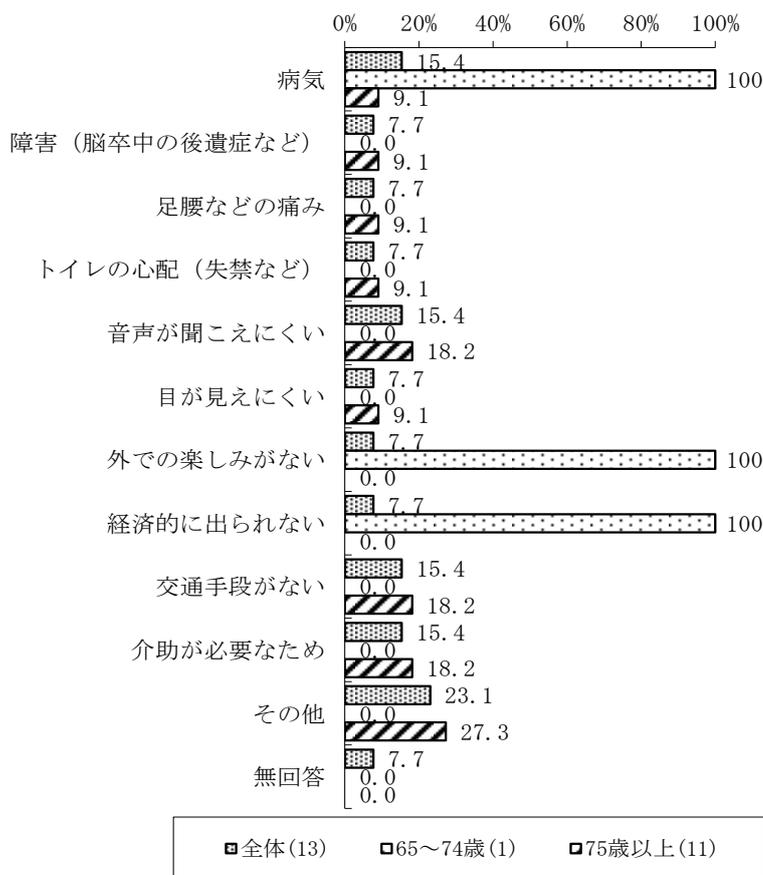
「徒歩」が63.5%で最も多く、
 次いで「電車」が34.6%、「自
 動車 (自分で運転)」が31.2%
 となっています。



■全体 (565) ■65～74歳 (299) ■75歳以上 (260)

問 6-2. 問 6で「6. ほとんど外出しない」とお答えの方におうかがいします。外出をしない理由は、次のどれですか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 病気 | 7. 外での楽しみがない |
| 2. 障害（脳卒中の後遺症など） | 8. 経済的に出られない |
| 3. 足腰などの痛み | 9. 交通手段がない |
| 4. トイレの心配（失禁など） | 10. 介助が必要なため |
| 5. 音声が聞こえにくい | 11. その他（ ） |
| 6. 目が見えにくい | |



【全体（問 6-2）】

「その他」が23.1%で最も多く、次いで「病気」「音声が聞こえにくい」「交通手段がない」「介助が必要なため」が同ポイントの15.4%となっています。

【65～74歳（問 6-2）】

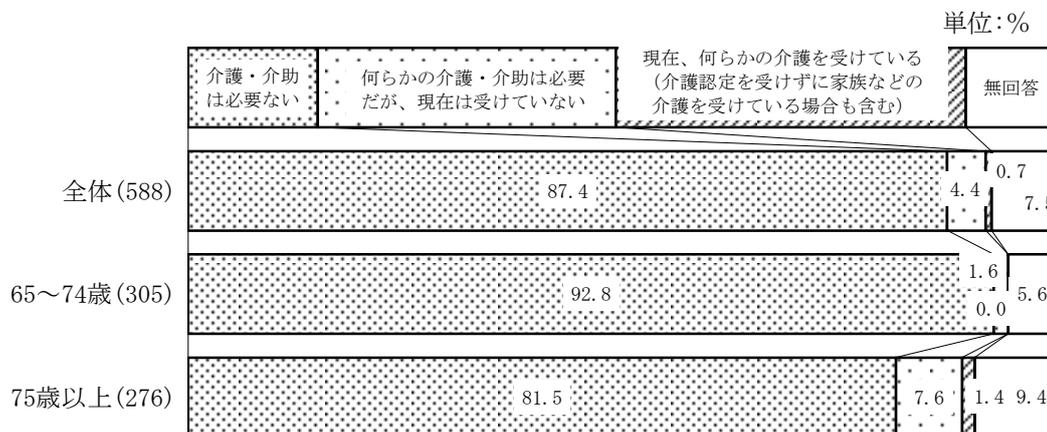
「病気」「外での楽しみがない」「経済的に出られない」が同ポイントで100%を占めています。

【75歳以上（問 6-2）】

「その他」が27.3%で最も多く、次いで「音声が聞こえにくい」「交通手段がない」「介助が必要なため」が同ポイントの18.2%となっています。

問 7. ご本人は、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（1つに○）

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）



【全体（問7）】

「介護・介助は必要ない」が87.4%を占めています。

【65～74歳（問7）】

「介護・介助は必要ない」が92.8%を占めています。

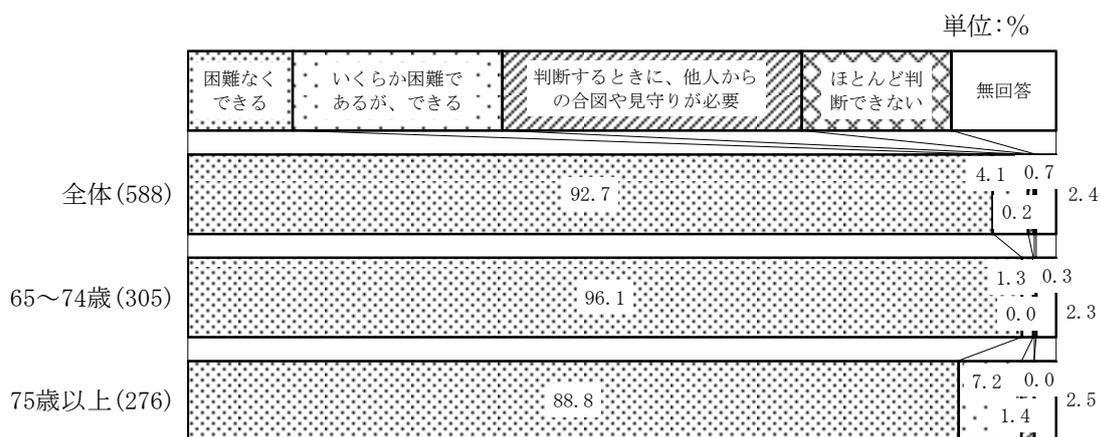
【75歳以上（問7）】

「介護・介助は必要ない」が81.5%を占めています。

問 8. その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか。

(1つに〇)

1. 困難なくできる
2. いくらか困難であるが、できる
3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要
4. ほとんど判断できない



【全体（問8）】

「困難なくできる」が92.7%を占めています。

【65～74歳（問8）】

「困難なくできる」が96.1%を占めています。

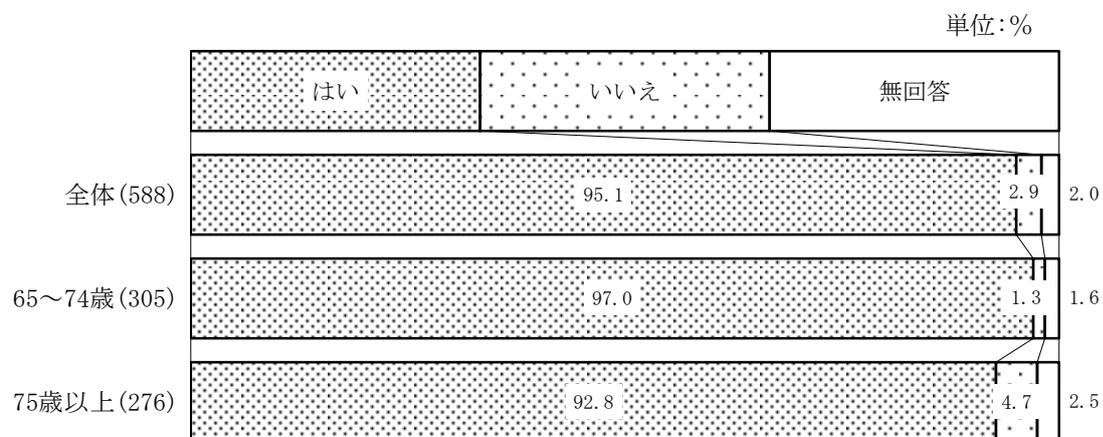
【75歳以上（問8）】

「困難なくできる」が88.8%を占めています。

問 9. 5分前のことが思い出せますか。

(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------



【全体（問9）】

「はい」が95.1%を占めています。

【65～74歳（問9）】

「はい」が97.0%を占めています。

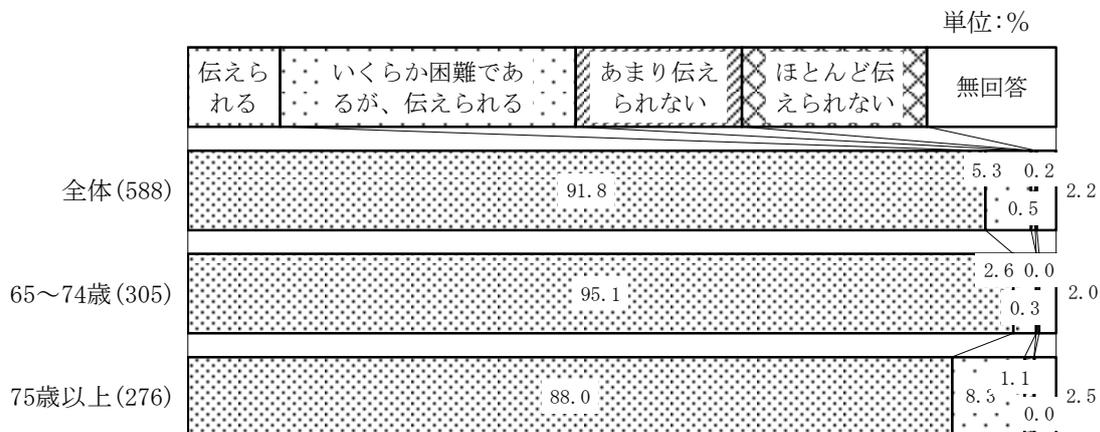
【75歳以上（問9）】

「はい」が92.8%を占めています。

問 10. 人に自分の考えをうまく伝えられますか。

(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 伝えられる | 2. いくらか困難であるが、伝えられる |
| 3. あまり伝えられない | 4. ほとんど伝えられない |



【全体（問 10）】

「伝えられる」が91.8%を占めています。

【65～74歳（問 10）】

「伝えられる」が95.1%を占めています。

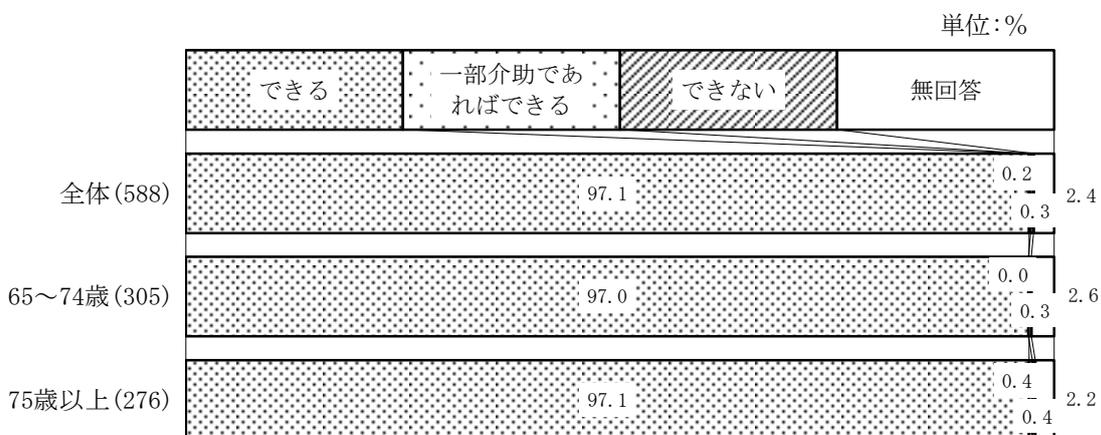
【75歳以上（問 10）】

「伝えられる」が88.0%を占めています。

問 11. 食事は自分で食べられますか。

(1つに〇)

- | | | |
|--------|----------------|---------|
| 1. できる | 2. 一部介助であればできる | 3. できない |
|--------|----------------|---------|



【全体（問 11）】

「できる」が97.1%を占めています。

【65～74 歳（問 11）】

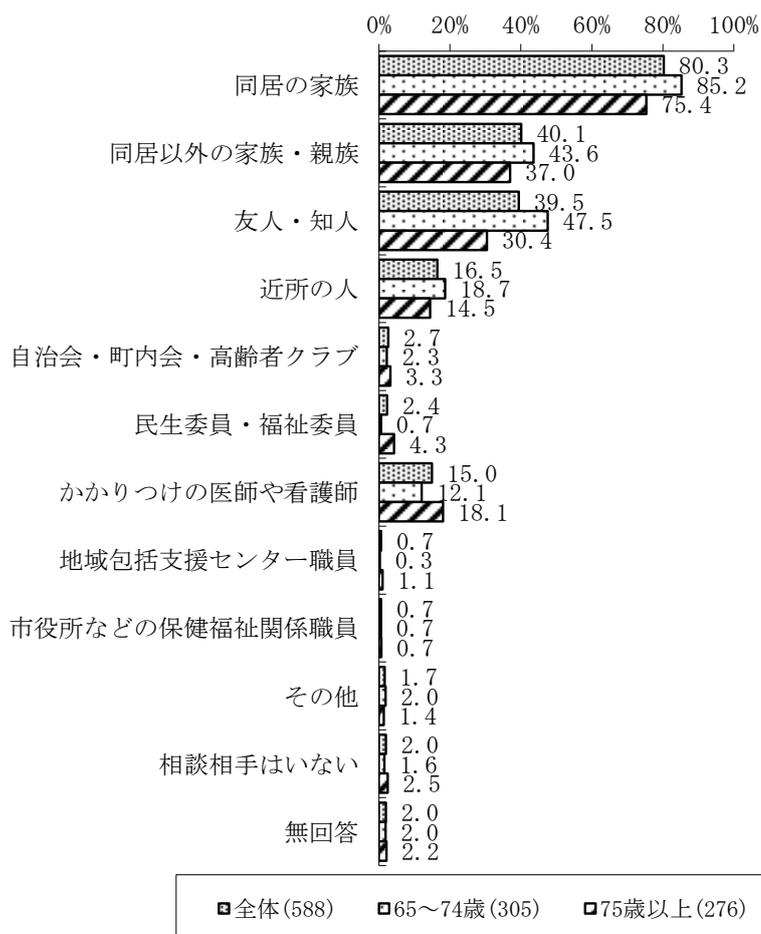
「できる」が97.0%を占めています。

【75 歳以上（問 11）】

「できる」が97.1%を占めています。

問 12. 日常生活における相談相手をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 同居の家族 | 7. かかりつけの医師や看護師 |
| 2. 同居以外の家族・親族 | 8. 地域包括支援センター職員 |
| 3. 友人・知人 | 9. 市役所などの保健福祉関係職員 |
| 4. 近所の人 | 10. その他 () |
| 5. 自治会・町内会・高齢者クラブ | 11. 相談相手はいない |
| 6. 民生委員・福祉委員 | |



【全体（問 12）】

「同居の家族」が80.3%で最も多く、次いで「同居以外の家族・親族」が40.1%、「友人・知人」が39.5%となっています。

【65～74歳（問 12）】

「同居の家族」が85.2%で最も多く、次いで「友人・知人」が47.5%、「同居以外の家族・親族」が43.6%となっています。

【75歳以上（問 12）】

「同居の家族」が75.4%で最も多く、次いで「同居以外の家族・親族」が37.0%、「友人・知人」が30.4%となっています。

問 13. 日常生活の中で手助けしてほしいことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. ごみ出し	10. 病院以外の外出時の付添い
2. 買い物	11. 声かけ・見守り
3. 調理	12. 日ごろの話し相手
4. 洗濯や部屋の掃除	13. 金銭管理・書類の確認
5. 玄関前や庭などの家周りの掃除	14. 市役所などでの手続き
6. 簡単な力仕事	15. 家電器具やパソコン等の操作
7. 病院への送迎	16. 代読・代筆
8. 病院への付添いや薬の受け取り	17. その他 ()
9. 病院以外の外出時の送迎	18. 特になし

【全体 (問 13)】

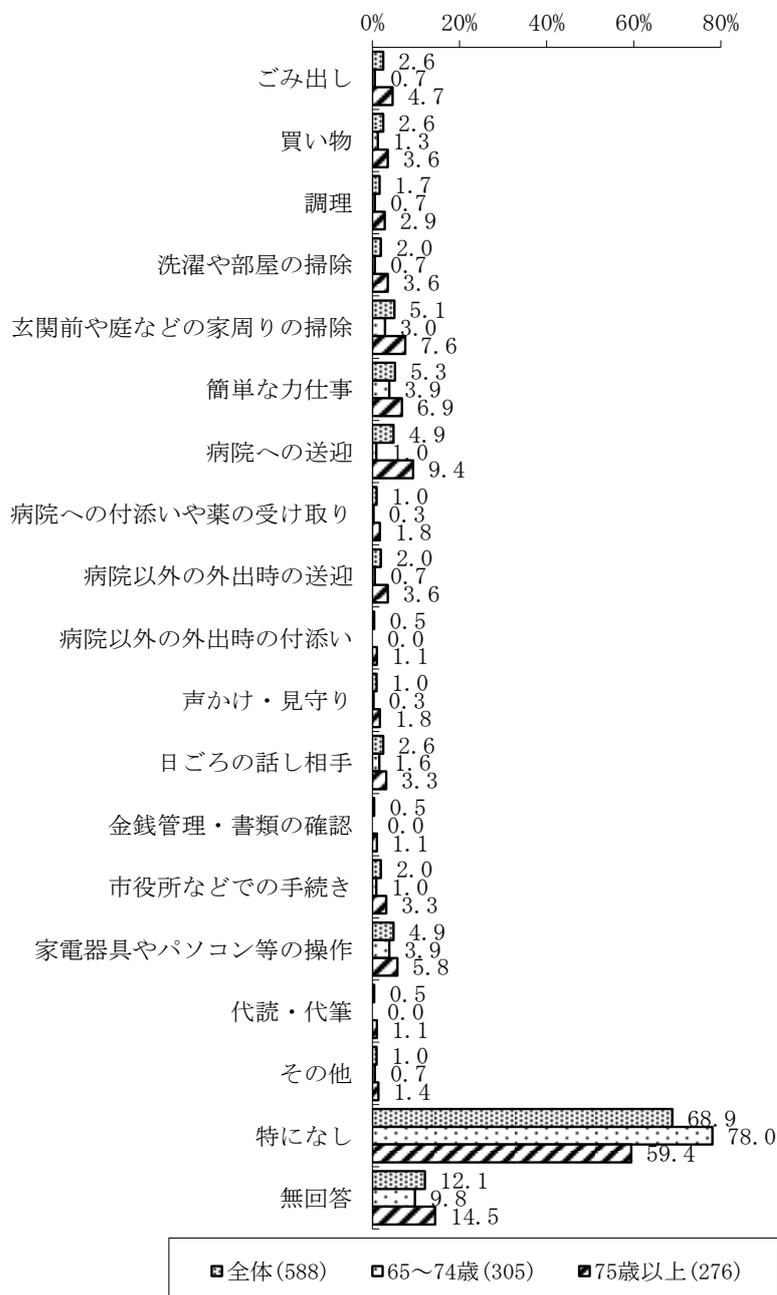
「特になし」が 68.9%で最も多く、次いで「無回答」が 12.1%となっています。

【65～74 歳 (問 13)】

「特になし」が 78.0%で最も多く、次いで「無回答」が 9.8%となっています。

【75 歳以上 (問 13)】

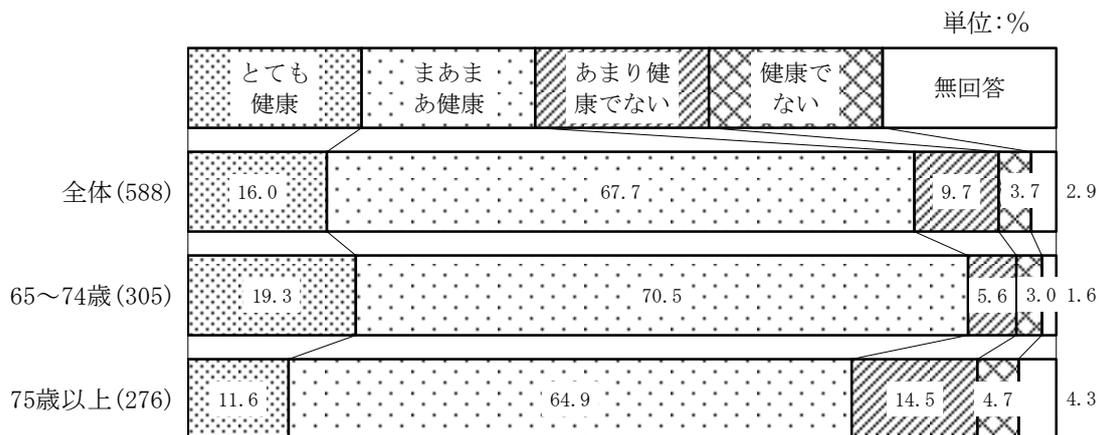
「特になし」が 59.4%で最も多く、次いで「無回答」が 14.5%となっています。



(2) 健康について、おうかがいします

問 14. 普段、ご自分で健康だと思いますか。 (1つに○)

1. とても健康 2. まあまあ健康 3. あまり健康でない 4. 健康でない



【全体（問 14）】

「まあまあ健康」が 67.7%で最も多く、次いで「とても健康」が 16.0%となっています。

【65～74 歳（問 14）】

「まあまあ健康」が 70.5%で最も多く、次いで「とても健康」が 19.3%となっています。

【75 歳以上（問 14）】

「まあまあ健康」が 64.9%で最も多く、次いで「あまり健康でない」が 14.5%となっています。

問 15. 以下の中であてはまることはありますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 階段を手すりや壁をつたわらないと昇れない
2. 15分位続けて歩くことができない
3. この1年間に転倒したことがある
4. 杖を使っている
5. 食欲がない
6. 歯の具合が悪く、思うように食事を摂れない
7. お茶や汁物などでむせることがある
8. 口の渇きが気になる
9. 毎日の生活に充実感がない
10. これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった
11. 以前は楽にできていたことが今ではおっくうになった
12. 睡眠や休養が十分とれない
13. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされる
14. あてはまるものはない

【全体 (問 15)】

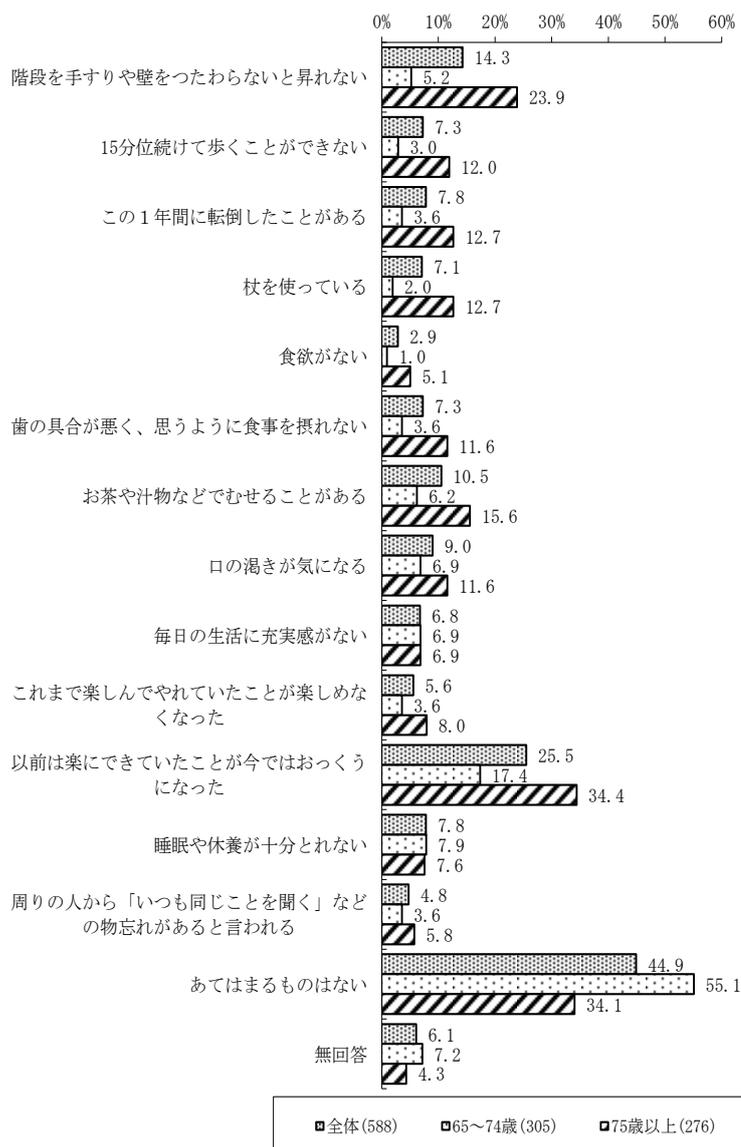
「あてはまるものはない」が44.9%で最も多く、次いで「以前は楽にできたことが今ではおっくうになった」が25.5%となっています。

【65～74 歳 (問 15)】

「あてはまるものはない」が55.1%で最も多く、次いで「以前は楽にできたことが今ではおっくうになった」が17.4%となっています。

【75 歳以上 (問 15)】

「以前は楽にできたことが今ではおっくうになった」が34.4%で最も多く、次いで「あてはまるものはない」が34.1%となっています。



問 16. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 高血圧 | 11. がん（悪性新生物） |
| 2. 脳卒中（脳出血・脳こうそく等） | 12. 血液・免疫の病気 |
| 3. 心臓病 | 13. うつ病 |
| 4. 糖尿病 | 14. 認知症（アルツハイマー病等） |
| 5. 脂質異常症（高脂血症） | 15. パーキンソン病 |
| 6. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） | 16. 目の病気 |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 17. 耳の病気 |
| 8. 腎臓・前立腺の病気 | 18. むし歯、歯周疾患 |
| 9. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等） | 19. その他 |
| 10. 外傷（転倒・骨折等） | 20. ない |

【全体（問 16）】

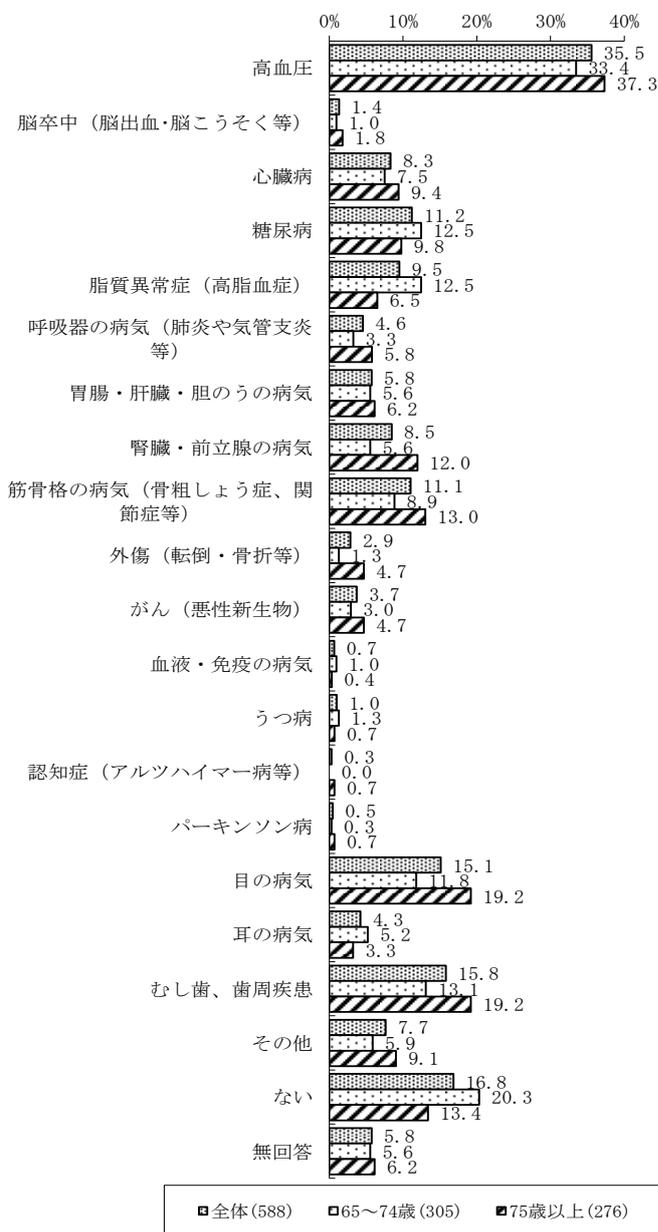
「高血圧」が 35.5%で最も多く、次いで「ない」が 16.8%、「むし歯、歯周疾患」が 15.8%、「目の病気」が 15.1%となっています。

【65～74 歳（問 16）】

「高血圧」が 33.4%で最も多く、次いで「ない」が 20.3%、「むし歯、歯周疾患」が 13.1%、「糖尿病」「脂質異常症（高脂血症）」が同ポイントの 12.5%となっています。

【75 歳以上（問 16）】

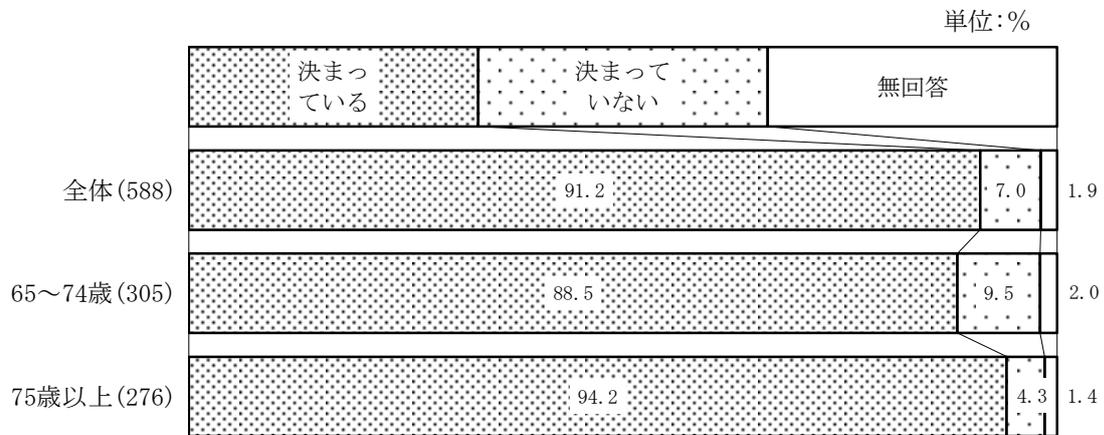
「高血圧」が 37.3%で最も多く、次いで「目の病気」「むし歯、歯周疾患」が同ポイントの 19.2%、「ない」が 13.4%となっています。



問 17. いつも行く病院・医院（診療所、クリニック）は決まっていますか。

(1つに〇)

1. 決まっている ⇒ 問17-1へ 2. 決まっていない ⇒ 問18へ



【全体（問 17）】

「決まっている」が91.2%を占めています。

【65～74歳（問 17）】

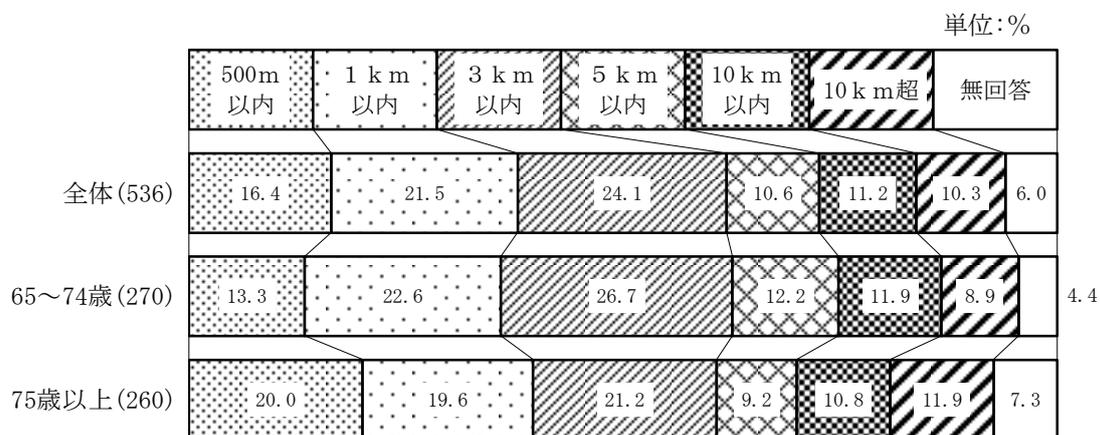
「決まっている」が88.5%を占めています。

【75歳以上（問 17）】

「決まっている」が94.2%を占めています。

問 17-1. 問 17で「1. 決まっている」とお答えの方におうかがいします。ご自宅からの距離は、どのくらいですか。 (1つに○)

1. 500m以内	3. 3 km以内	5. 10km以内
2. 1 km以内	4. 5 km以内	6. 10km 超



【全体（問 17-1）】

「3km 以内」が 24.1%で最も多く、次いで「1km 以内」が 21.5%、「500m 以内」が 16.4%となっています。

【65～74 歳（問 17-1）】

「3km 以内」が 26.7%で最も多く、次いで「1km 以内」が 22.6%、「500m 以内」が 13.3%となっています。

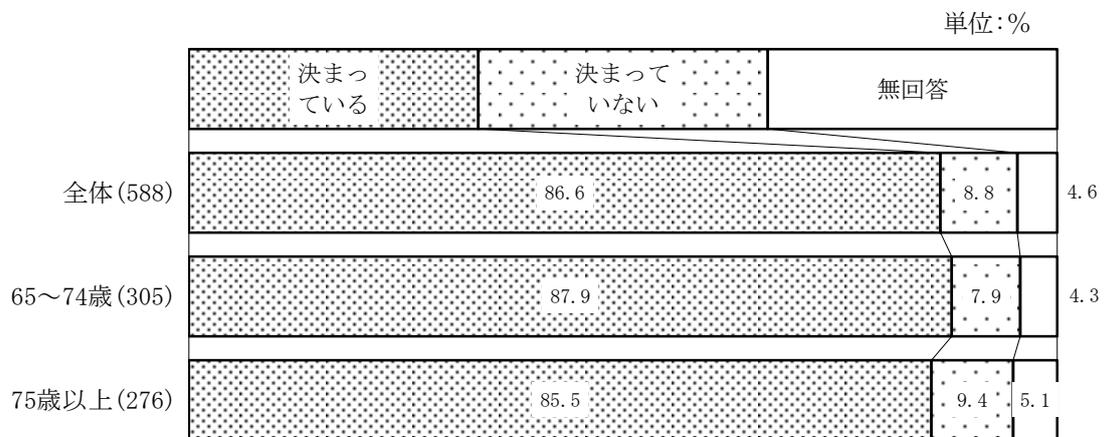
【75 歳以上（問 17-1）】

「3km 以内」が 21.2%で最も多く、次いで「500m 以内」が 20.0%、「1km 以内」が 19.6%となっています。

問 18. いつも行く歯科は決まっていますか。

(1つに○)

1. 決まっている ⇒ 問18-1へ 2. 決まっていない ⇒ 問19へ



【全体（問 18）】

「決まっている」が 86.6%を占めています。

【65～74 歳（問 18）】

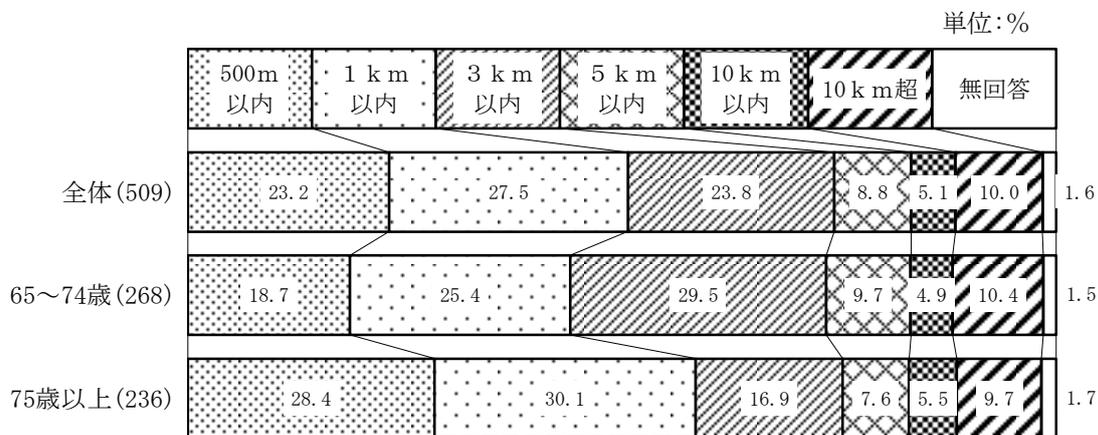
「決まっている」が 87.9%を占めています。

【75 歳以上（問 18）】

「決まっている」が 85.5%を占めています。

問 18-1. 問 18で「1. 決まっている」とお答えの方におうかがいします。ご自宅からの距離は、どのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 500m以内 | 3. 3 km以内 | 5. 10km以内 |
| 2. 1 km以内 | 4. 5 km以内 | 6. 10km 超 |



【全体（問 18-1）】

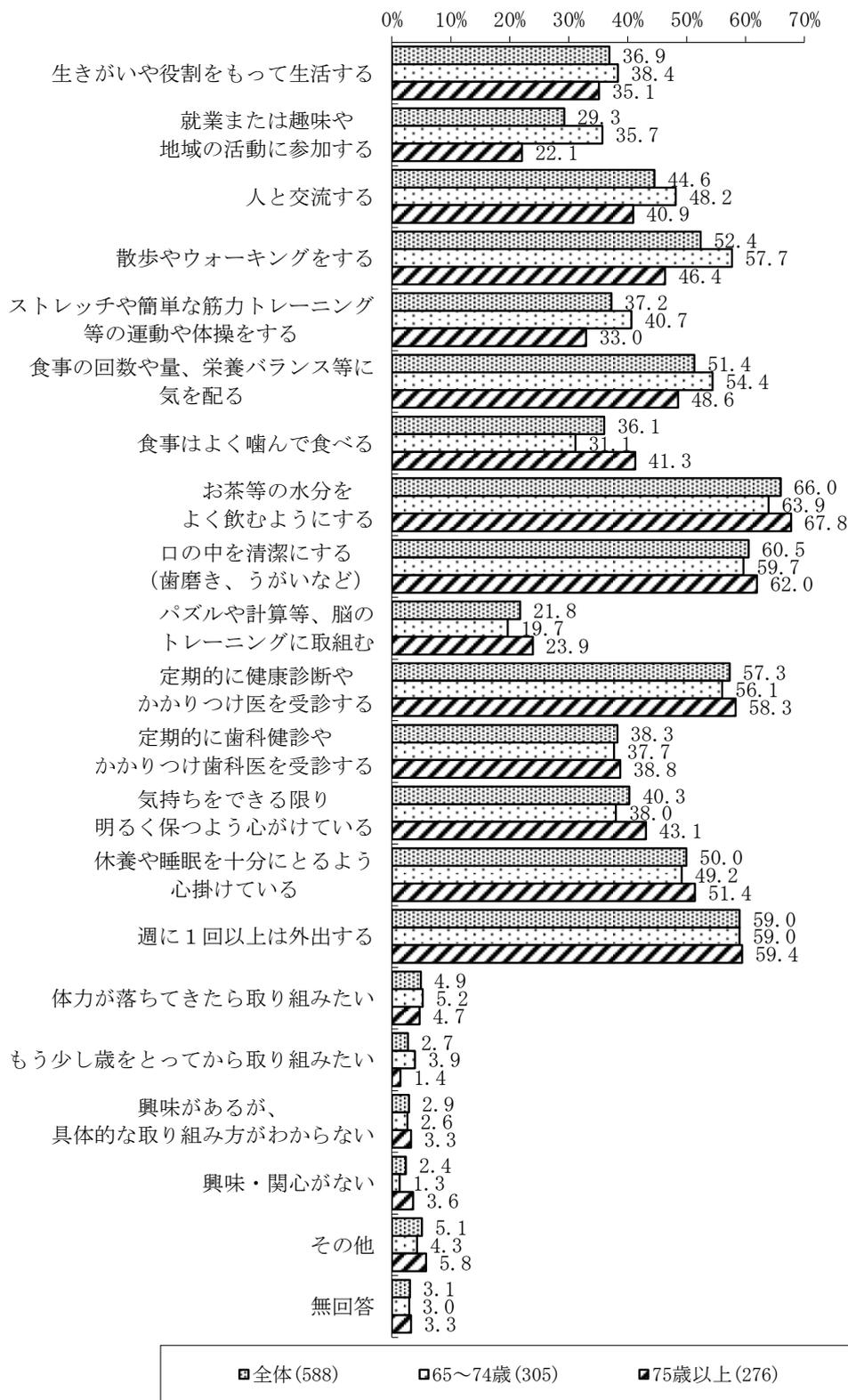
「1km 以内」が 27.5%で最も多く、次いで「3km 以内」が 23.8%、「500m 以内」が 23.2%となっています。

【65～74 歳（問 18-1）】

「3km 以内」が 29.5%で最も多く、次いで「1km 以内」が 25.4%、「500m 以内」が 18.7%となっています。

【75 歳以上（問 18-1）】

「1km 以内」が 30.1%で最も多く、次いで「500m 以内」が 28.4%、「3km 以内」が 16.9%となっています。



【全体（問 19）】

「お茶等の水分をよく飲むようにする」が 66.0%で最も多く、次いで「口の中を清潔にする（歯磨き、うがいなど）」が 60.5%、「週に 1 回以上は外出する」が 59.0%、「定期的に健康診断やかかりつけ医を受診する」が 57.3%となっています。

【65～74 歳（問 19）】

「お茶等の水分をよく飲むようにする」が 63.9%で最も多く、次いで「口の中を清潔にする（歯磨き、うがいなど）」が 59.7%、「週に 1 回以上は外出する」が 59.0%、「散歩やウォーキングをする」が 57.7%となっています。

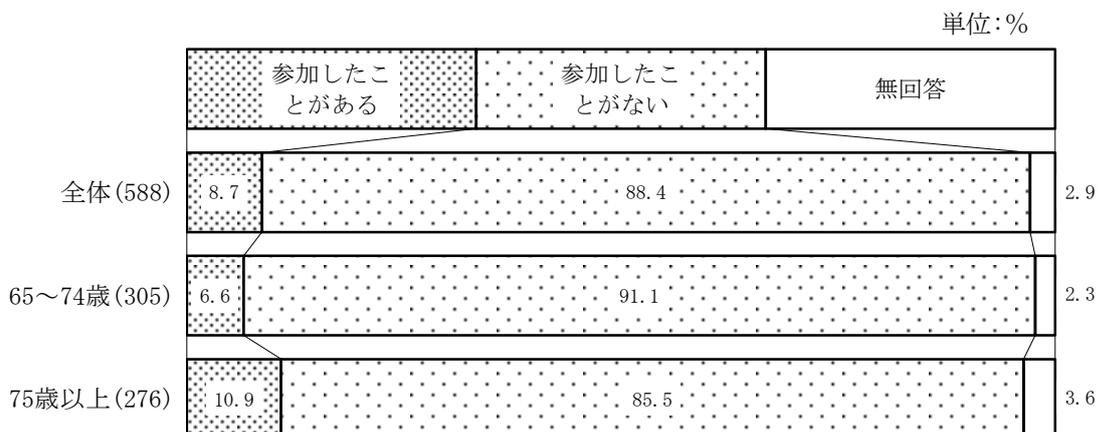
【75 歳以上（問 19）】

「お茶等の水分をよく飲むようにする」が 67.8%で最も多く、次いで「口の中を清潔にする（歯磨き、うがいなど）」が 62.0%、「週に 1 回以上は外出する」が 59.4%、「定期的に健康診断やかかりつけ医を受診する」が 58.3%となっています。

問 20. 佐倉市では、みなさまが介護状態にならないため、様々な介護予防事業を実施しています。ご本人は、介護予防事業に参加したことがありますか。

(1つに〇)

1. 参加したことがある ⇒ 問21へ 2. 参加したことがない ⇒ 問20-1へ



【全体（問20）】

「参加したことがない」が88.4%を占めています。

【65～74歳（問20）】

「参加したことがない」が91.1%を占めています。

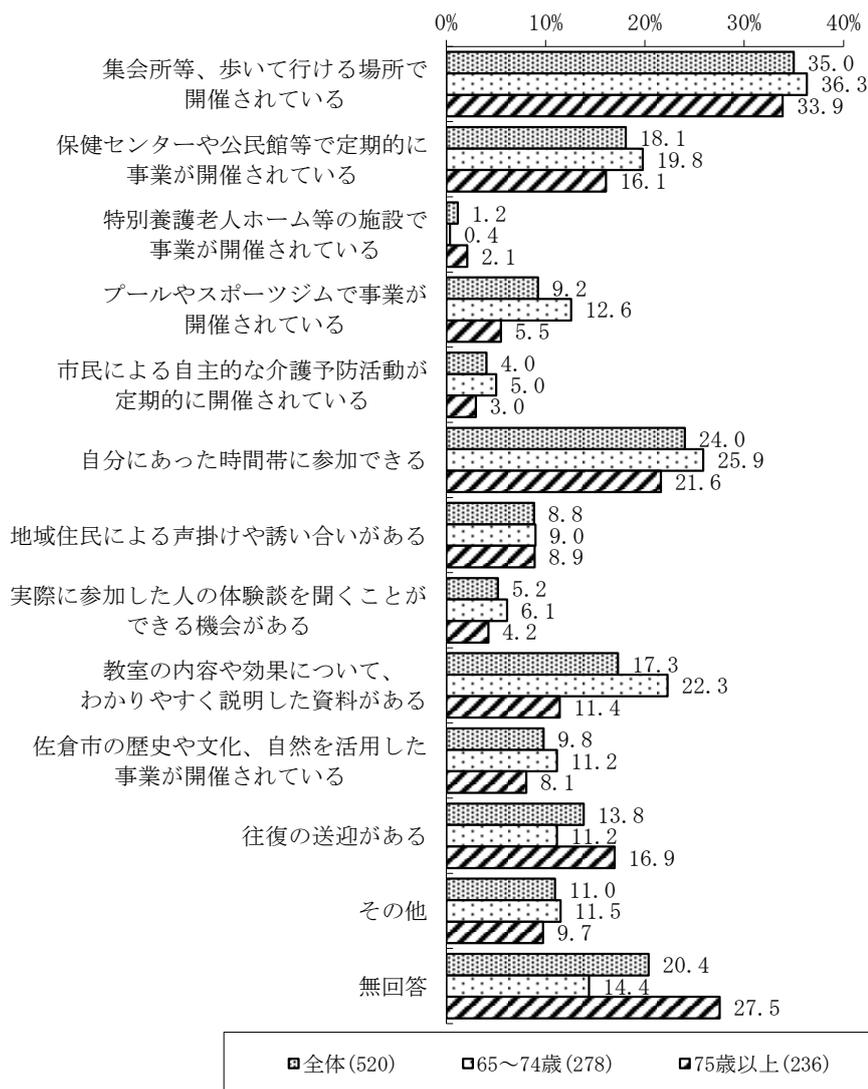
【75歳以上（問20）】

「参加したことがない」が85.5%を占めています。

問 20-1. 問 20で「2. 参加したことがない」とお答えの方におうかがいします。今後、介護予防事業に、どのような条件があれば参加しやすくなると思いますか。

(主なもの3つまでに○)

1. 集会所等、歩いて行ける場所で開催されている
2. 保健センターや公民館等で定期的に事業が開催されている
3. 特別養護老人ホーム等の施設で事業が開催されている
4. プールやスポーツジムで事業が開催されている
5. 市民による自主的な介護予防活動が定期的に開催されている
6. 自分にあった時間帯に参加できる
7. 地域住民による声掛けや誘い合いがある
8. 実際に参加した人の体験談を聞くことができる機会がある
9. 教室の内容や効果について、わかりやすく説明した資料がある
10. 佐倉市の歴史や文化、自然を活用した事業が開催されている
11. 往復の送迎がある
12. その他(具体的に：)



【全体（問 20-1）】

「集会所等、歩いて行ける場所で開催されている」が 35.0%で最も多く、次いで「自分にあった時間帯に参加できる」が 24.0%、「無回答」が 20.4%、「保健センターや公民館等で定期的に事業が開催されている」が 18.1%、「教室の内容や効果について、わかりやすく説明した資料がある」が 17.3%となっています。

【65～74 歳（問 20-1）】

「集会所等、歩いて行ける場所で開催されている」が 36.3%で最も多く、次いで「自分にあった時間帯に参加できる」が 25.9%、「教室の内容や効果について、わかりやすく説明した資料がある」が 22.3%、「保健センターや公民館等で定期的に事業が開催されている」が 19.8%、「無回答」が 14.4%となっています。

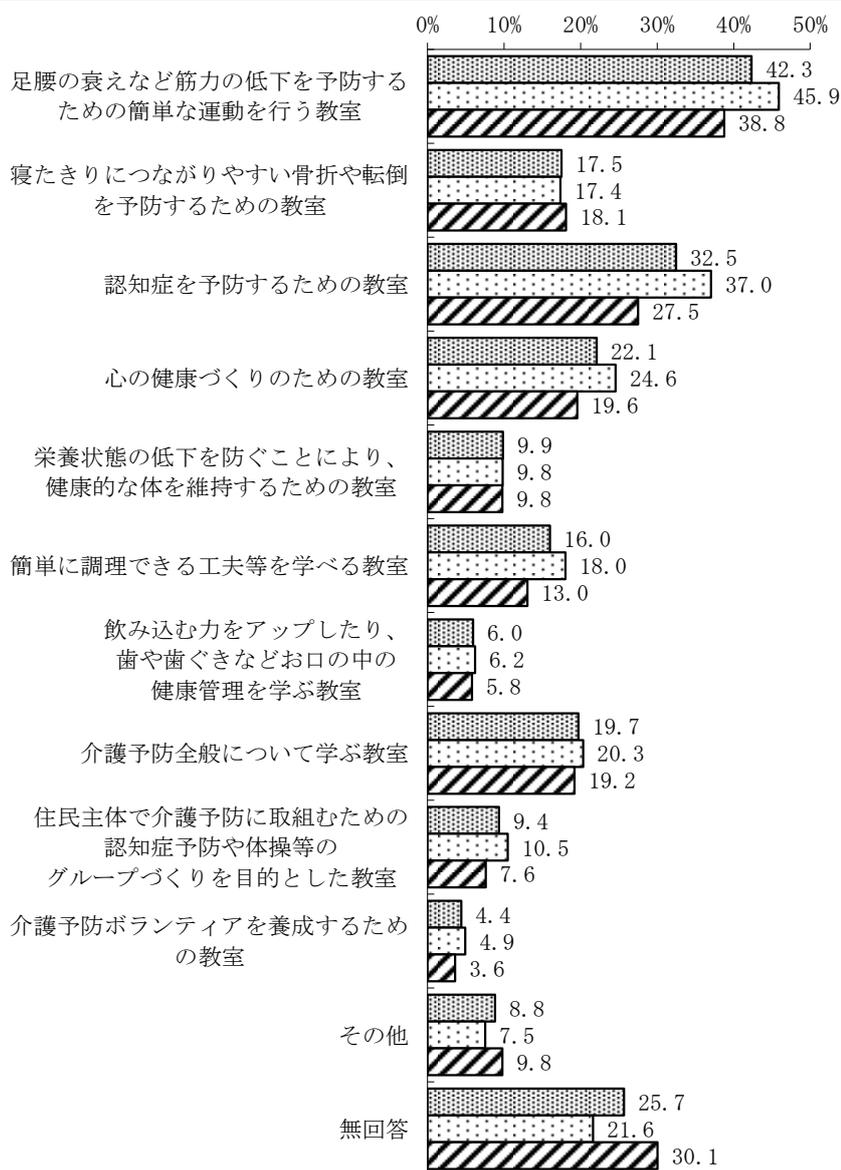
【75 歳以上（問 20-1）】

「集会所等、歩いて行ける場所で開催されている」が 33.9%で最も多く、次いで「無回答」が 27.5%、「自分にあった時間帯に参加できる」が 21.6%、「往復の送迎がある」が 16.9%、「保健センターや公民館等で定期的に事業が開催されている」が 16.1%となっています。

問 21. 介護予防に関して、参加したいと思う活動はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う教室
2. 寝たきりにつながりやすい骨折や転倒を予防するための教室
3. 認知症を予防するための教室
4. 心の健康づくりのための教室
5. 栄養状態の低下を防ぐことにより、健康的な体を維持するための教室
6. 簡単に調理できる工夫等を学べる教室
7. 飲み込む力をアップしたり、歯や歯ぐきなどお口の中の健康管理を学ぶ教室
8. 介護予防全般について学ぶ教室
9. 住民主体で介護予防に取り組むための認知症予防や体操等のグループづくりを目的とした教室
10. 介護予防ボランティアを養成するための教室
11. その他（具体的に： _____）



■全体 (588) ■65～74歳 (305) ■75歳以上 (276)

【全体（問 21）】

「足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う教室」が 42.3%で最も多く、次いで「認知症を予防するための教室」が 32.5%、「無回答」が 25.7%、「心の健康づくりのための教室」が 22.1%、「介護予防全般について学ぶ教室」が 19.7%となっています。

【65～74 歳（問 21）】

「足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う教室」が 45.9%で最も多く、次いで「認知症を予防するための教室」が 37.0%、「心の健康づくりのための教室」が 24.6%、「無回答」が 21.6%、「介護予防全般について学ぶ教室」が 20.3%となっています。

【75 歳以上（問 21）】

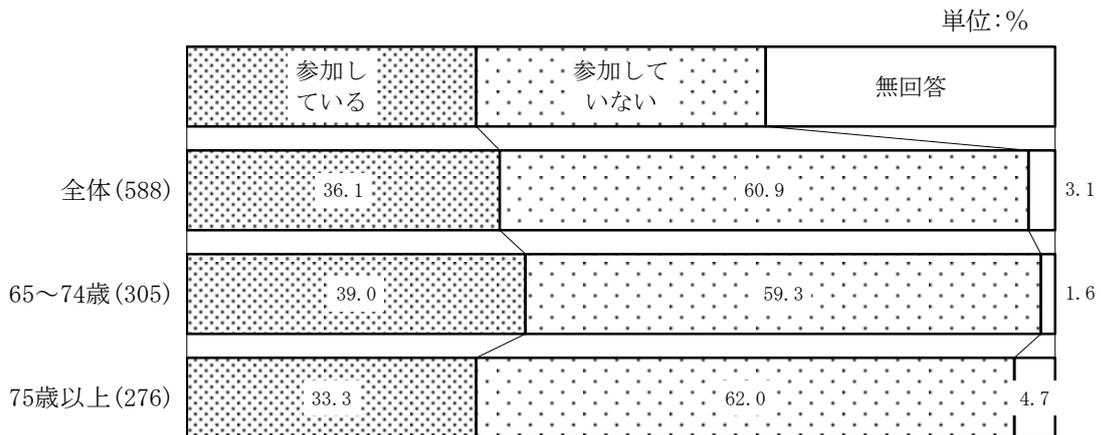
「足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う教室」が 38.8%で最も多く、次いで「無回答」が 30.1%、「認知症を予防するための教室」が 27.5%、「心の健康づくりのための教室」が 19.6%、「介護予防全般について学ぶ教室」が 19.2%となっています。

(4) 地域生活と日頃の活動について、おうかがいします

問 22. お住まいの地域の行事や地域活動、ボランティア活動に参加していますか。

(1つに○)

1. 参加している ⇒ 問22-1へ 2. 参加していない ⇒ 問23へ



【全体（問22）】

「参加していない」が60.9%、「参加している」が36.1%となっています。

【65～74歳（問22）】

「参加していない」が59.3%、「参加している」が39.0%となっています。

【75歳以上（問22）】

「参加していない」が62.0%、「参加している」が33.3%となっています。

問 22-1. 問 22で「1. 参加している」とお答えの方におうかがいします。どのような活動に参加していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 町内会、自治会の活動 | 6. 防災訓練や交通安全運動 |
| 2. 子供会やPTAの活動 | 7. お祭りや運動会などのレクリエーション活動 |
| 3. 高齢者クラブの活動 | 8. 手助けの活動（有償を含む） |
| 4. 婦人会の活動 | 9. その他（ ） |
| 5. 地域でのボランティア活動 | |

【全体（問 22-1）】

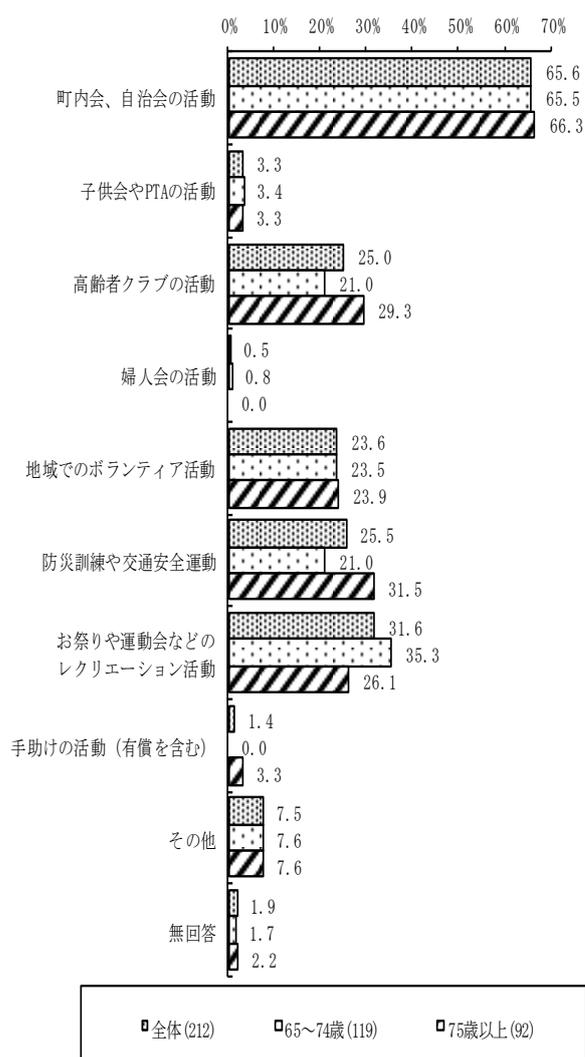
「町内会、自治会の活動」が 65.6%で最も多く、次いで「お祭りや運動会などのレクリエーション活動」が 31.6%、「防災訓練や交通安全運動」が 25.5%、「高齢者クラブの活動」が 25.0%、「地域でのボランティア活動」が 23.6%となっています。

【65～74 歳（問 22-1）】

「町内会、自治会の活動」が 65.5%で最も多く、次いで「お祭りや運動会などのレクリエーション活動」が 35.3%、「地域でのボランティア活動」が 23.5%、「高齢者クラブの活動」「防災訓練や交通安全運動」が同ポイントの 21.0%となっています。

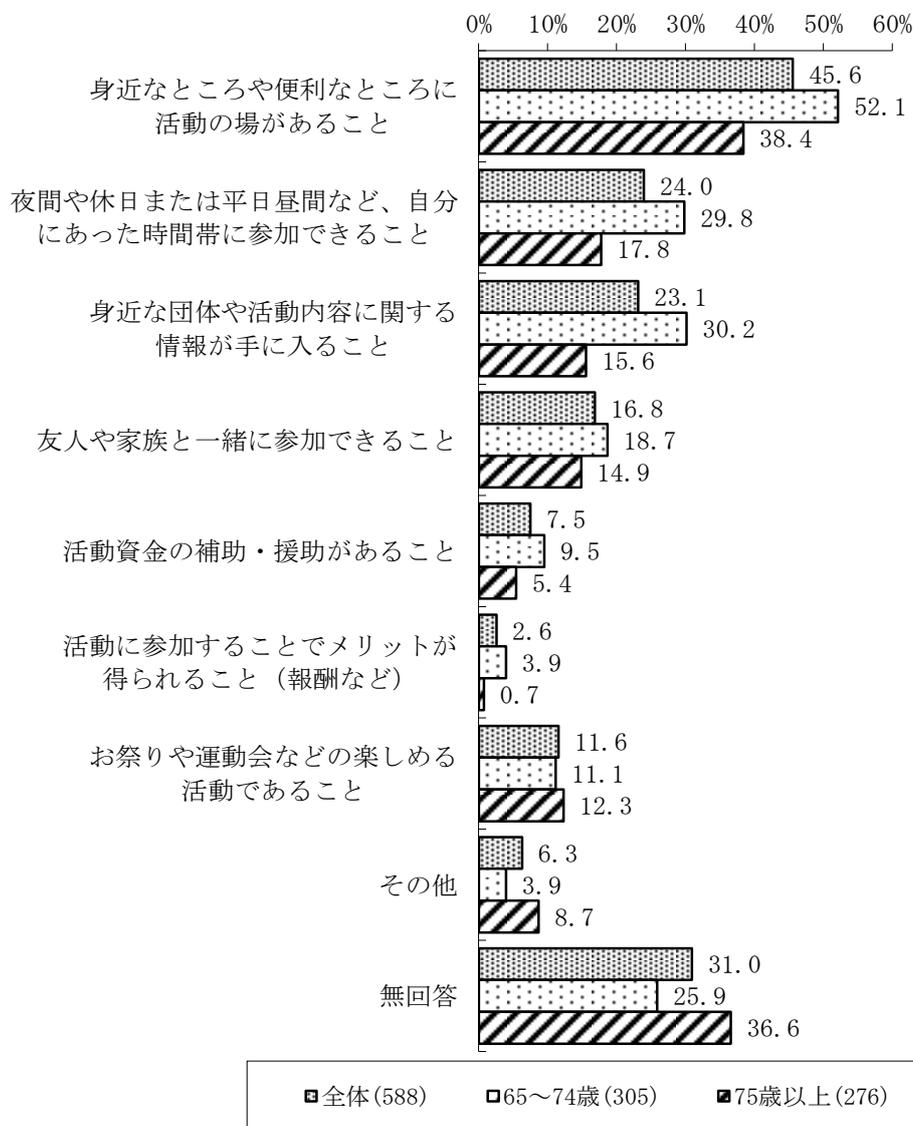
【75 歳以上（問 22-1）】

「町内会、自治会の活動」が 66.3%で最も多く、次いで「防災訓練や交通安全運動」が 31.5%、「高齢者クラブの活動」が 29.3%、「お祭りや運動会などのレクリエーション活動」が 26.1%、「地域でのボランティア活動」が 23.9%となっています。



問 23. お住まいの地域の行事や地域活動、ボランティア活動に参加する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 身近なところや便利なところに活動の場があること
2. 夜間や休日または平日昼間など、自分にあつた時間帯に参加できること
3. 身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること
4. 友人や家族と一緒に参加できること
5. 活動資金の補助・援助があること
6. 活動に参加することでメリットが得られること (報酬など)
7. お祭りや運動会などの楽しめる活動であること
8. その他 (具体的に：)



【全体（問 23）】

「身近なところや便利なところに活動の場があること」が 45.6%で最も多く、次いで「無回答」が 31.0%、「夜間や休日または平日昼間など、自分にあつた時間帯に参加できること」が 24.0%、「身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること」が 23.1%となっています。

【65～74 歳（問 23）】

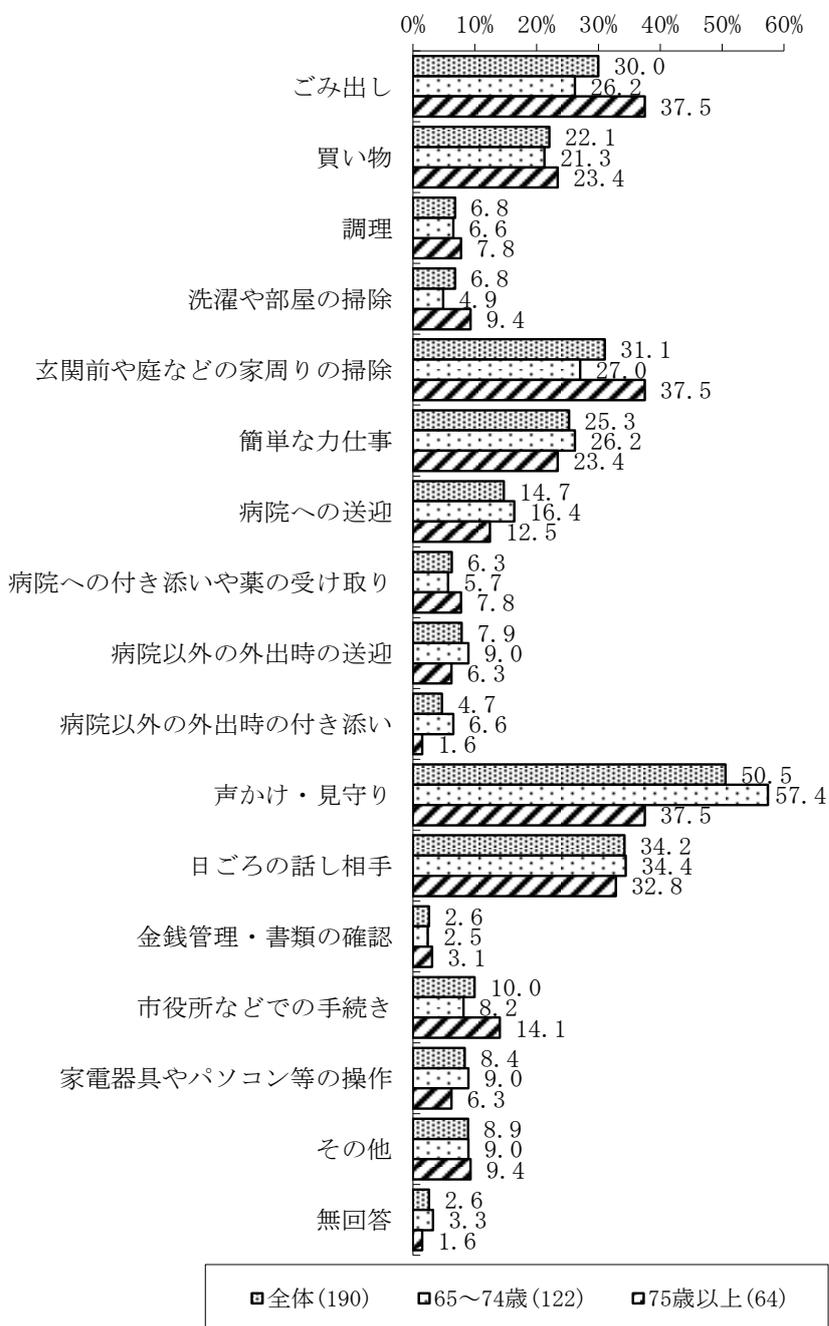
「身近なところや便利なところに活動の場があること」が 52.1%で最も多く、次いで「身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること」が 30.2%、「夜間や休日または平日昼間など、自分にあつた時間帯に参加できること」が 29.8%、「無回答」が 25.9%となっています。

【75 歳以上（問 23）】

「身近なところや便利なところに活動の場があること」が 38.4%で最も多く、次いで「無回答」が 36.6%、「夜間や休日または平日昼間など、自分にあつた時間帯に参加できること」が 17.8%、「身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること」が 15.6%となっています。

問 24-1. 問 24で「1. 思う」とお答えの方におうかがいします。それは、どのような活動ですか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. ごみ出し | 9. 病院以外の外出時の送迎 |
| 2. 買い物 | 10. 病院以外の外出時の付き添い |
| 3. 調理 | 11. 声かけ・見守り |
| 4. 洗濯や部屋の掃除 | 12. 日ごろの話し相手 |
| 5. 玄関前や庭などの家周りの掃除 | 13. 金銭管理・書類の確認 |
| 6. 簡単な力仕事 | 14. 市役所などでの手続き |
| 7. 病院への送迎 | 15. 家電器具やパソコン等の操作 |
| 8. 病院への付き添いや薬の受け取り | 16. その他 () |



【全体（問 24-1）】

「声かけ・見守り」が50.5%で最も多く、次いで「日ごろの話し相手」が34.2%、「玄関前や庭などの家周りの掃除」が31.1%、「ごみ出し」が30.0%となっています。

【65～74 歳（問 24-1）】

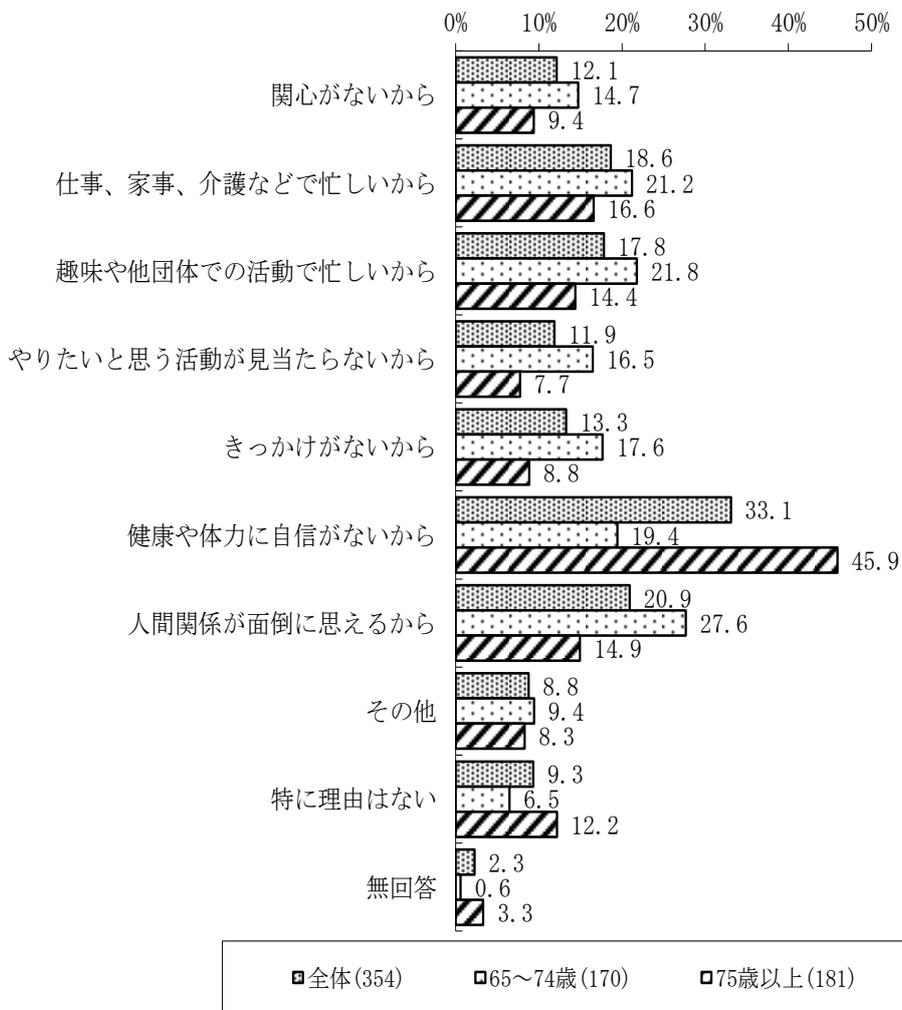
「声かけ・見守り」が57.4%で最も多く、次いで「日ごろの話し相手」が34.4%、「玄関前や庭などの家周りの掃除」が27.0%、「ごみ出し」「簡単な力仕事」が同ポイントの26.2%となっています。

【75 歳以上（問 24-1）】

「ごみ出し」「玄関前や庭などの家周りの掃除」「声かけ・見守り」が同ポイントの37.5%で最も多く、次いで「日ごろの話し相手」が32.8%、「買い物」「簡単な力仕事」が同ポイントの23.4%となっています。

問 24-2. 問 24で「2. 思わない」とお答えの方におうかがいします。その理由は何ですか。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 関心がないから
2. 仕事、家事、介護などで忙しいから
3. 趣味や他団体での活動で忙しいから
4. やりたいと思う活動が見当たらないから
5. きっかけがないから
6. 健康や体力に自信がないから
7. 人間関係が面倒に思えるから
8. その他（具体的に： _____)
9. 特に理由はない



【全体（問 24-2）】

「健康や体力に自信がないから」が 33.1%で最も多く、次いで「人間関係が面倒に思えるから」が 20.9%、「仕事、家事、介護などで忙しいから」が 18.6%、「趣味や他団体での活動で忙しいから」が 17.8%となっています。

【65～74 歳（問 24-2）】

「人間関係が面倒に思えるから」が 27.6%で最も多く、次いで「趣味や他団体での活動で忙しいから」が 21.8%、「仕事、家事、介護などで忙しいから」が 21.2%、「健康や体力に自信がないから」が 19.4%となっています。

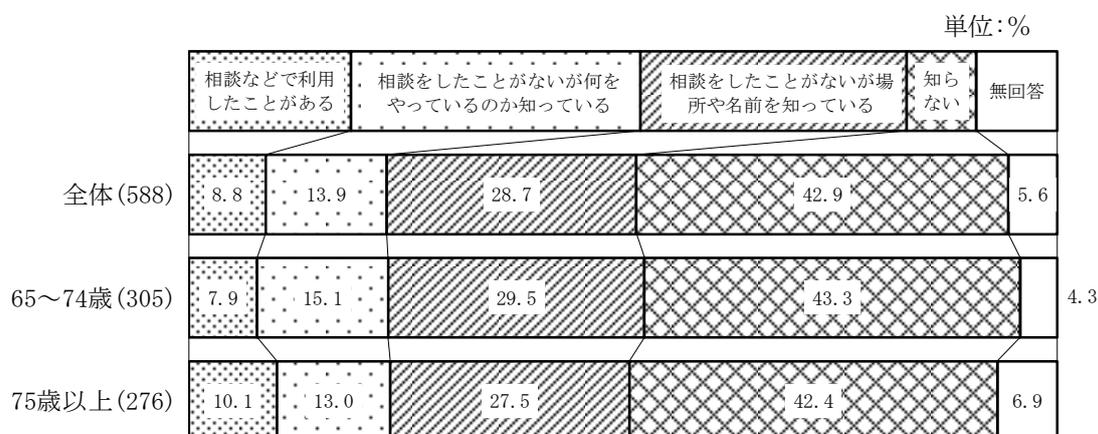
【75 歳以上（問 24-2）】

「健康や体力に自信がないから」が 45.9%で最も多く、次いで「仕事、家事、介護などで忙しいから」が 16.6%、「人間関係が面倒に思えるから」が 14.9%、「趣味や他団体での活動で忙しいから」が 14.4%となっています。

(5) 今後の介護保険制度にかかわる施策について、おうかがいします

問 25. ご本人は、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」をご存じですか。
(1つに〇)

1. 相談などで利用したことがある
2. 相談をしたことがないが何をやっているのか知っている
3. 相談をしたことがないが場所や名前を知っている
4. 知らない



【全体（問 25）】

「知らない」が42.9%で最も多く、次いで「相談をしたことがないが場所や名前を知っている」が28.7%となっています。

【65～74歳（問 25）】

「知らない」が43.3%で最も多く、次いで「相談をしたことがないが場所や名前を知っている」が29.5%となっています。

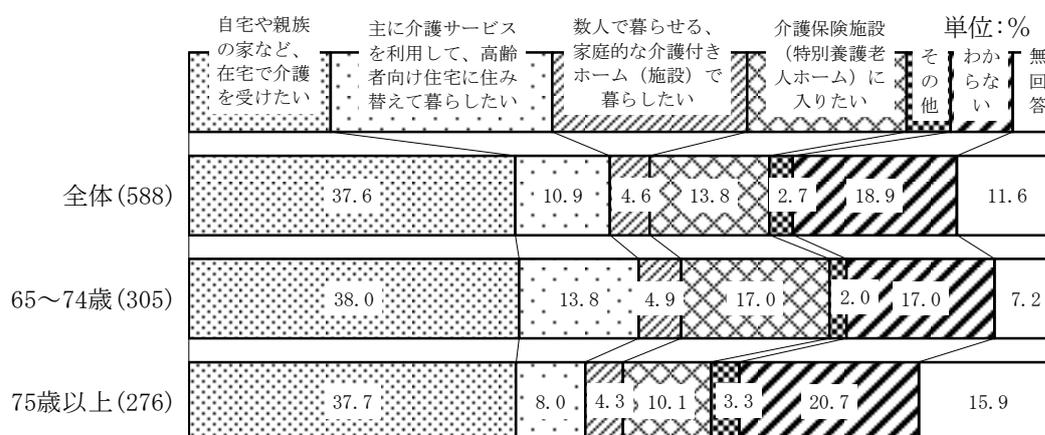
【75歳以上（問 25）】

「知らない」が42.4%で最も多く、次いで「相談をしたことがないが場所や名前を知っている」が27.5%となっています。

問 27. 家族に介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。

(1つに〇)

- | |
|--|
| 1. 自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい |
| 2. 主に介護サービスを利用して、高齢者向け住宅に住み替えて暮らしたい |
| 3. 数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい |
| 4. 介護保険施設（特別養護老人ホーム）に入りたい |
| 5. その他（) |
| 6. わからない |



【全体（問 27）】

「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が 37.6%で最も多く、次いで「わからない」が 18.9%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム）」に入りたい」が 13.8%となっています。

【65～74 歳（問 27）】

「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が 38.0%で最も多く、次いで「介護保険施設（特別養護老人ホーム）」に入りたい「わからない」が同ポイントの 17.0%となっています。

【75 歳以上（問 27）】

「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が 37.7%で最も多く、次いで「わからない」が 20.7%、「無回答」が 15.9%となっています。

【全体（問 28）】

「住み続けられる住まいがある」が 70.1%で最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」が 61.1%、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が 42.5%、「身近に利用できる医療機関がある」が 39.1%、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」が 37.1%となっています。

【65～74 歳（問 28）】

「住み続けられる住まいがある」が 72.1%で最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」が 62.3%、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が 50.5%、「介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる」が 44.6%、「身近に利用できる医療機関がある」が 44.3%となっています。

【75 歳以上（問 28）】

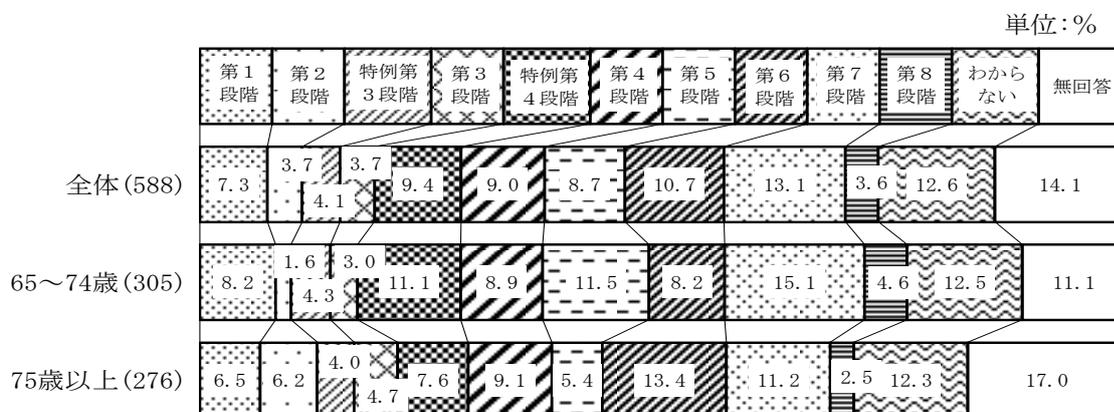
「住み続けられる住まいがある」が 67.8%で最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」が 60.5%、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が 34.4%、「身近に利用できる医療機関がある」が 33.7%、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」が 29.7%となっています。

問 29. ご本人の介護保険料の段階は次のうちどれですか。

(1つに○)

1. 第1段階 (平成26年度保険料年額 28,200円)
2. 第2段階 (平成26年度保険料年額 28,200円)
3. 特例第3段階 (平成26年度保険料年額 36,700円)
4. 第3段階 (平成26年度保険料年額 42,300円)
5. 特例第4段階 (平成26年度保険料年額 47,900円)
6. 第4段階 (平成26年度保険料年額 56,400円)
7. 第5段階 (平成26年度保険料年額 64,900円)
8. 第6段階 (平成26年度保険料年額 70,500円)
9. 第7段階 (平成26年度保険料年額 84,600円)
10. 第8段階 (平成26年度保険料年額 98,700円)
11. わからない

※保険料の段階は、市から送付された「介護保険料納付通知書(介護保険料(特別徴収)決定通知書)」をご覧ください。



【全体 (問 29)】

「無回答」が14.1%で最も多く、次いで「第7段階」が13.1%、「わからない」が12.6%となっています。

【65～74歳 (問 29)】

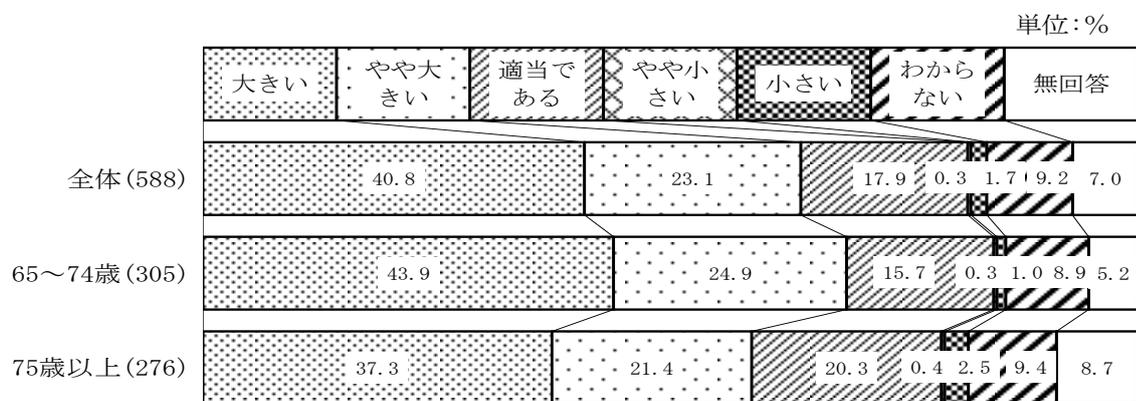
「第7段階」が15.1%で最も多く、次いで「わからない」が12.5%、「第5段階」が11.5%となっています。

【75歳以上 (問 29)】

「無回答」が17.0%で最も多く、次いで「第6段階」が13.4%、「わからない」が12.3%となっています。

問 30. 現在、ご本人の支払っている介護保険料について家計への影響は次の内どれに近い
 ですか。 (1つに〇)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 大きい | 3. 適当である | 5. 小さい |
| 2. やや大きい | 4. やや小さい | 6. わからない |



【全体（問 30）】

「大きい」が 40.8%で最も多く、次いで「やや大きい」が 23.1%、「適当である」が 17.9%となっています。

【65～74 歳（問 30）】

「大きい」が 43.9%で最も多く、次いで「やや大きい」が 24.9%、「適当である」が 15.7%となっています。

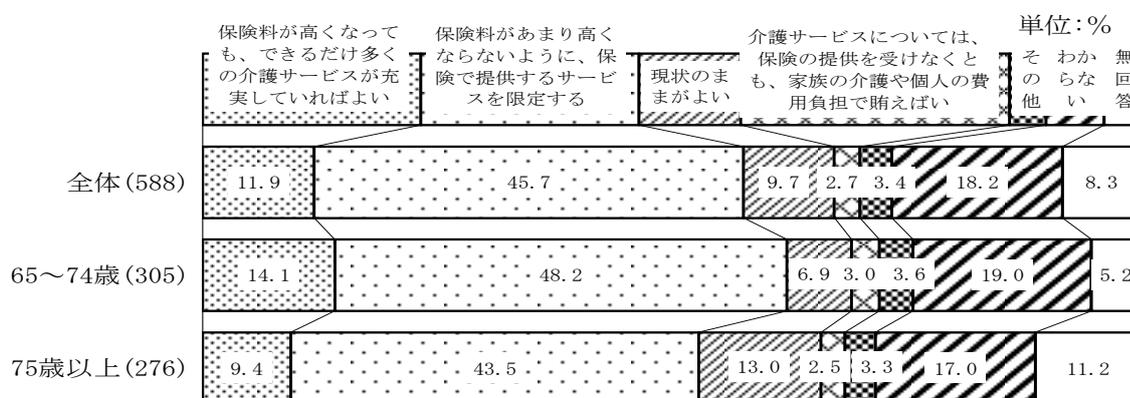
【75 歳以上（問 30）】

「大きい」が 37.3%で最も多く、次いで「やや大きい」が 21.4%、「適当である」が 20.3%となっています。

問 31. ご本人は、保険料の負担と介護保険のサービスについてどう思いますか。

(1つに〇)

1. 保険料が高くなっても、できるだけ多くの介護サービスが充実していればよい
2. 保険料があまり高くないように、保険で提供するサービスを限定する
3. 現状のままだがよい
4. 介護サービスについては、保険の提供を受けなくとも、家族の介護や個人の費用負担で賄えばよい
5. その他
6. わからない



【全体（問31）】

「保険料があまり高くないように、保険で提供するサービスを限定する」が45.7%で最も多く、次いで「わからない」が18.2%、「保険料が高くなっても、できるだけ多くのサービスが充実していればよい」が11.9%となっています。

【65～74歳（問31）】

「保険料があまり高くないように、保険で提供するサービスを限定する」が48.2%で最も多く、次いで「わからない」が19.0%、「保険料が高くなっても、できるだけ多くのサービスが充実していればよい」が14.1%となっています。

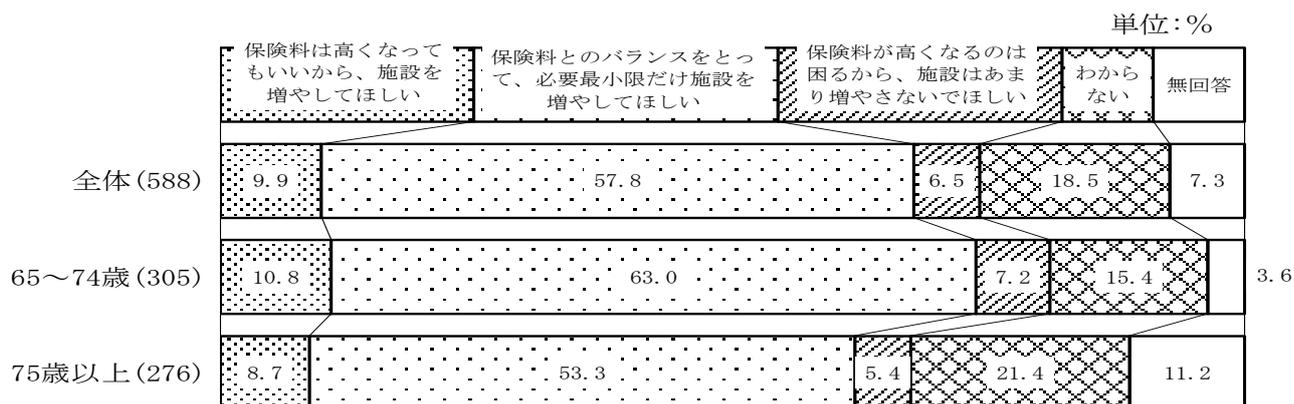
【75歳以上（問31）】

「保険料があまり高くないように、保険で提供するサービスを限定する」が43.5%で最も多く、次いで「わからない」が17.0%、「現状のままだがよい」が13.0%となっています。

。

問 32. 特別養護老人ホームの整備に関するお考えに最も近いものは次の内どれですか。
(1つに〇)

1. 保険料は高くなってもいいから、施設を増やしてほしい
2. 保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい
3. 保険料が高くなるのは困るから、施設はあまり増やさないでほしい
4. わからない



【全体（問 32）】

「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」が 57.8%で最も多く、次いで「わからない」が 18.5%となっています。

【65～74 歳（問 32）】

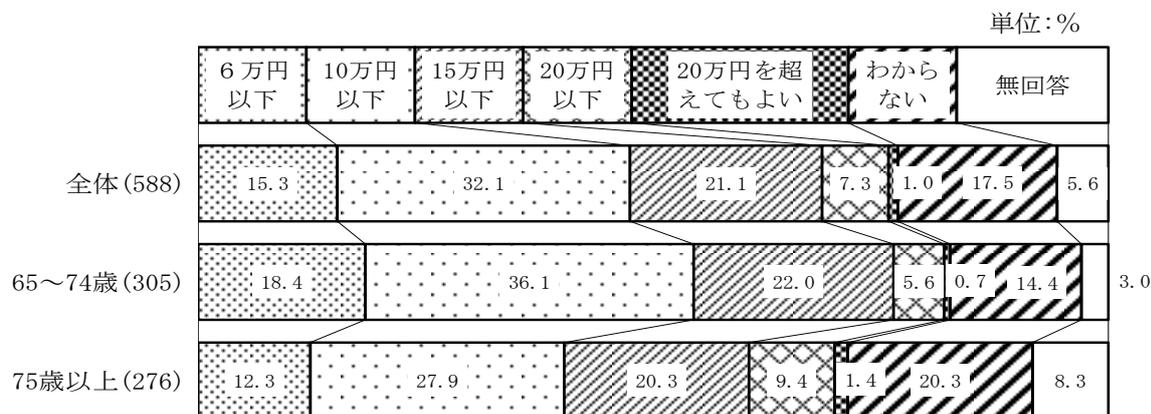
「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」が 63.0%で最も多く、次いで「わからない」が 15.4%となっています。

【75 歳以上（問 32）】

「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」が 53.3%で最も多く、次いで「わからない」が 21.4%となっています。

問 33. 仮に、施設に入所する場合、介護費用や食費・光熱水費等全てを含めて月々の支払額はどのくらいまでなら負担できますか。 (1つに○)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 6万円以下 | 4. 20万円以下 |
| 2. 10万円以下 | 5. 20万円を超えてもよい |
| 3. 15万円以下 | 6. わからない |



【全体（問 33）】

「10万円以下」が32.1%で最も多く、次いで「15万円以下」が21.1%、「わからない」が17.5%、「6万円以下」が15.3%となっています。

【65～74歳（問 33）】

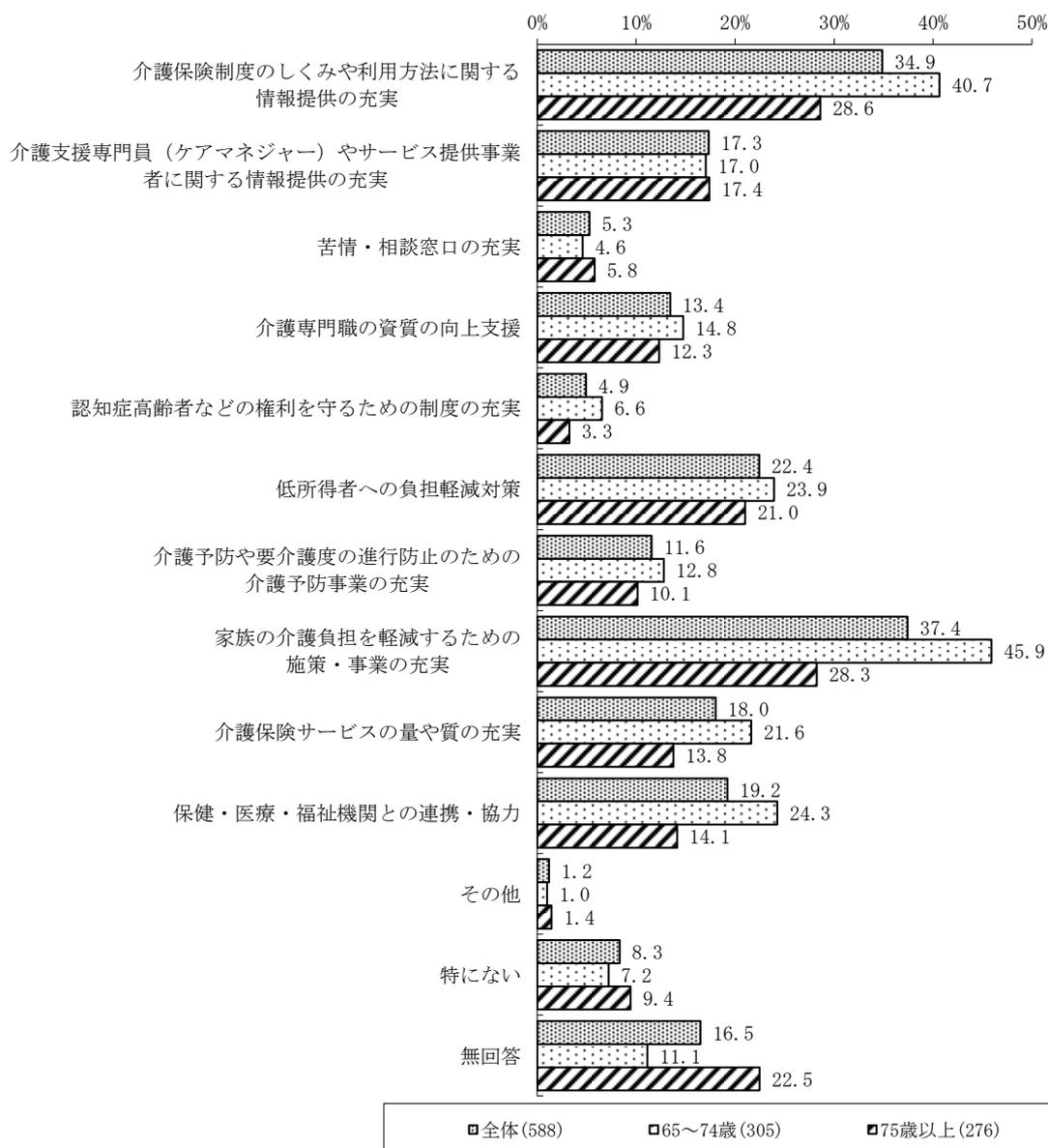
「10万円以下」が36.1%で最も多く、次いで「15万円以下」が22.0%、「6万円以下」が18.4%、「わからない」が14.4%となっています。

【75歳以上（問 33）】

「10万円以下」が27.9%で最も多く、次いで「15万円以下」「わからない」が同ポイントの20.3%、「6万円以下」が12.3%となっています。

問 34. 今後、介護保険制度にかかわる施策で重点的に取り組んでほしいものは何ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. 介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実
2. 介護支援専門員（ケアマネジャー）やサービス提供事業者に関する情報提供の充実
3. 苦情・相談窓口の充実
4. 介護専門職の資質の向上支援
5. 認知症高齢者などの権利を守るための制度の充実
6. 低所得者への負担軽減対策
7. 介護予防や要介護度の進行防止のための介護予防事業の充実
8. 家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実
9. 介護保険サービスの量や質の充実
10. 保健・医療・福祉機関との連携・協力
11. その他（具体的に：)
12. 特にない



【全体（問 34）】

「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が 37.4%で最も多く、次いで「介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実」が 34.9%、「低所得者への負担軽減対策」が 22.4%となっています。

【65～74 歳（問 34）】

「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が 45.9%で最も多く、次いで「介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実」が 40.7%、「保険・医療・福祉機関との連携・協力」が 24.3%となっています。

【75 歳以上（問 34）】

「介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実」が 28.6%で最も多く、次いで「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」28.3%、「無回答」が 22.5%となっています。

介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

127 名の方が意見を寄せました。

【内容】	【件数】
介護保険料や年金等の金銭的負担に関すること	26 件
福祉サービスの充実に関する意見	25 件
現在や将来の不安	13 件
介護や福祉に関する実感、知識	13 件
福祉現場の労働者に対する意見	5 件
その他の意見	58 件

【介護保険料や年金等の金銭的負担に関すること】

- 老人健康保険、介護保険が高い。支払いが大変。
- 低所得者が安心して残りの生活ができる様な施設が多くできたらいいなあと思って居りますが。
- 少額の年金生活者に対して、保険料が高すぎる。今現在、健全に生活しているので、介護等は具体的に考えにくい。
- 私は今 84 歳で遺族年金で生活していますが、いずれ介護を必要とする日が来ると思います。収入に応じての一割とは思いますが、高額な一割もあると思います。そんなとき低所得で払えるかどうか心配です。こういう思いをしている人が大勢いると思いますが、どのようにしていただけるのか、詳しく知らせていただきたいと思います。できるだけ介護を受けないように健康に気をつけて毎日を送るよう心がけなくてはなりませんね。今は元気でバス、電車、歩きと出歩いています。時折よろけたり、前のめりになったりして、自分自ら気をつけなくてはと思っています。これから先どうなるかわかりませんが、要介護になればよろしくお願い致します。
- 保険料の負担と介護保険サービスについては、サービスはいろいろ欲しいが、多ければ保険料は高くなる。特養の整備も同じ。また、特養をつくっても職員不足で全部を開所できない現状あると聞く。職員の待遇改善が必要だと思う。財源確保が問題だが、国に対し無駄な公共事業をやめ、国の負担割合を増やすよう、市として働きかけて欲しい。また消費税をこれ以上増やすのではなく、超高額所得者の税率を上げるよう、働きかけて欲しい。
- 介護保険金が正しく使用されているのか否かの情報が届いていない。定期的な監査報告がされることを希望する。

【福祉サービスの充実に関する意見】

- 介護が必要とならないために介護予防策の充実をする方策を推進してほしい。
- 町内会の老人会がないため、数ヶ月に一度開催されるサロン（100円喫茶）を楽しみにしています。もう少し頻繁に（月に1回か2回）集いがあるといいです。遠くに出掛けられないので、近隣で行っていただけるとありがたいです。
- 今のところ健康なので、あまり関心がないが、特養等介護保険施設が不足していると聞く。我々の世代は人数も多く、やがて介護が必要になる者が増加する。佐倉市内での特養の充実、訪問医療の充実などに期待する。
- これからは長く健康でいられますように。もし体が不自由になった時のために相談窓口の充実にかを入れていただきたいと思います。
- 特別養護老人ホームに速やかに入居できる施設の充実を図って欲しいです。聞くところによると何年待ちでないと入居できないという話を耳にします。本当ですか。
- 路線バスがなくなり、交通が一番困ります。デマンドを使用していますが、2時間後とか朝は9時過ぎでないと受付が開かない。前の日に予約を入れれば8時半からというが、病気などは予約できないので、タクシーよりなし。小さいバスでもいいので、午前2本、午後2本くらい飯塚内田の方をまわるクルリンバスのようなものが欲しい。デマンドはいちいち電話予約などをしなければならないし、バスの時間があればそれに合わせられます。
- この度の調査アンケートで、今まであまり気にとめてない部分を再認識できて、大変勉強になった。自分も高齢で、これから先不安が多くなる出来事があるかもしれない。もし、紙おむつと、杖、リハビリ靴、前開き下着、その他介護用品購入割引券とか、カードと提示したら格安になる便利な方法があれば助かる。欲を言わせていただければ「入れ歯」の費用補助金。

【現在や将来の不安】

- 年金が少なく現に今のままだとこれからどうすればいいのか心配しております。アパート代金ははらえなくなる。
- 高額な介護保険料を払っていても、いざ介護を受けたい時にスムーズに対応をし、介護を受けられるかが心配。
- 高齢化が進み、老人社会となっております。子供はいても、各々が生活をするのに精一杯です。夫婦共働きが今や普通、社会もそれを求めています。転勤族で地縁のない所で永住を決めました。地域包括支援センターはまずの頼みの綱です。しかし、介護法による、認定を受けないとサービスを受けられないのか・・・と心配です。軽費老人ホームをどうか増加してください。なるべく自立して生きていきたいと思っているのですが、1人にな

った時、自立して生活できるだろうかと案じています。福祉部の計画策定が最晩年の幸せをもたらしてくれることを願っています。

- 私は現在、家内の母（98歳）の同居人として、日常の面倒をみていますが、私も家内も70歳を過ぎ、老々介護状態です。日頃の家内を見ていると、昼夜にわたり手がかり、このままでは家内の健康状態が心配になってきます。なんとか一日も早く施設に入れて、家内の負担を軽減させてやりたい思いでいっぱいです。
- 現在、脳梗塞を2度患った夫の世話を焼きながら生活をしております。左側に多少の後遺症がありますが、家の中での生活はなんとか一人で頑張っておりますが、私の妻が体調等崩したときのことを思うと心配になります。介護認定を受けるほどではありませんが、そのときは「地域包括支援センター」に相談させていただきたいと思っております。

【介護や福祉に関する実感、知識】

- 個人的には、介護保険を使わない様に日常の生活に十分注意していることが大切ですが、万が一介護が必要となったとき、家族の負担が大きいと、お互いに生活が成り立たなくなりますので、普段から介護保険施設の場所や料金の内容など、情報を常に把握しておく必要が有ります。介護施設全体のパンフレットなどを各自治会に送付していただければうれしいです。
- 介護保険、支援などについて具体的なことがわかっていない。少子高齢化との中で集団で元気な人が介護が楽しくできる仕組みができると費用も安く「本人ボランティア」もやり甲斐、生き甲斐になり、「される側も安く安心友人感情で」面倒見る、見てもらえる、そんな集団ができると老後も面倒見る、見てもらう施設を強く希望。そんなプロジェクトに参加したい。
- 80才以上になり、年金生活、女房79才で2階築30年弱に住み、子供は息子2人（1人は広島、1人は海外で留守宅都内高2、中1の孫あり）いるが、後5年は長生きしなければならない。従って、夫婦の健康に留意している。近所にデイサービス（月水金、自宅へお風呂のサービスを受けている老人もいる）を受けておられる。ところが支援センター、民生委員も無関心であった。このアンケートを通じて再認識した。それと、もう少しPRしてもらいたい、よくスピーカーで認知症の行方不明者の悲しい放送はあるが。先日二階（にもトイレは有る）に夫婦別の寝室はあるので、自分で手摺りを作ったが、不完全だが、市の補助もあるとのことだった。知らなかった。

【福祉現場で働く人に対する意見】

- 現在母が特養に入所させていただいておりますが、スタッフ（介護専門職等）の人数が少ないように感じられます。専門職の不足が言われていますが、このことは入所者のみならず、スタッフの方にも負担となっているはずで、施設全体に言えることと思っております。老人が増える中、早急の手だてをしていただくことを要望いたします。

- 介護施設職員の待遇改善が、早急に望まれます。特に若者（外国人ももちろん）が介護職に喜んで希望し、定着することを考えた、佐倉市独自の施策を考えてほしい。日本全国人材不足が急速に進んでいく中、多くの都市と同じような対策では、佐倉市のような小さな都市は優秀な人材の確保は望めそうにありません。どうか、介護先進都市を目指して、努力をお願いいたします。
- 保険料の負担と介護保険サービスについては、サービスはいろいろ欲しいが、多ければ保険料は高くなる。特養の整備も同じ。また、特養をつくっても職員不足で全部を開所できない現状あると聞く。職員の待遇改善が必要だと思う。財源確保が問題だが、国に対し無駄な公共事業をやめ、国の負担割合を増やすよう、市として働きかけて欲しい。また消費税をこれ以上増やすのではなく、超高額所得者の税率を上げるよう、働きかけて欲しい。

【その他の意見】

- 介護はできるだけ受けないように日頃年金を考慮しながらスポーツジムに行って体力作りをし、また、世間話などをして認知症などの予防に心がけています。
- ①介護保険料金は以前の住居のあった市が徴収するという制度が何度聞いても良く理解できません。料金の変動の度に以前の市役所に電話するという手間、出費。支払者に余分な出費をさせないでほしい。支払者にもうすこし親切であってほしい。②若い人達に負担を掛けない様にと自分の健康管理には細心の注意を払っております。介護保険料を見る度に、個人の健康管理の大切さを考えさせられています。個々人の努力「人に〇〇ない」という考えで人生を過ごしている私達健康老人にも「お陰様、ありがとう」の一言くらいほしいものです。賞状はいりませんが、せめて「立派な」カレンダーくらいほしいものです。毎年支払のみではうれしくないですね！ 家から京成の駅まで健康のため歩いておりますが、「歩道」なるものが最低。細めの人でも車の速さなので大変危険です。いわゆる「歩道」とは言い難い！どうか「ご一考」を。学生達の行儀悪し、道を対面者に譲らない。外国ではあまり見られない礼儀のなさ！よろしく申し上げます。
- 私どもは現在、後期高齢者夫婦二人で暮らしております。二人とも病気があり、通院治療中です。どちらか一人が病気が進むと介護をお願いすることになると思います。介護をお願いするのが一日でも先になるように、家事のやり方、食事など考えて頑張っております。
- 身近に迫った問題ですが、幸い現在は現実の問題として捉えにくい点が多いのですが、自分に置き換えると子どもたちが遠くに居住しているので、当てにできないので現実です。もう少し佐倉市の施設の様子を知る必要があると思いました。
- 肺の骨折のときによって、入所に関する事について、介護サービスの情報を包括支援センターで詳しく教えていただきました。
- 農家の主婦業として毎日過ごしています。地域的には近所の人たちと毎日会い話をしますので、歳なりに楽しく過ごせています。だが、農家収入だけでは生活できません。若い

人たちは家を出て働くようになりましたので、どんどん年寄りだけ多くなり困りました。介護保険はますます必要となり、利用させていただくようになると思います。若い人たちにも介護保険の制度を教え、必要最小限を利用し、親子昔と一緒に生活を保てるようお願い、自分も人の話に耳を傾けなるべく元気で終えたいと願うところです。

- 昨年12月末に配偶者を亡くした母が、現在独居生活をしておりますが、来月で満90歳になります。生活環境は農家住宅のため室内外に段差があり、屋内に土間もあります。またトイレは屋外になるため、夜間は簡易型のポータブルトイレ（小用のみ）を使用しています。本人は腰が曲がり、杖がなければ歩行が困難ですが、食事の準備や掃除、洗濯などの日常生活をなんとか行っております。農村のため、夏冬の暑さ寒さが厳しく、対応する家電製品については使い慣れたもの以外は使用方法を覚えることが難しいです。さらに火災の心配もあり関連製品（ストーブ等）を使用することもできません。近くにいる私（長男）が様子を見回っておりますが、今後のことを考えますと、訪問介護や通所サービス、配食サービスなどをぜひとも利用したいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。
- 年を重ねるごとに、体力の低下を感じる時があります。いつの日にか介護のお世話になるときが来るのかなと思ったりするときもあります。いつまでも元気でいたい、前向きな気持ちを持って日常生活をしております。このアンケートについては、今のところは介護のお世話になっておりませんので、非常に難しかったです。これからもよりよい介護制度になっていくことを望んでおります

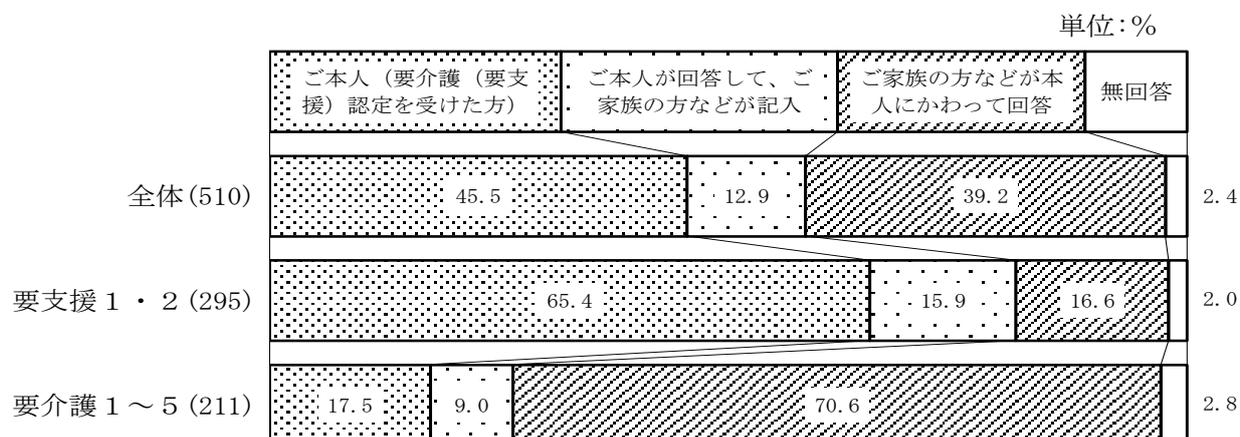
要援護の市民の実態と意向
(要支援・要介護認定者調査結果)

(1) 調査票の回答者について、おうかがいします

問 1. このアンケートに答えていただくのはどなたですか。

(1つに〇)

1. ご本人（要介護（要支援）認定を受けた方）
2. ご本人が回答して、ご家族の方などが記入
3. ご家族の方などが本人にかわって回答



【全体（問1）】

「ご本人（要介護（要支援）認定を受けた方）」が45.5%で最も多く、次いで「ご家族の方などが本人にかわって回答」が39.2%となっています。

【要支援 1・2（問1）】

「ご本人（要介護（要支援）認定を受けた方）」が65.4%で最も多く、次いで「ご家族の方などが本人にかわって回答」が16.6%となっています。

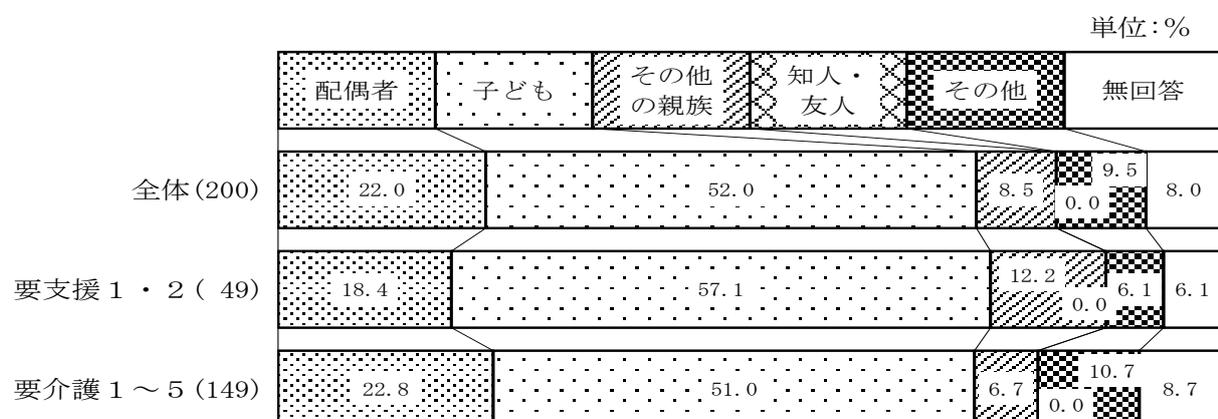
【要介護 1～5（問1）】

「ご家族の方などが本人にかわって回答」が70.6%で最も多く、次いで「ご本人（要介護（要支援）認定を受けた方）」が17.5%となっています。

問 1-1. 問 1 で「3」を選んだ方にお聞きします。ご本人との続柄をお答えください。

(1つに〇)

1. 配偶者	3. その他の親族	5. その他 ()
2. 子ども	4. 知人・友人	



【全体（問 1-1）】

「子ども」が52.0%で最も多く、次いで「配偶者」が22.0%となっています。

【要支援 1・2（問 1-1）】

「子ども」が57.1%で最も多く、次いで「配偶者」が18.4%となっています。

【要介護 1～5（問 1-1）】

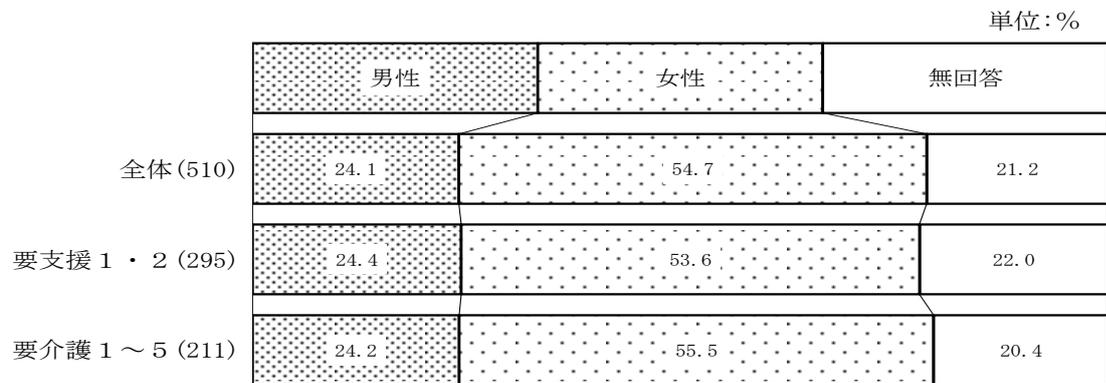
「子ども」が51.0%で最も多く、次いで「配偶者」が22.8%となっています。

(2) あて名ご本人（以下、「ご本人」）について、おうかがいします

問 2. ご本人の性別と年齢（平成26年7月1日現在）について、お答えください。

（それぞれ1つに○）

1) 性別	1. 男性	2. 女性
-------	-------	-------



【全体（問2-1）】

「女性」が54.7%、「男性」が24.1%となっています。

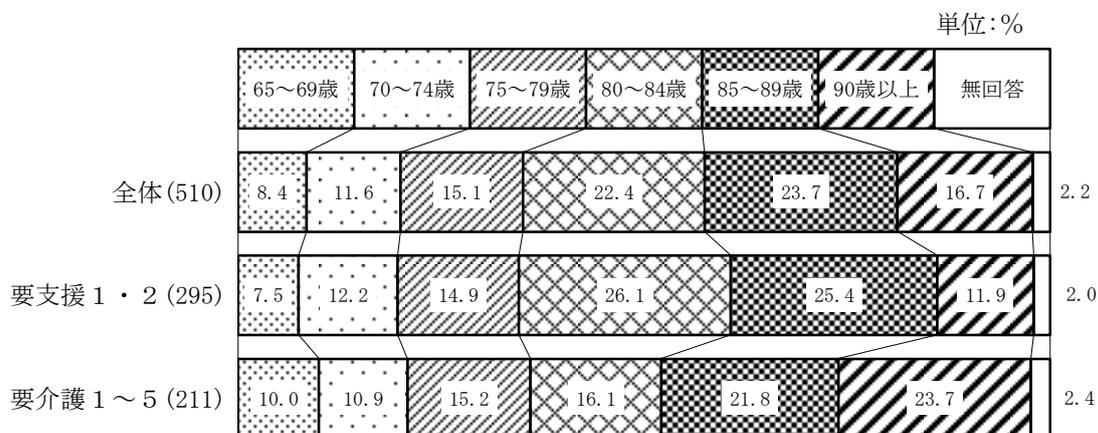
【要支援1・2（問2-1）】

「女性」が53.6%、「男性」が24.4%となっています。

【要介護1～5（問2-1）】

「女性」が55.5%、「男性」が24.2%となっています。

2) 年齢	1. 65～69歳	3. 75～79歳	5. 85～89歳
	2. 70～74歳	4. 80～84歳	6. 90歳以上



【全体（問 2-2）】

「85～89歳」が23.7%で最も多く、次いで「80～84歳」が22.4%、「90歳以上」が16.7%、「75～79歳」が15.1%となっています。

【要支援 1・2（問 2-2）】

「80～84歳」が26.1%で最も多く、次いで「85～89歳」が25.4%、「75～79歳」が14.9%、「70～74歳」が12.2%となっています。

【要介護 1～5（問 2-2）】

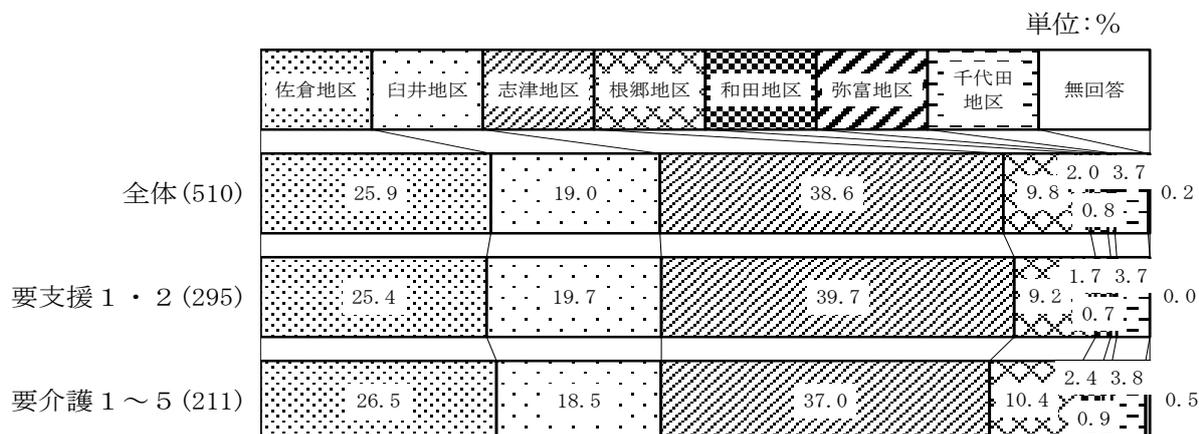
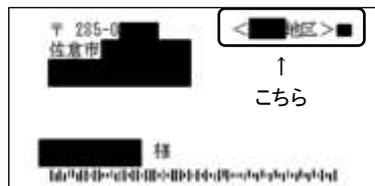
「90歳以上」が23.7%で最も多く、次いで「85～89歳」が21.8%、「80～84歳」が16.1%、「75～79歳」が15.2%となっています。

問 3. ご本人の住まいはどの地域ですか。

(1つに〇)

- 1. 佐倉地区
- 2. 臼井地区
- 3. 志津地区
- 4. 根郷地区
- 5. 和田地区
- 6. 弥富地区
- 7. 千代田地区

封筒の宛名に記載されている地区と同じものに〇を付けてください。



【全体（問3）】

「志津地区」が38.6%で最も多く、次いで「佐倉地区」が25.9%、「臼井地区」が19.0%となっています。

【要支援 1・2（問3）】

「志津地区」が39.7%で最も多く、次いで「佐倉地区」が25.4%、「臼井地区」が19.7%となっています。

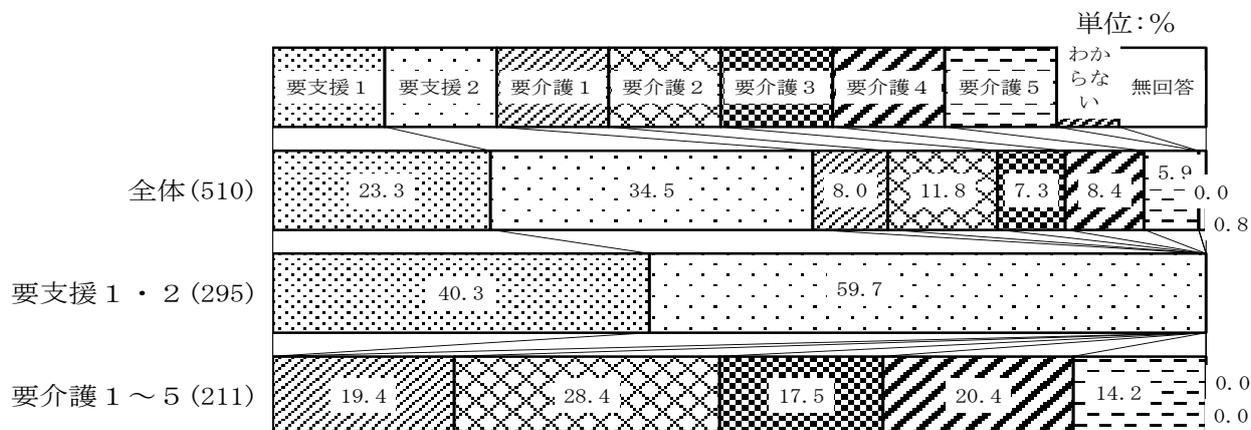
【要介護 1～5（問3）】

「志津地区」が37.0%で最も多く、次いで「佐倉地区」が26.5%、「臼井地区」が18.5%となっています。

問 4. 現在のご本人の介護度は次のうちどれですか。

(1つに〇)

1. 要支援1	3. 要介護1	5. 要介護3	7. 要介護5
2. 要支援2	4. 要介護2	6. 要介護4	8. わからない



【全体（問4）】

「要支援2」が34.5%で最も多く、次いで「要支援1」が23.3%、「要介護2」が11.8%となっています。

【要支援1・2（問4）】

「要支援2」が59.7%で最も多く、次いで「要支援1」が40.3%となっています。

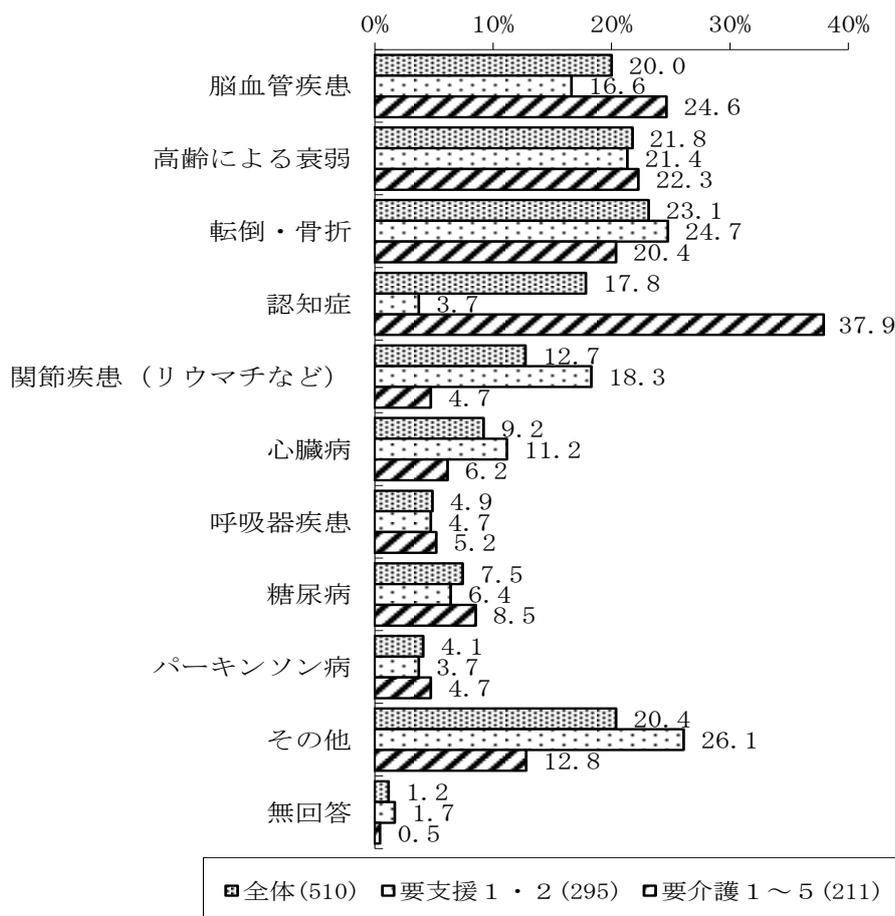
【要介護1～5（問4）】

「要介護2」が28.4%で最も多く、次いで「要介護4」が20.4%、「要介護1」が19.4%となっています。

問 5. ご本人が要支援・要介護状態になった主な原因は何ですか。

(あてはまるものにすべて○)

1. 脳血管疾患	5. 関節疾患（リウマチなど）	9. パーキンソン病
2. 高齢による衰弱	6. 心臓病	10. その他（ ）
3. 転倒・骨折	7. 呼吸器疾患	
4. 認知症	8. 糖尿病	



【全体（問5）】

「転倒・骨折」が23.1%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が21.8%、「その他」が20.4%、「脳血管疾患」が20.0%となっています。

【要支援 1・2（問5）】

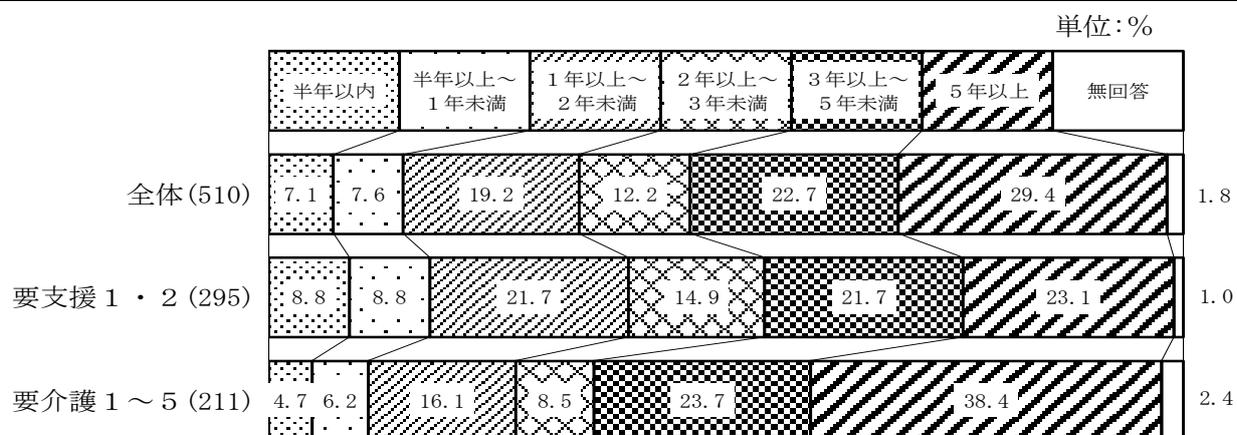
「その他」が26.1%で最も多く、次いで「転倒・骨折」が24.7%、「高齢による衰弱」が21.4%、「関節疾患（リウマチなど）」が18.3%となっています。

【要介護 1～5（問5）】

「認知症」が37.9%で最も多く、次いで「脳血管疾患」が24.6%、「高齢による衰弱」が22.3%、「転倒・骨折」が20.4%となっています。

問 6. 初めて介護認定を受けてから現在までの期間はどのくらいですか。 (1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 半年以内 | 3. 1年以上～2年未満 | 5. 3年以上～5年未満 |
| 2. 半年以上～1年未満 | 4. 2年以上～3年未満 | 6. 5年以上 |



【全体（問6）】

「5年以上」が29.4%で最も多く、次いで「3年以上～5年未満」が22.7%、「1年以上～2年未満」が19.2%、「2年以上～3年未満」が12.2%となっています。

【要支援1・2（問6）】

「5年以上」が23.1%で最も多く、次いで「3年以上～5年未満」、「半年以上～1年未満」が同ポイントの21.7%、「2年以上～3年未満」が14.9%となっています。

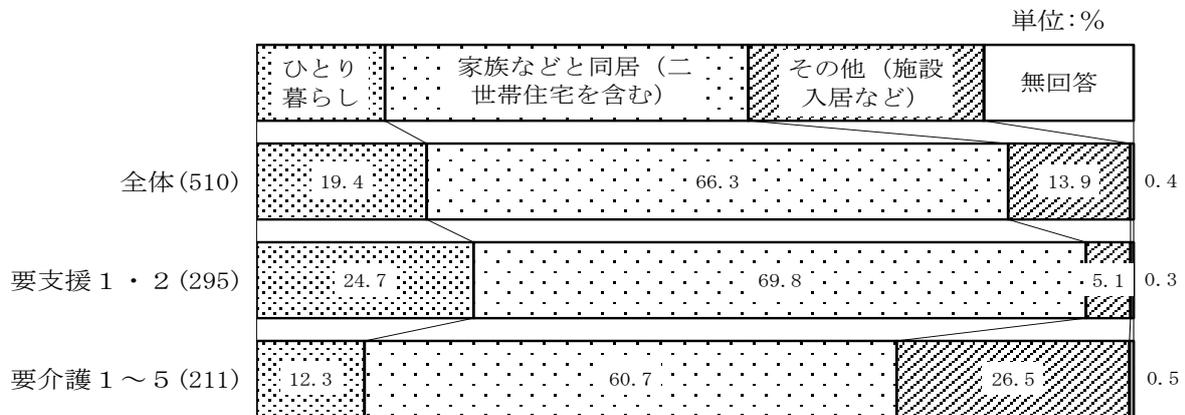
【要介護1～5（問6）】

「5年以上」が38.4%で最も多く、次いで「3年以上～5年未満」が23.7%、「1年以上～2年未満」が16.1%、「2年以上～3年未満」が8.5%となっています。

問 7. ご本人の世帯の状況をお答えください。

(1つに〇)

1. ひとり暮らし	2. 家族などと同居 (二世帯住宅を含む)	3. その他(施設入居など)
-----------	--------------------------	----------------



【全体 (問 7)】

「家族などと同居 (二世帯住宅を含む)」が 66.3%で最も多く、次いで「ひとり暮らし」が 19.3%、「その他 (施設入居など)」が 13.9%となっています。

【要支援 1・2 (問 7)】

「家族などと同居 (二世帯住宅を含む)」が 69.8%で最も多く、次いで「ひとり暮らし」が 24.7%、「その他 (施設入居など)」が 5.1%となっています。

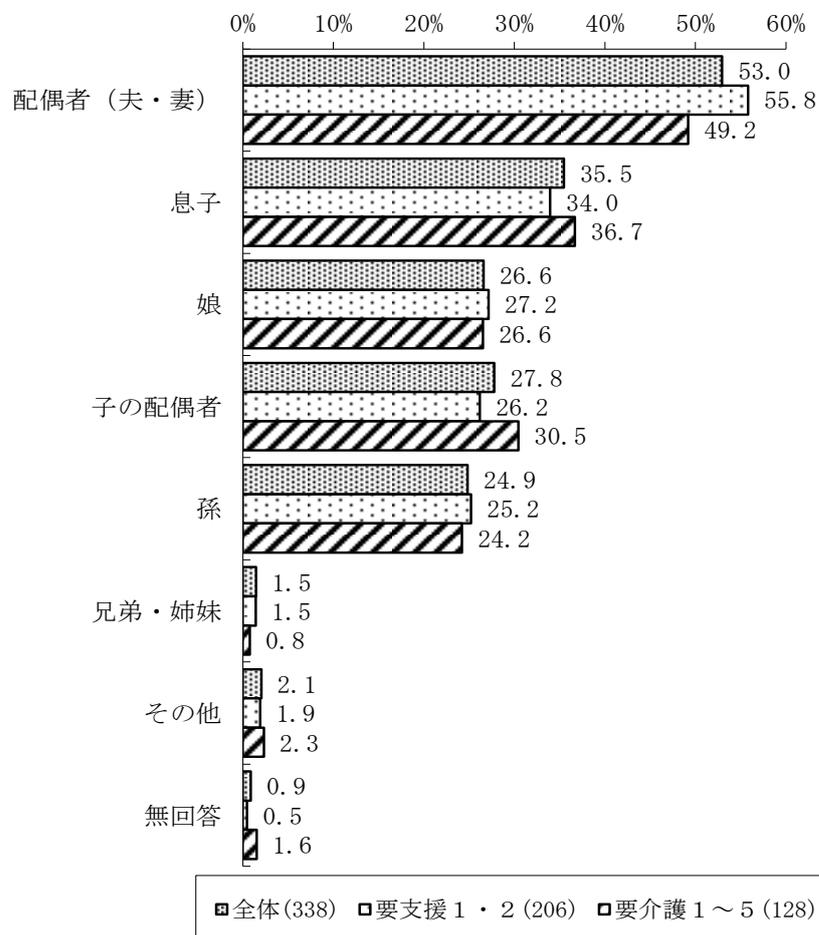
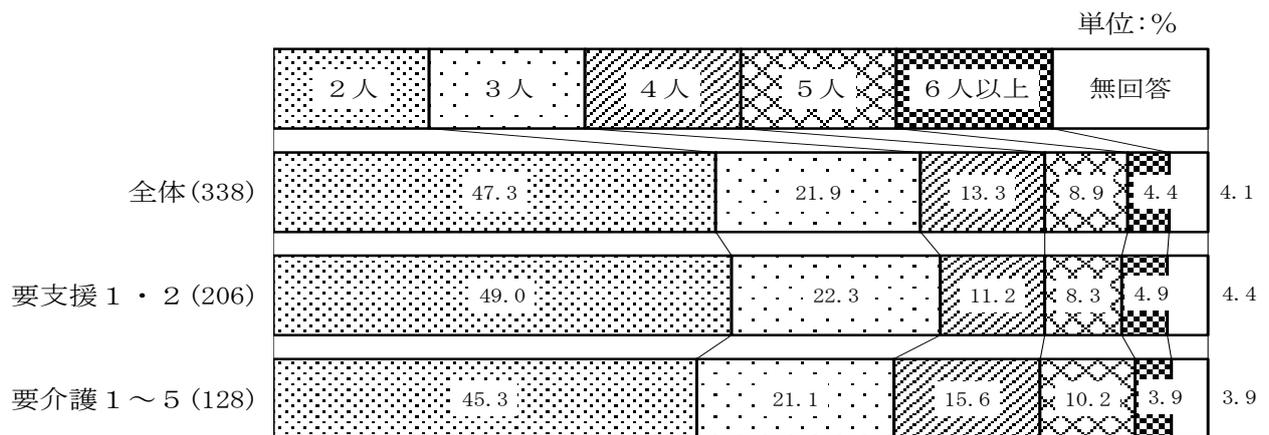
【要介護 1～5 (問 7)】

「家族などと同居 (二世帯住宅を含む)」が 60.7%で最も多く、次いで「その他 (施設入居など)」が 26.5%、「ひとり暮らし」が 12.3%となっています。

問 7-1. (家族など同居されている方のみ) ご自分を含めて何人で暮らしていますか。 また、同居されている方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

□ 人

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 配偶者 (夫・妻) | 5. 孫 |
| 2. 息子 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 3. 娘 | 7. その他 () |
| 4. 子の配偶者 | |



【全体（問7-1）】

「2人」が47.3%で最も多く、次いで「3人」が21.9%、「4人」が13.3%となっています。

同居されている方は、「配偶者」が53.0%、「息子」が35.5%、「娘」が26.6%、「子の配偶者」が27.8%、「孫」が24.9%でした。

【要支援1・2（問7-1）】

「2人」が49.0%で最も多く、次いで「3人」が22.3%、「4人」が11.2%となっています。

同居されている方は、「配偶者」が55.8%、「息子」が34.0%、「娘」が27.2%、「子の配偶者」が26.2%、「孫」が25.2%でした。

【要介護1～5（問7-1）】

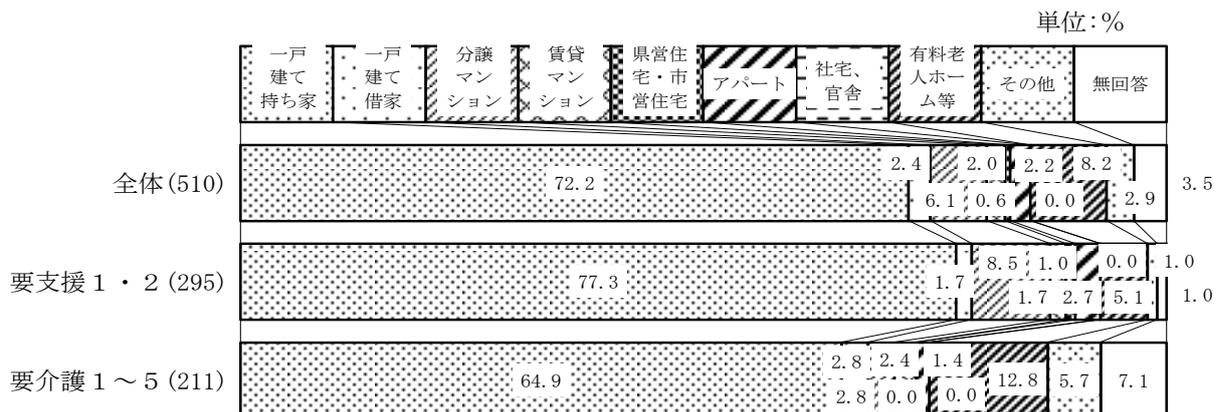
「2人」が45.3%で最も多く、次いで「3人」が21.1%、「4人」が15.6%となっています。

同居されている方は、「配偶者」が49.2%、「息子」が36.7%、「娘」が26.6%、「子の配偶者」が30.5%、「孫」が24.2%でした。

(3) ご本人の住まいと今後の希望について、おうかがいします

問 8. ご本人の住まいは次のうちどれですか。 (1つに〇)

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1. 一戸建て持ち家 | 4. 賃貸マンション | 7. 社宅、官舎 |
| 2. 一戸建て借家 | 5. 県営住宅・市営住宅 | 8. 有料老人ホーム等 |
| 3. 分譲マンション | 6. アパート | 9. その他 () |



【全体 (問 8)】

「一戸建て持ち家」が72.2%で最も多く、次いで「有料老人ホーム等」が8.2%、「分譲マンション」が6.1%となっています。

【要支援 1・2 (問 8)】

「一戸建て持ち家」が77.3%で最も多く、次いで「分譲マンション」が8.5%、「有料老人ホーム等」が5.1%となっています。

【要介護 1～5 (問 8)】

「一戸建て持ち家」が64.9%で最も多く、次いで「有料老人ホーム等」が12.8%、「無回答」が7.1%となっています。

問 9. 現在のお住まいは在宅介護に適していると思いますか。

(1つに○)

1. いいえ

2. はい

単位:%

	いいえ	はい	無回答
全体 (510)	45.3	47.6	7.1
要支援 1・2 (295)	43.7	52.2	4.1
要介護 1～5 (211)	47.9	41.2	10.9

【全体（問9）】

「はい」が47.6%、「いいえ」が45.3%となっています。

【要支援 1・2（問9）】

「はい」が52.2%、「いいえ」が43.7%となっています。

【要介護 1～5（問9）】

「いいえ」が47.9%、「はい」が41.2%となっています。

問 9-1. 問 9 で「1 いいえ」を選んだ方にお聞きします。どこが適していませんか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. ご本人の専用の居室がないこと | 9. 風呂場に手すりが付いていない |
| 2. 室内、室外に段差があり、移動に支障がある | 10. 風呂場のドアが開けにくい |
| 3. 階段がある | 11. トイレに介助者が一緒に入れない |
| 4. 室内や廊下に手すりが付いていない | 12. トイレが車椅子で利用できない |
| 5. 廊下などの通路が狭い | 13. トイレに手すりがない |
| 6. エレベーターが設置されていない | 14. トイレのドアが開けにくい |
| 7. 風呂場に介助者が一緒に入れない | 15. その他() |
| 8. 浴槽の立ち上がりが高い | |

【全体（問 9-1）】

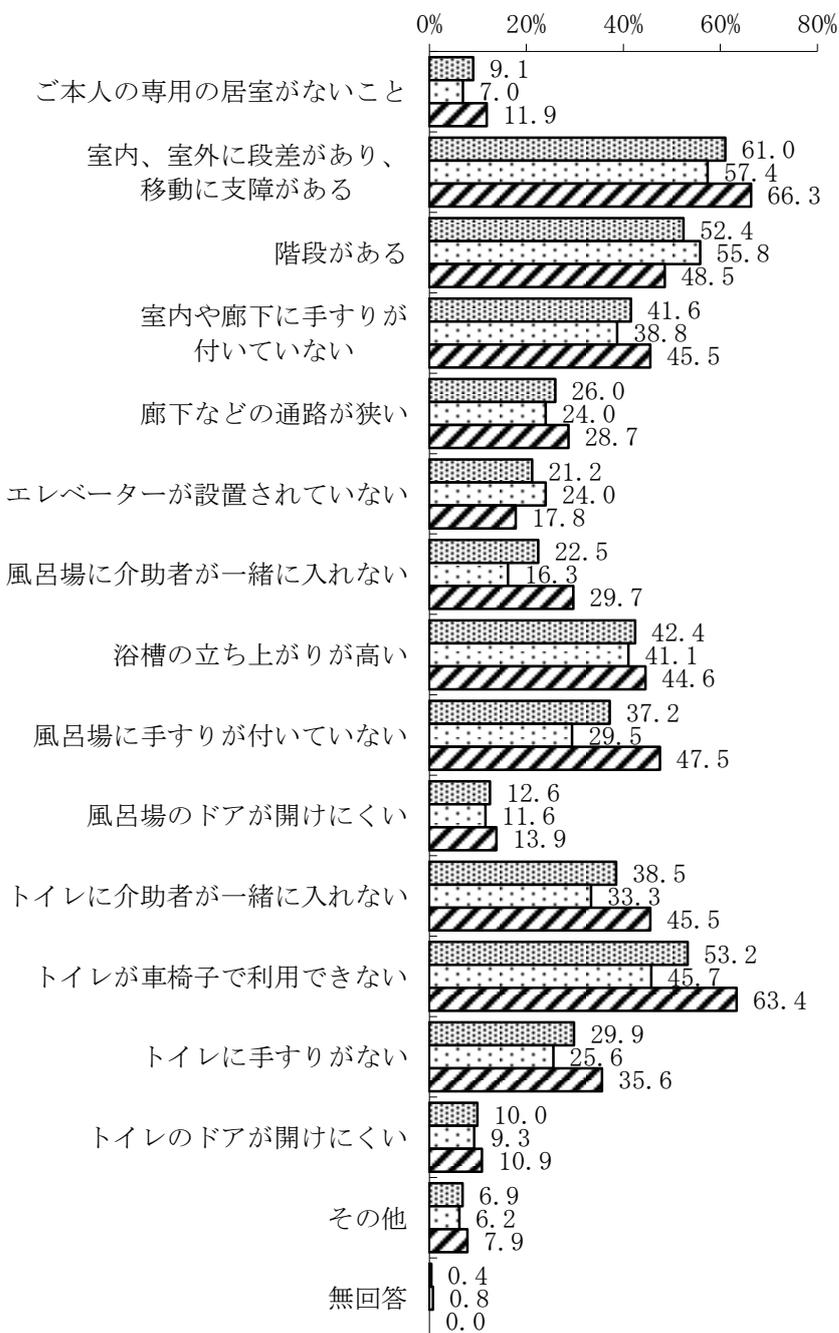
「室内、室外に段差があり、移動に支障がある」が61.0%で最も多く、次いで「トイレが車椅子で利用できない」が53.2%、「階段がある」が52.4%となっています。

【要支援 1・2（問 9-1）】

「室内、室外に段差があり、移動に支障がある」が57.4%で最も多く、次いで「階段がある」が55.8%、「トイレが車椅子で利用できない」が45.7%となっています。

【要介護 1～5（問 9-1）】

「室内、室外に段差があり、移動に支障がある」が66.3%で最も多く、次いで「トイレが車椅子で利用できない」が63.4%、「階段がある」が48.5%となっています。

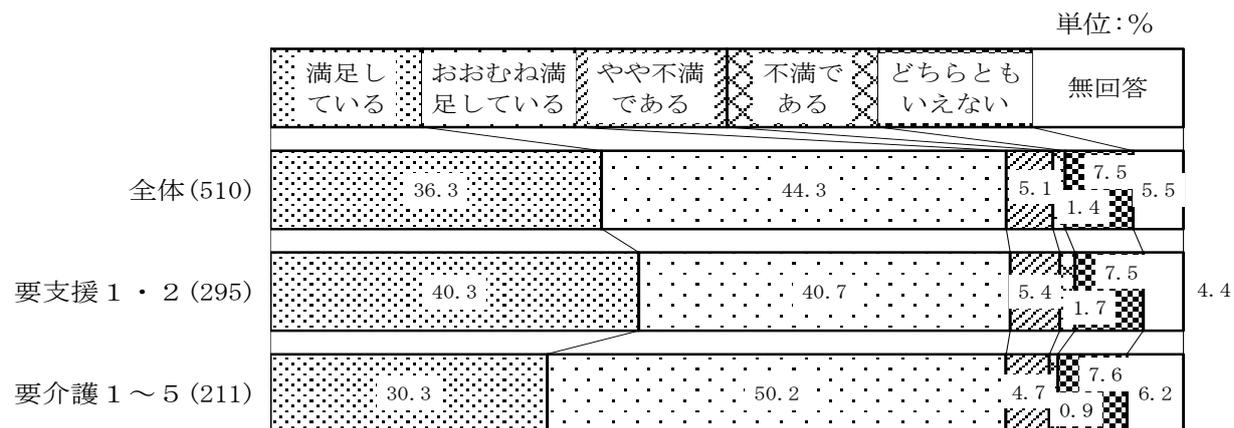


■全体 (231) ■要支援 1・2 (129) ■要介護 1～5 (101)

(4) 介護保険サービスの利用状況について、おうかがいします

問 10. 介護サービスの計画（ケアプラン）の内容に満足していますか。 （1つに○）

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 満足している | 3. やや不満である | 5. どちらともいえない |
| 2. おおむね満足している | 4. 不満である | |



【全体（問 10）】

「おおむね満足している」が 44.3%で最も多く、次いで「満足している」が 36.3%となっています。

【要支援 1・2（問 10）】

「おおむね満足している」が 40.7%で最も多く、次いで「満足している」が 40.3%となっています。

【要介護 1～5（問 10）】

「おおむね満足している」が 50.2%で最も多く、次いで「満足している」が 30.3%となっています。

ービスを受ける回数が希望と異なること」が 33.3%となっています。

問 11. ご本人は、利用したサービスについて満足していますか。

利用したものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

また、それぞれの満足度について、該当するもの1つに○をつけてください。

(「やや不満」「不満」に○をつけた方は、不満の理由もご記入ください。)

サービスの種類	利用した	→	満足	やや満足	やや不満	不満	不満の理由
(1) 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(2) 夜間対応型訪問介護※1	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(3) 訪問入浴介護	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(4) 訪問看護	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(5) 訪問リハビリテーション	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(6) 居宅療養管理指導※2	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(7) 通所介護(デイサービス)	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(8) 通所リハビリテーション (デイケア)	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(9) 認知症対応型通所介護 ※3	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(10) 短期入所生活介護 (ショートステイ)	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(11) 短期入所療養介護 (医療ショートステイ)	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(12) 福祉用具貸与	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(13) 福祉用具購入費の支給	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(14) 住宅改修費の支給	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(15) 小規模多機能型居宅 介護※4	1.	→	1.	2.	3.	4.	
(16) 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護※5	1.	→	1.	2.	3.	4.	

※1 夜間対応型訪問介護：24 時間安心して在宅生活を送れるよう、定期的な巡回や通報により夜間に行う訪問介護サービス

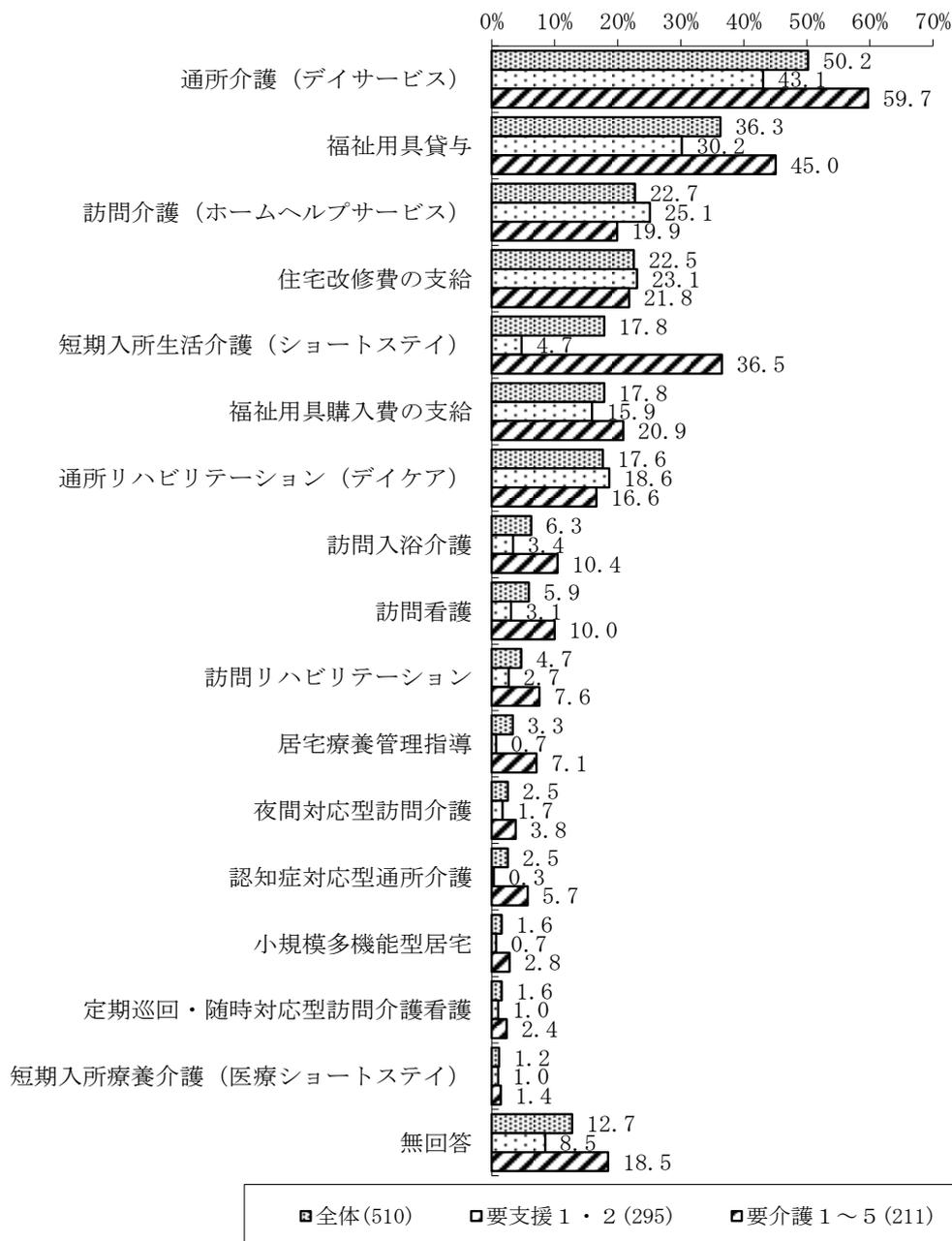
※2 居宅療養管理指導：医師、歯科医師、薬剤師等が家庭を訪問し、療養上の管理や指導を行うサービス

※3 認知症対応型通所介護：認知症の方を対象として、日常生活に必要な入浴・排せつ・食事などの身の回りの世話や機能訓練を施設などで受けるサービス

※4 小規模多機能型居宅介護：小規模な施設で、通いを中心としながら、訪問や短期宿泊を組み合わせたサービス

※5 定期巡回・随時対応型訪問介護看護：1 日複数回の定期的な訪問と要請に応じて 24 時間対応での随時訪問がセットとなった定額サービス

【利用経験】



【全体（問 11 利用経験）】

「通所介護(デイサービス)」が50.2%で最も多く、次いで「福祉用具貸与」が36.3%となっています。

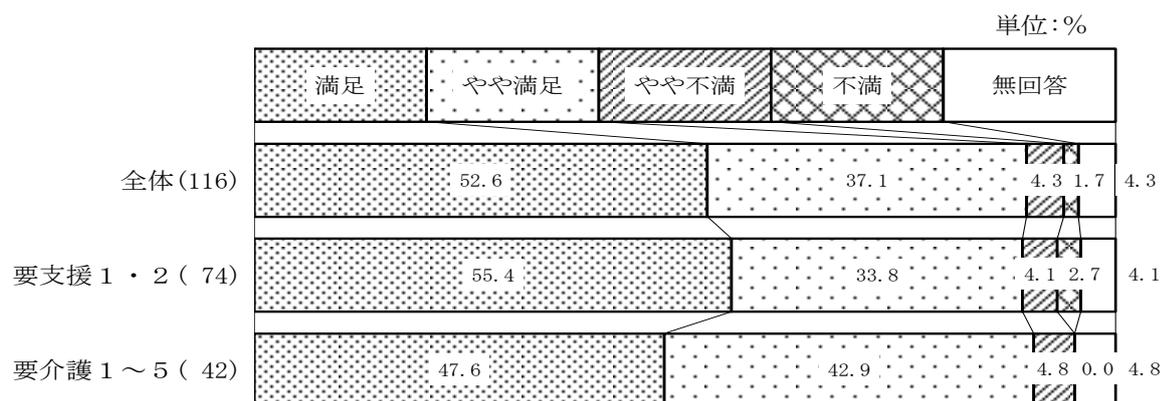
【要支援 1・2（問 11 利用経験）】

「通所介護(デイサービス)」が43.1%で最も多く、次いで「福祉用具貸与」が30.2%となっています。

【要介護 1～5（問 11 利用経験）】

「通所介護(デイサービス)」が59.7%で最も多く、次いで「福祉用具貸与」が45.0%、「短期入所生活介護 (ショートステイ)」が36.5%となっています。

【通所介護(デイサービス)】



【全体(問11 通所介護(デイサービス))】

「満足」と「やや満足」の合計は89.7%となっています。

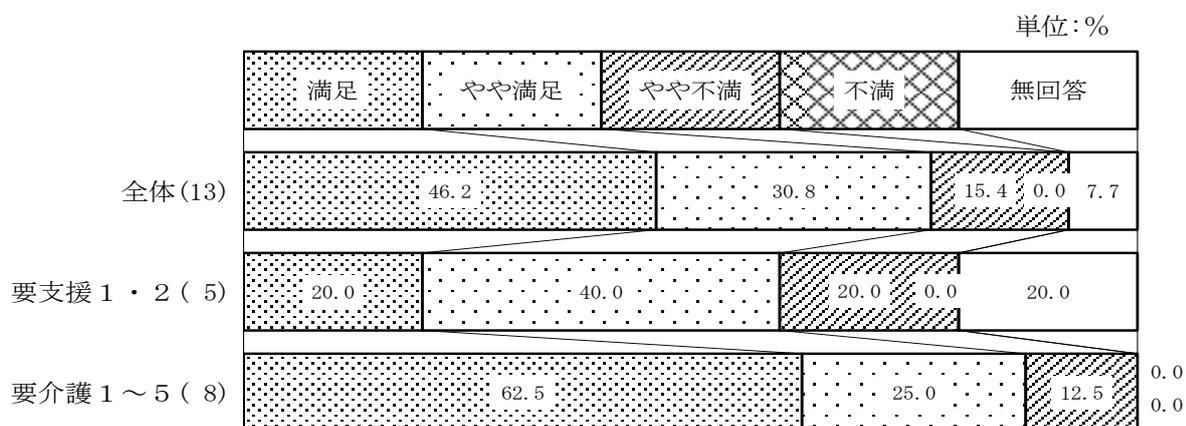
【要支援1・2(問11 通所介護(デイサービス))】

「満足」と「やや満足」の合計は89.2%となっています。

【要介護1～5(問11 通所介護(デイサービス))】

「満足」と「やや満足」の合計は9割を超えています。

【夜間対応型訪問介護】



【全体(問11 夜間対応型訪問介護)】

「満足」と「やや満足」の合計は77.0%となっています。

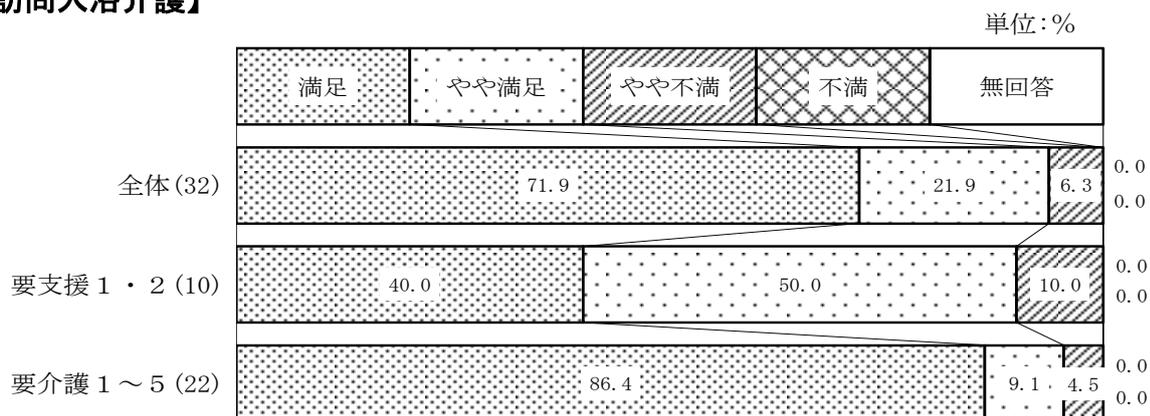
【要支援1・2(問11 夜間対応型訪問介護)】

5名の利用者のうち3名が「満足」、「やや満足」と回答しています

【要介護1～5(問11 夜間対応型訪問介護)】

「満足」と「やや満足」の合計は87.5%です。

【訪問入浴介護】



【全体（問 11 訪問入浴介護）】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

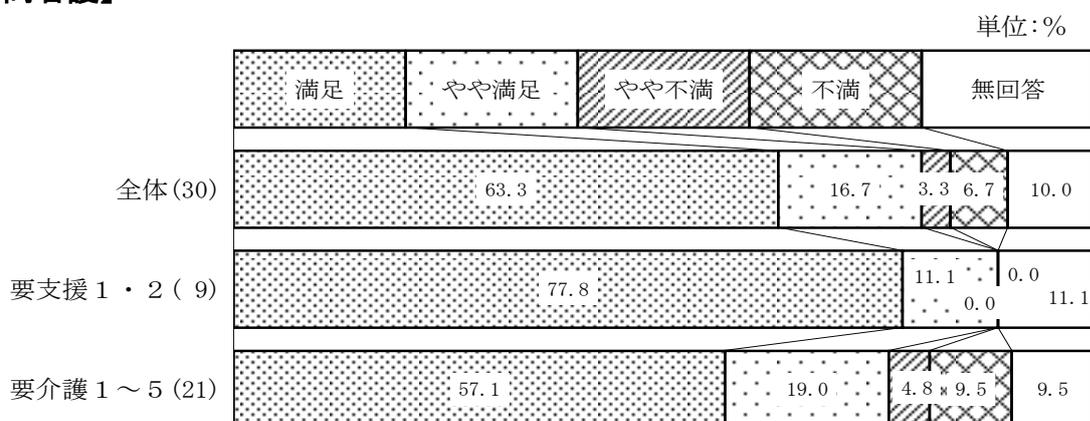
【要支援 1・2（問 11 訪問入浴介護）】

「満足」と「やや満足」の合計は 90.0%となっています。

【要介護 1～5（問 11 訪問入浴介護）】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

【訪問看護】



【全体（問 11 訪問看護）】

「満足」と「やや満足」の合計は 80.0%となっています。

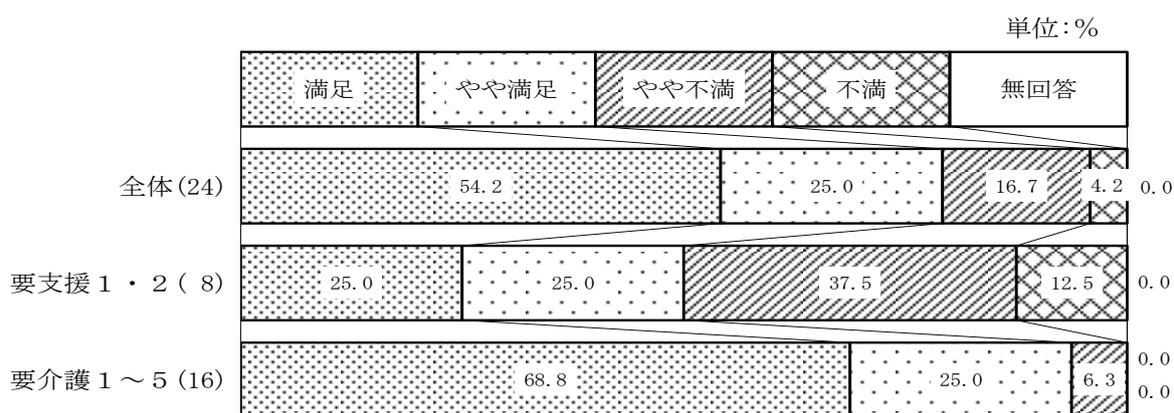
【要支援 1・2（問 11 訪問看護）】

「満足」と「やや満足」の合計は 88.9%となっています。

【要介護 1～5（問 11 訪問看護）】

「満足」と「やや満足」の合計は 76.1%となっています。

【訪問リハビリテーション】



【全体（問 11 訪問リハビリテーション）】

「満足」と「やや満足」の合計は 79.2%となっています。

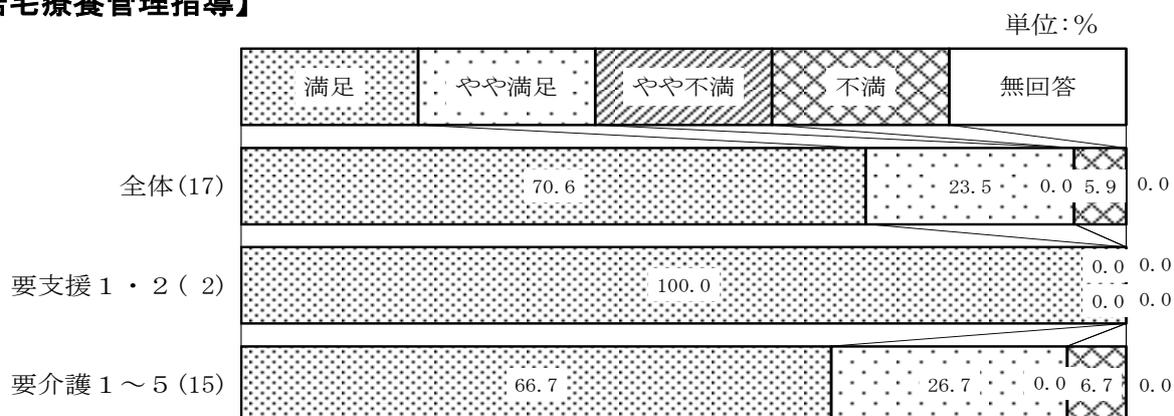
【要支援 1・2（問 11 訪問リハビリテーション）】

8名の利用者のうち半数が「満足」、「やや満足」と回答しています。

【要介護 1～5（問 11 訪問リハビリテーション）】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

【居宅療養管理指導】



【全体（問 11 居宅療養管理指導）】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

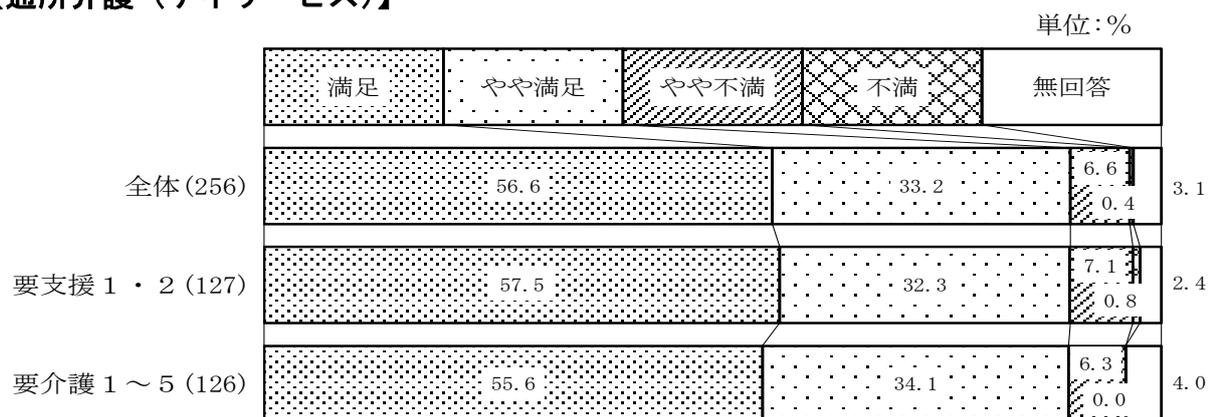
【要支援 1・2（問 11 居宅療養管理指導）】

2名の利用者がともに「満足」と回答しています。

【要介護 1～5（問 11 居宅療養管理指導）】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

【通所介護（デイサービス）】



【全体（問 11 通所介護（デイサービス））】

「満足」と「やや満足」の合計は 89.8%となっています。

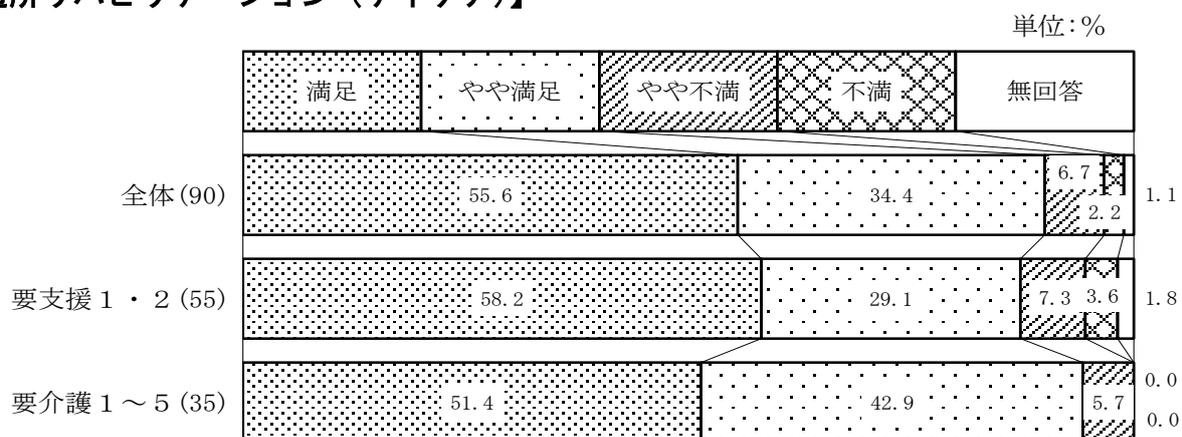
【要支援 1・2（問 11 通所介護（デイサービス））】

「満足」と「やや満足」の合計は 89.8%となっています。

【要介護 1～5（問 11 通所介護（デイサービス））】

「満足」と「やや満足」の合計は 89.7%となっています。

【通所リハビリテーション（デイケア）】



【全体（問 11 通所リハビリテーション（デイケア））】

「満足」と「やや満足」の合計は 90.0%となっています。

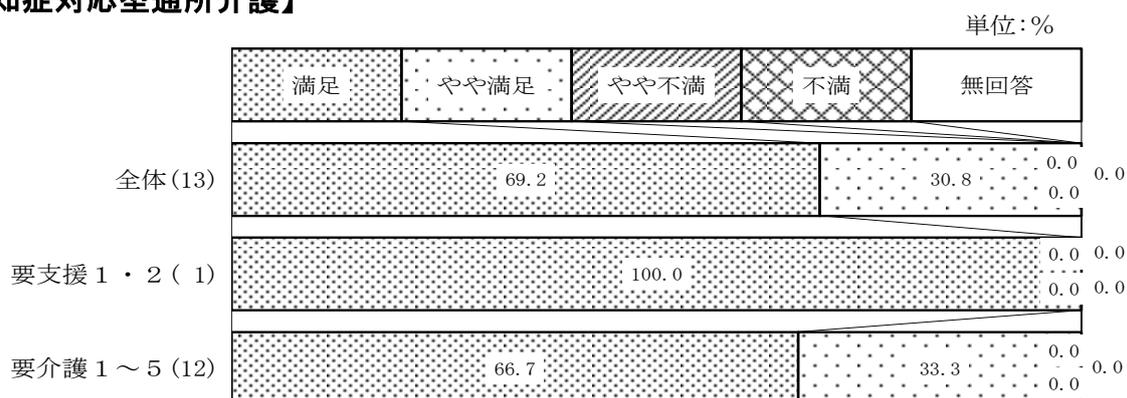
【要支援 1・2（問 11 通所リハビリテーション（デイケア））】

「満足」と「やや満足」の合計は 87.3%となっています。

【要介護 1～5（問 11 通所リハビリテーション（デイケア））】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

【認知症対応型通所介護】



【全体（問 11 認知症対応型通所介護）】

利用者全員が「満足」または「やや満足」と回答しています。

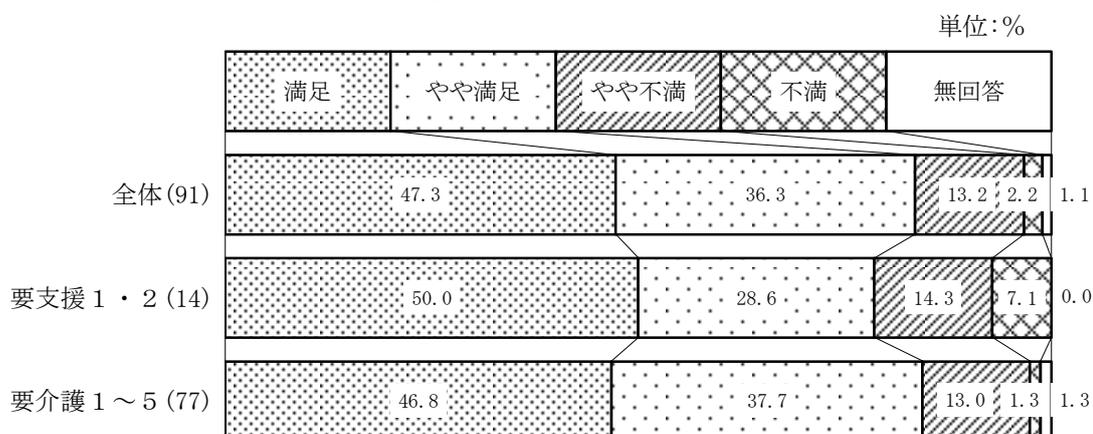
【要支援 1・2（問 11 認知症対応型通所介護）】

利用者は、「満足」と回答しています。

【要介護 1～5（問 11 認知症対応型通所介護）】

利用者全員が「満足」または「やや満足」と回答しています。

【短期入所生活介護（ショートステイ）】



【全体（問 11 短期入所生活介護（ショートステイ））】

「満足」と「やや満足」の合計は 83.6%となっています。

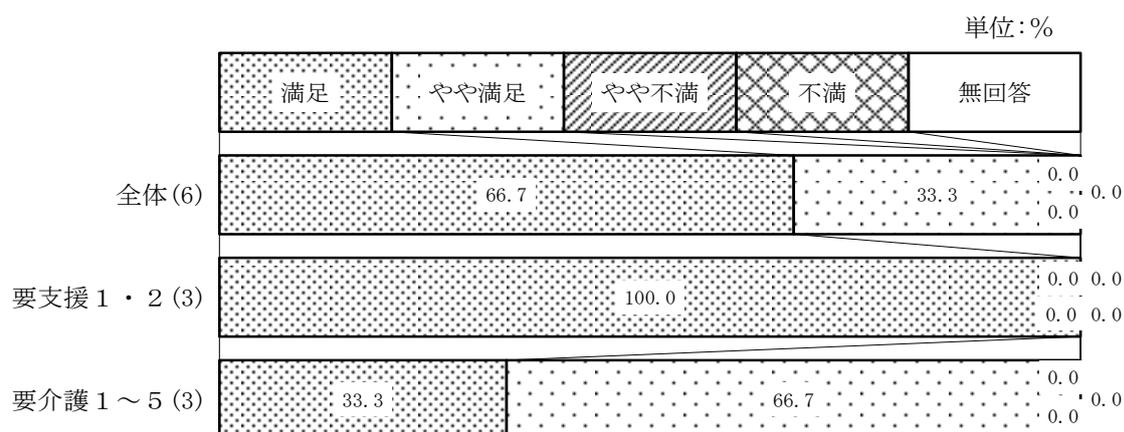
【要支援 1・2（問 11 短期入所生活介護（ショートステイ））】

「満足」と「やや満足」の合計は 78.6%となっています。

【要介護 1～5（問 11 短期入所生活介護（ショートステイ））】

「満足」と「やや満足」の合計は 84.5%となっています。

【短期入所療養介護（医療ショートステイ）】



【全体（問 11 短期入所療養介護（医療ショートステイ））】

利用者全員が「満足」または「やや満足」と回答しています。

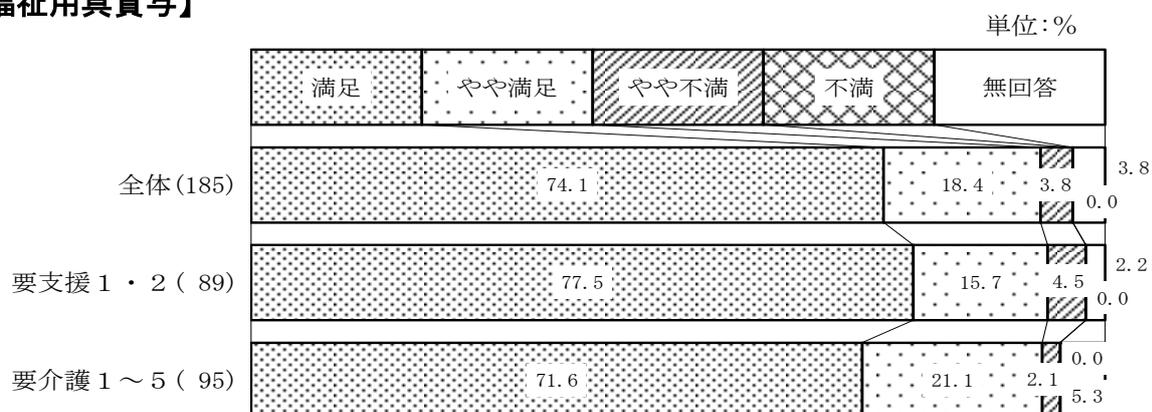
【要支援 1・2（問 11 短期入所療養介護（医療ショートステイ））】

利用者は 3 名とも、「満足」と回答しています。

【要介護 1～5（問 11 短期入所療養介護（医療ショートステイ））】

利用者全員が「満足」または「やや満足」と回答しています。

【福祉用具貸与】



【全体（問 11 福祉用具貸与）】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

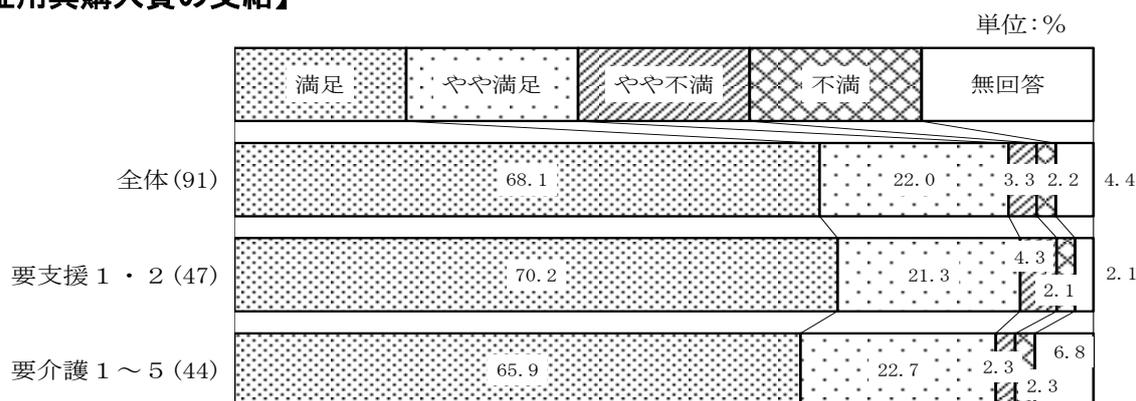
【要支援 1・2（問 11 福祉用具貸与）】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

【要介護 1～5（問 11 福祉用具貸与）】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

【福祉用具購入費の支給】



【全体（問 11 福祉用具購入費の支給）】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

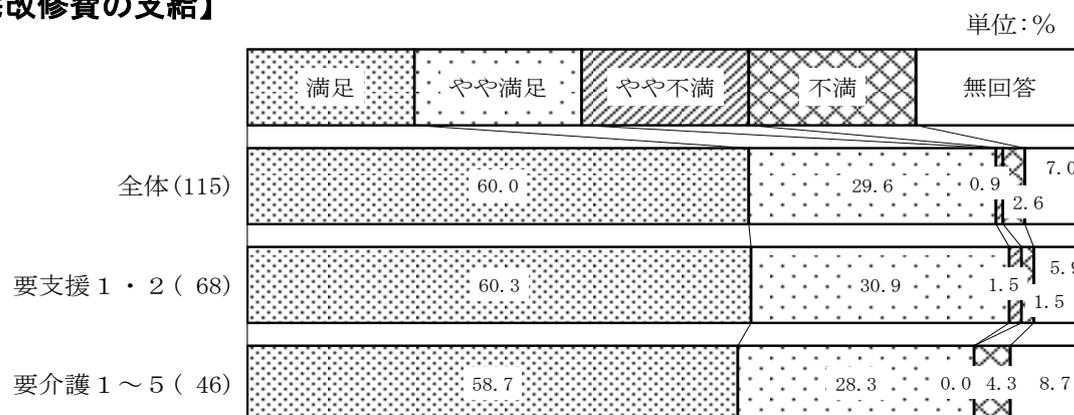
【要支援 1・2（問 11 福祉用具購入費の支給）】

「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

【要介護 1～5（問 11 福祉用具購入費の支給）】

「満足」と「やや満足」の合計は 88.6%です。

【住宅改修費の支給】



【全体（問 11 住宅改修費の支給）】

「満足」と「やや満足」の合計は 89.6%となっています。

【要支援 1・2（問 11 住宅改修費の支給）】

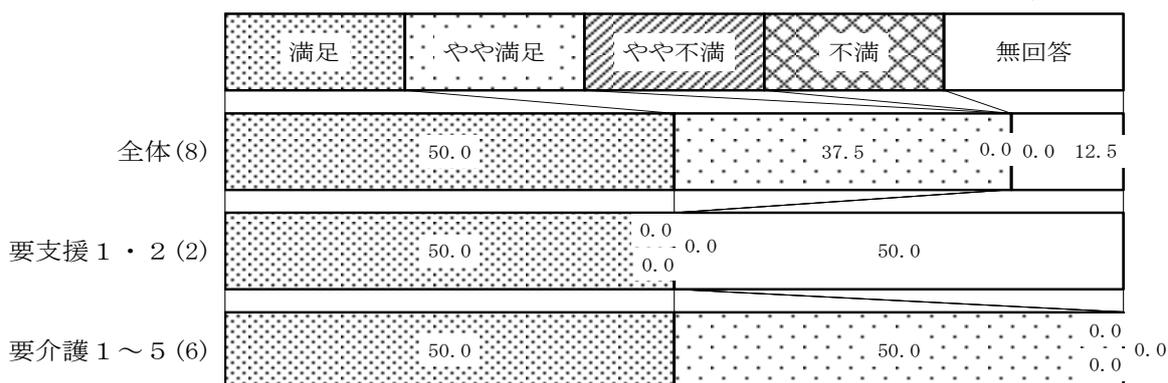
「満足」と「やや満足」の合計は 9 割を超えています。

【要介護 1～5（問 11 住宅改修費の支給）】

「満足」と「やや満足」の合計は 87.0%となっています。

【小規模多機能型居宅介護】

単位：%



【全体（問 11 小規模多機能型居宅介護）】

利用者 8 名のうち 7 名が「満足」または「やや満足」と回答しています。

【要支援 1・2（問 11 小規模多機能型居宅介護）】

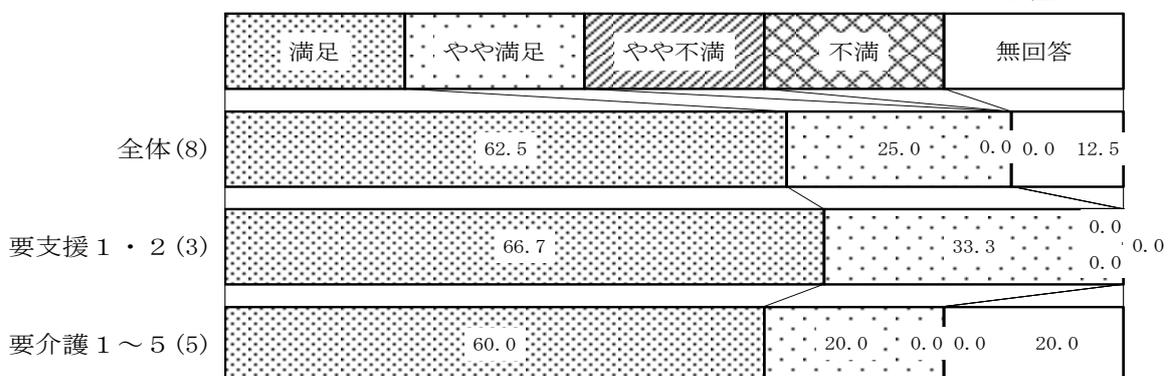
利用者は 2 名のうち 1 名が、「満足」と回答しています。

【要介護 1～5（問 11 小規模多機能型居宅介護）】

利用者 6 名全員が「満足」または「やや満足」と回答しています。

【定期巡回・随時対応型訪問介護看護】

単位：%



【全体（問 11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護）】

利用者 8 名のうち 7 名が「満足」または「やや満足」と回答しています。

【要支援 1・2（問 11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護）】

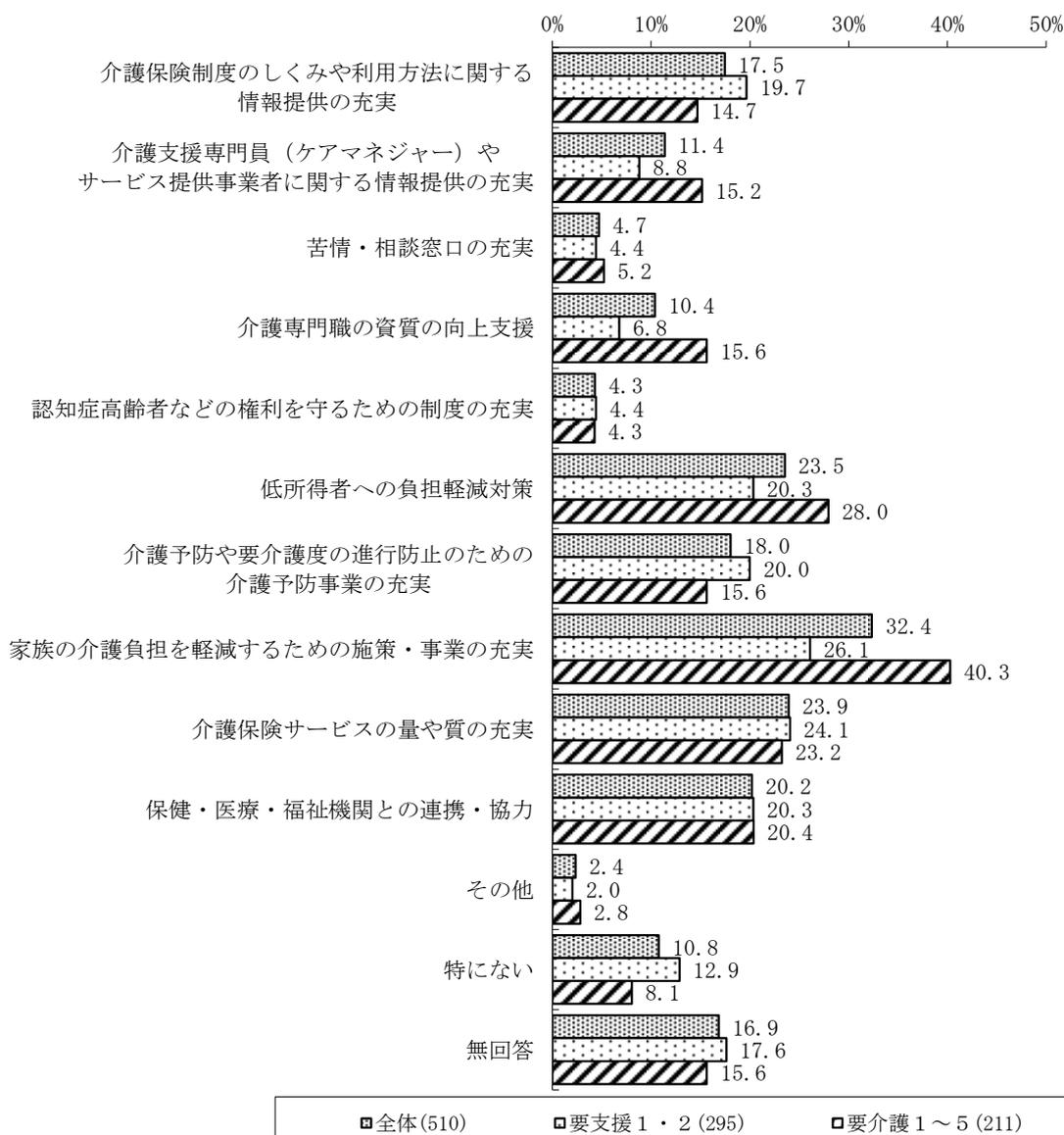
利用者は 3 名全員が「満足」または「やや満足」と回答しています

【要介護 1～5（問 11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護）】

利用者 5 名のうち 4 名が「満足」または「やや満足」と回答しています。

問 12. 今後、介護保険制度にかかわる施策で重点的に取り組んでほしいものは何ですか。
(あてはまるもの3つまで○)

1. 介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実
2. 介護支援専門員（ケアマネジャー）やサービス提供事業者に関する情報提供の充実
3. 苦情・相談窓口の充実
4. 介護専門職の資質の向上支援
5. 認知症高齢者などの権利を守るための制度の充実
6. 低所得者への負担軽減対策
7. 介護予防や要介護度の進行防止のための介護予防事業の充実
8. 家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実
9. 介護保険サービスの量や質の充実
10. 保健・医療・福祉機関との連携・協力
11. その他（具体的に：)
12. 特にない



【全体（問 12）】

「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が 32.4%で最も多く、次いで「介護保険サービスの量や質の充実」が 23.9%、「低所得者への負担軽減対策」が 23.5%、「保険・医療・福祉機関との連携・協力」が 20.2%となっています。

【要支援 1・2（問 12）】

「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が 26.1%で最も多く、次いで「介護保険サービスの量や質の充実」が 24.1%、「低所得者への負担軽減対策」「保険・医療・福祉機関との連携・協力」が同ポイントで 20.3%となっています。

【要介護 1～5（問 12）】

「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が 40.3%で最も多く、次いで「低所得者への負担軽減対策」が 28.0%、「介護保険サービスの量や質の充実」が 23.2%、「保険・医療・福祉機関との連携・協力」が 20.4%となっています。

(5) 今後の介護保険制度にかかわる施策について、おうかがいします

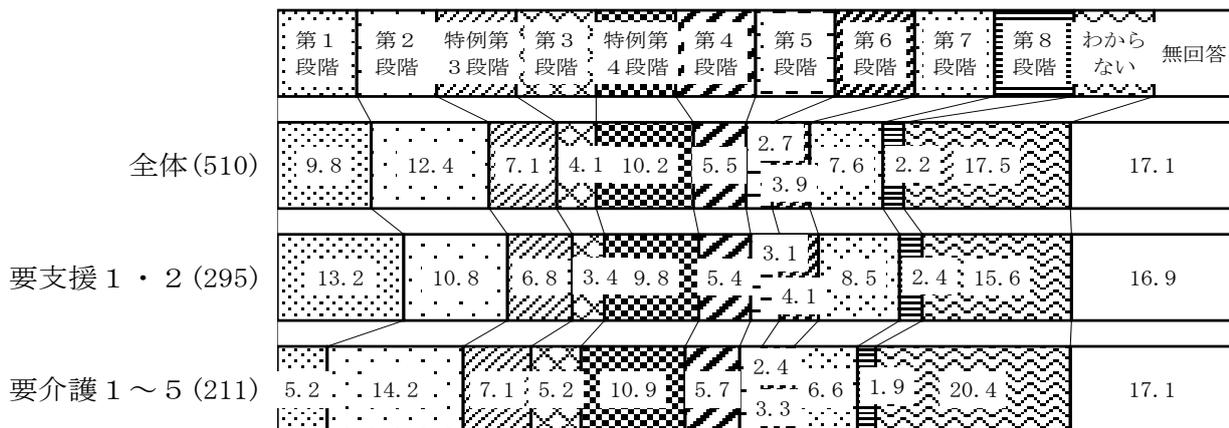
問 13. ご本人の介護保険料の段階は次のうちどれですか。

(1つに〇)

1. 第1段階 (平成26年度保険料年額 28,200円)
2. 第2段階 (平成26年度保険料年額 28,200円)
3. 特例第3段階 (平成26年度保険料年額 36,700円)
4. 第3段階 (平成26年度保険料年額 42,300円)
5. 特例第4段階 (平成26年度保険料年額 47,900円)
6. 第4段階 (平成26年度保険料年額 56,400円)
7. 第5段階 (平成26年度保険料年額 64,900円)
8. 第6段階 (平成26年度保険料年額 70,500円)
9. 第7段階 (平成26年度保険料年額 84,600円)
10. 第8段階 (平成26年度保険料年額 98,700円)
11. わからない

※保険料の段階は、市から送付された「介護保険料納付通知書(介護保険料(特別徴収)決定通知書)」をご覧ください。

単位:%



【全体(問13)】

「わからない」が17.5%で最も多く、次いで「無回答」が17.1%、「第2段階」が12.4%、「特例第4段階」が10.2%となっています。

【要支援1・2(問13)】

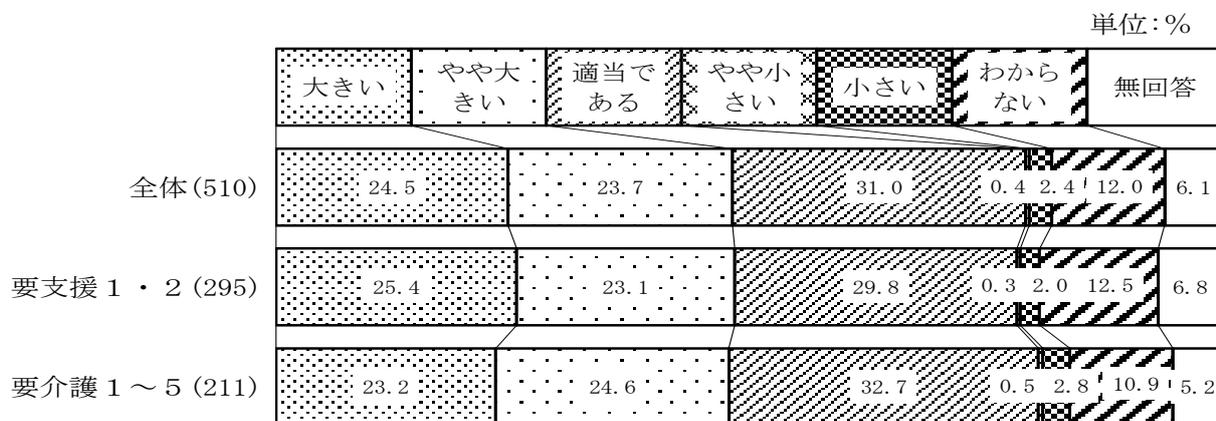
「無回答」が16.9%で最も多く、次いで「わからない」が15.6%、「第1段階」が13.2%、「第2段階」が10.8%となっています。

【要介護1～5(問13)】

「わからない」が20.4%で最も多く、次いで「無回答」が17.1%、「第2段階」が14.2%、「特例第4段階」が10.9%となっています。

問 14. 現在、ご本人の支払っている介護保険料について家計への影響は次の内どれに近い
 ですか。 (1つに○)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 大きい | 3. 適当である | 5. 小さい |
| 2. やや大きい | 4. やや小さい | 6. わからない |



【全体 (問 14)】

「適当である」が 31.0%で最も多く、次いで「大きい」が 24.5%、「やや大きい」が 23.7%となっています。

【要支援 1・2 (問 14)】

「適当である」が 29.8%で最も多く、次いで「大きい」が 25.4%、「やや大きい」が 23.1%となっています。

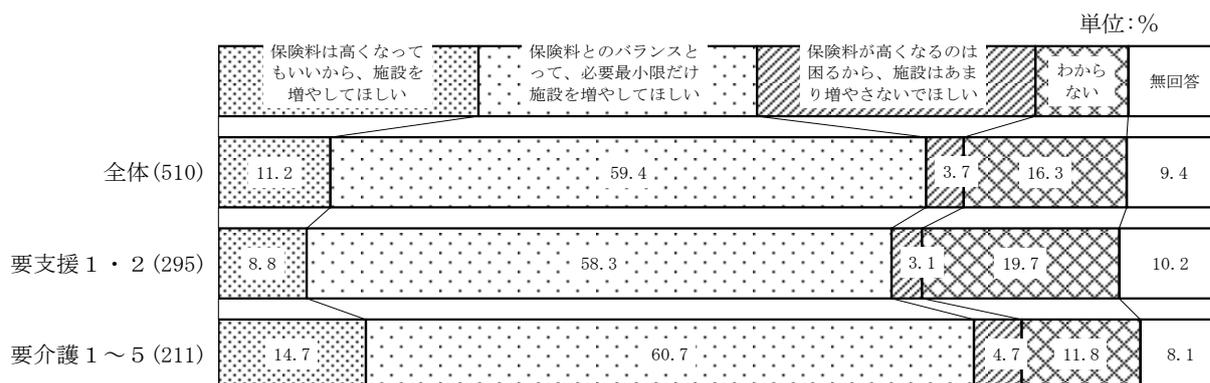
【要介護 1～5 (問 14)】

「適当である」が 32.7%で最も多く、次いで「やや大きい」が 24.6%、「大きい」が 23.2%となっています。

問 16. 特別養護老人ホームの整備に関するお考えに最も近いものは次の内どれですか。

(1つに〇)

1. 保険料は高くなってもいいから、施設を増やしてほしい
2. 保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい
3. 保険料が高くなるのは困るから、施設はあまり増やさないでほしい
4. わからない



【全体（問 16）】

「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」が 59.4%で最も多く、次いで「わからない」が 16.3%、「保険料が高くなってもいいから、施設を増やしてほしい」が 11.2%となっています。

【要支援 1・2（問 16）】

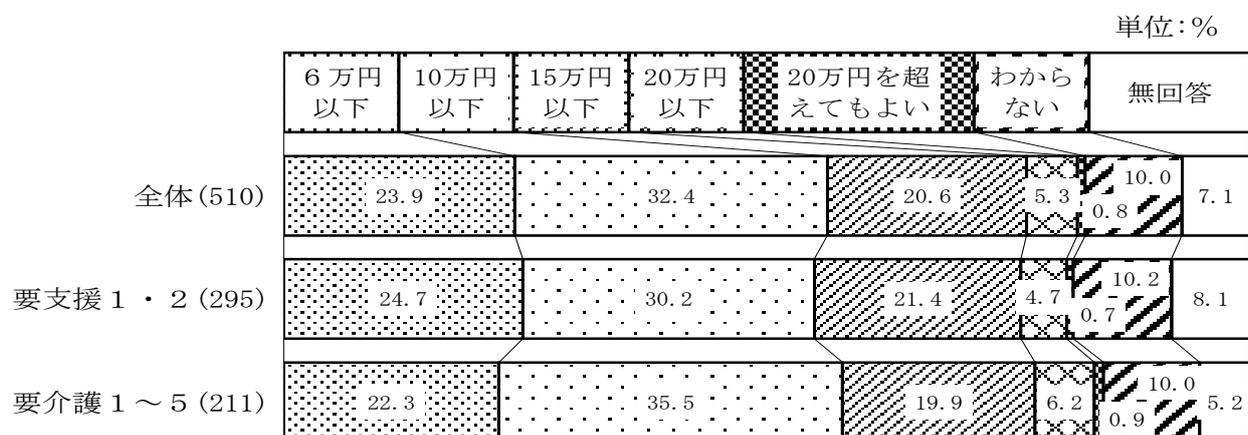
「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」が 58.3%で最も多く、次いで「わからない」が 19.7%、「無回答」が 10.2%となっています。

【要介護 1～5（問 16）】

「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」が 60.7%で最も多く、次いで「保険料が高くなってもいいから、施設を増やしてほしい」が 14.7%、「わからない」が 11.8%となっています。

問 17. 仮に、施設に入所する場合、介護費用や食費・光熱水費など全てを含めて月々の支払額はどのくらいまでなら負担できますか (1つに○)

- | | |
|-----------|----------------|
| 1. 6万円以下 | 4. 20万円以下 |
| 2. 10万円以下 | 5. 20万円を超えてもよい |
| 3. 15万円以下 | 6. わからない |



【全体（問 17）】

「10万円以下」が32.4%で最も多く、次いで「6万円以下」が23.9%、「15万円以下」が20.6%となっています。

【要支援1・2（問 17）】

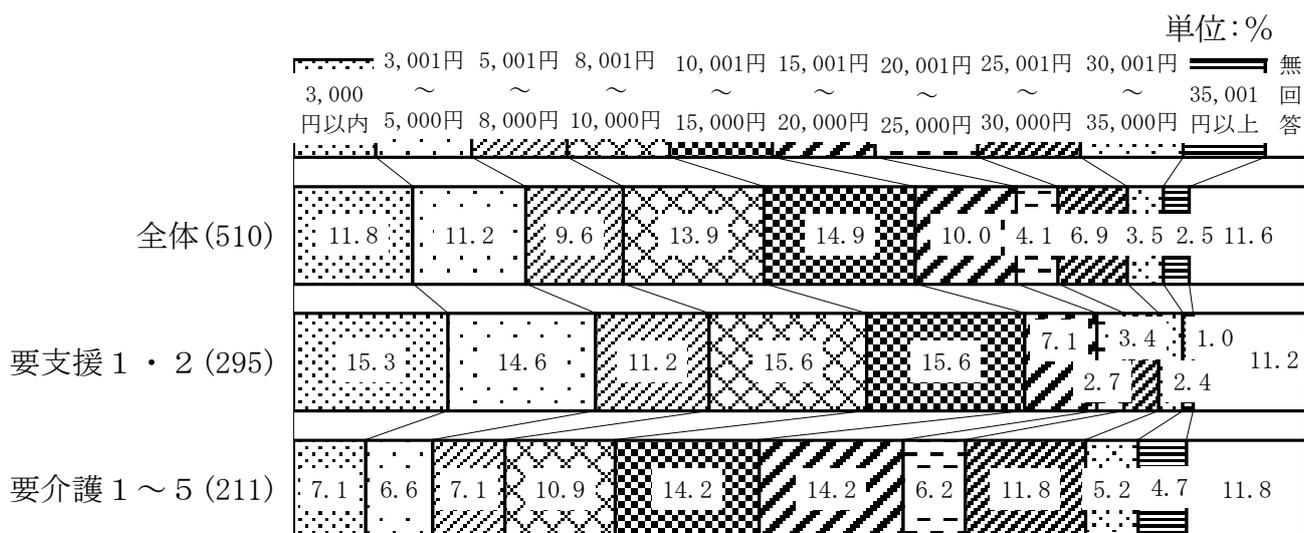
「10万円以下」が30.2%で最も多く、次いで「6万円以下」が24.7%、「15万円以下」が21.4%となっています。

【要介護1～5（問 17）】

「10万円以下」が35.5%で最も多く、次いで「6万円以下」が22.3%、「15万円以下」が19.9%となっています。

問 18. ご本人が介護保険のサービスを利用した場合、1ヶ月あたりの自己負担額として
 適当と考える支払額はいくらですか。 (1つに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 3,000 円以内 | 6. 15,001 円～20,000 円 |
| 2. 3,001 円～5,000 円 | 7. 20,001 円～25,000 円 |
| 3. 5,001 円～8,000 円 | 8. 25,001 円～30,000 円 |
| 4. 8,001 円～10,000 円 | 9. 30,001 円～35,000 円 |
| 5. 10,001 円～15,000 円 | 10. 35,001 円以上 |



【全体（問 18）】

「10,001 円～15,000 円」が 14.9%で最も多く、次いで「8,001 円～10,000 円」が 13.9%、「3,000 円以内」が 11.8%、「無回答」が 11.6%、「3,001 円～5,000 円」が 11.2%となっています。

【要支援 1・2（問 18）】

「8,001 円～10,000 円」「10,001 円～15,000 円」が同ポイントの 15.6%で最も多く、次いで「3,000 円以内」が 15.3%、「3,001 円～5,000 円」が 14.6%、「5,001 円～8,000 円」「無回答」が同ポイントの 11.2%となっています。

【要介護 1～5（問 18）】

「10,001 円～15,000 円」「15,001 円～20,000 円」が同ポイントの 14.2%で最も多く、次いで「25,001 円～30,000 円」「無回答」が同ポイントの 11.8%、「8,001 円～10,000 円」が 10.9%となっています。

(6) 介護保険サービスの利用意向について、おうかがいします

問19. 自宅で暮らし続けるためには、どのようなことが必要であると思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 住み続けられる住まいがある
2. 家族が同居または近くにいる
3. 見守ってくれる友人・知人が近くにいる
4. 日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある
5. 必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある
6. 入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスが受けられる
7. 介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる
8. 夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある
9. 栄養の改善を目的として、配食を行う事業がある
10. 身近に利用できる医療機関がある
11. 自宅に医師が訪問して診療してくれる
12. 自宅に歯科医師が訪問して診療してくれる
13. いつでも利用（入所）できる施設が近くにある
14. その他（）
15. わからない

【全体（問 19）】

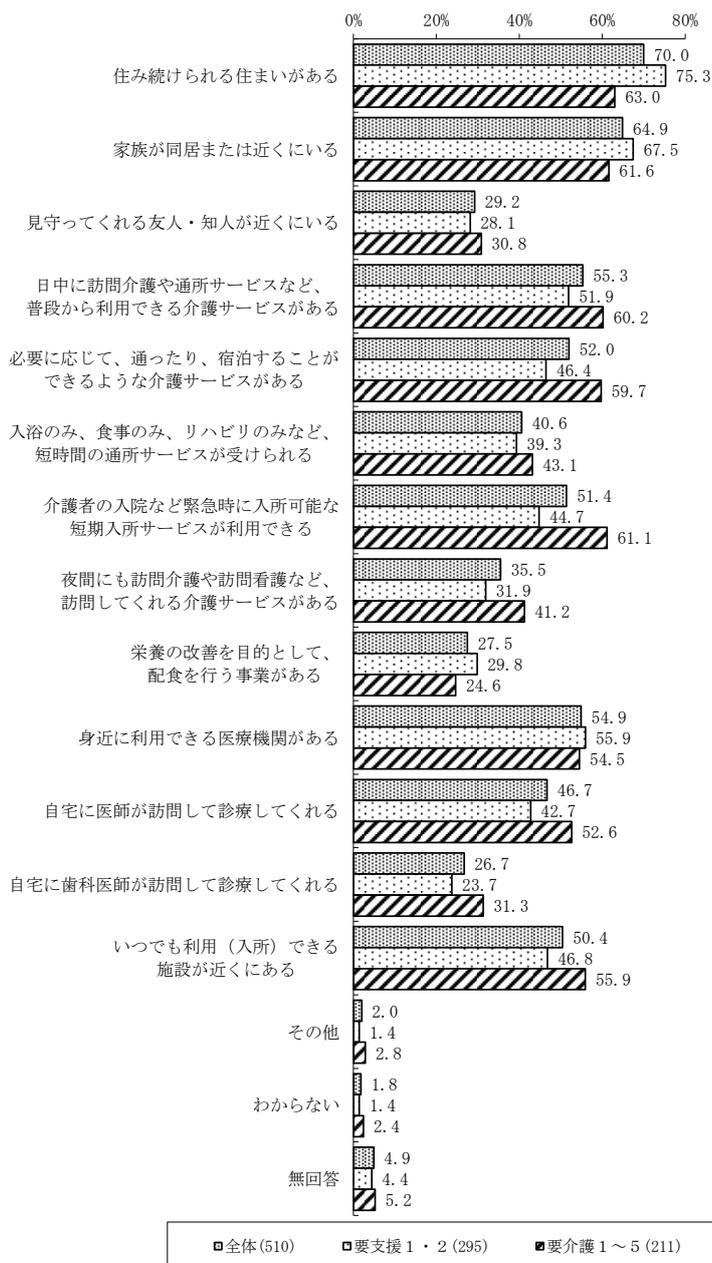
「住み続けられる住まいがある」が70.0%で最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」が64.9%、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が55.3%、「身近に利用できる医療機関がある」が54.9%、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」が52.0%となっています。

【要支援 1・2（問 19）】

「住み続けられる住まいがある」が75.3%で最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」が67.5%、「身近に利用できる医療機関がある」が55.9%、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が51.9%、「いつでも利用（入所）できる施設が近くにある」が46.8%となっています。

【要介護 1～5（問 19）】

「住み続けられる住まいがある」が63.0%で最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」が61.6%、「介護者の入院など緊急時に入所可能な短期入所サービスが利用できる」が61.1%、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が60.2%、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」が59.7%となっています。



問20. 日常生活の中で手助けしてほしいことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. ごみ出し | 10. 洗濯や部屋の掃除 |
| 2. 調理 | 11. 簡単な力仕事 |
| 3. 玄関前や庭などの家周りの掃除 | 12. 病院への付き添いや薬の受け取り |
| 4. 病院への送迎 | 13. 病院以外の外出時の付き添い |
| 5. 病院以外の外出時の送迎 | 14. 日ごろの話し相手 |
| 6. 声かけ・見守り | 15. 市役所などでの手続き |
| 7. 金銭管理・書類の確認 | 16. 定期的な安否確認及び緊急時の対応 |
| 8. 家電器具やパソコン等の操作 | 17. その他() |
| 9. 買い物 | 18. 特になし |

【全体(問20)】

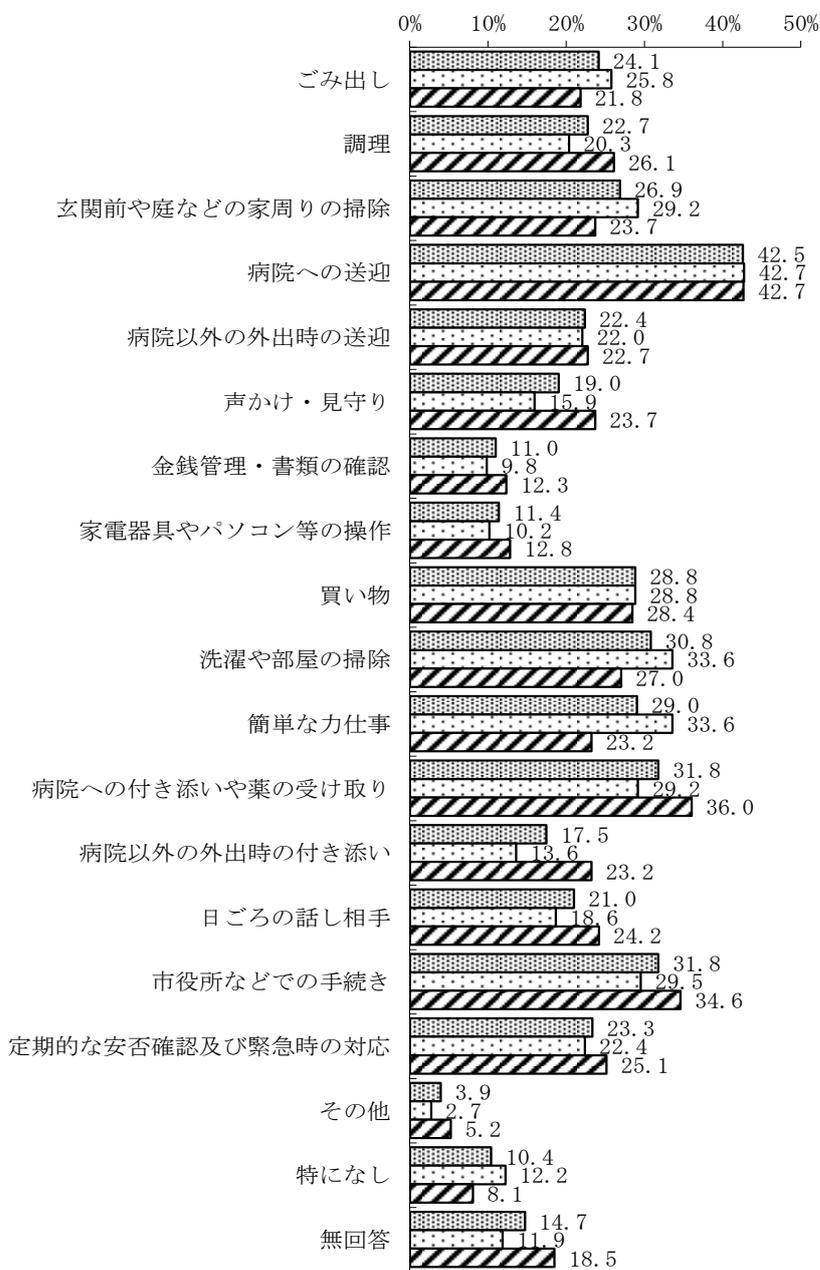
「病院への送迎」が42.5%で最も多く、次いで「病院への付き添いや薬の受け取り」「市役所などでの手続き」が同ポイントの31.8%、「洗濯や部屋の掃除」が30.8%、「簡単な力仕事」が29.0%となっています。

【要支援1・2(問20)】

「病院への送迎」が42.7%で最も多く、次いで「洗濯や部屋の掃除」「簡単な力仕事」が同ポイントの33.6%、「市役所などでの手続き」が29.5%、「病院への付き添いや薬の受け取り」が29.2%となっています。

【要介護1～5(問20)】

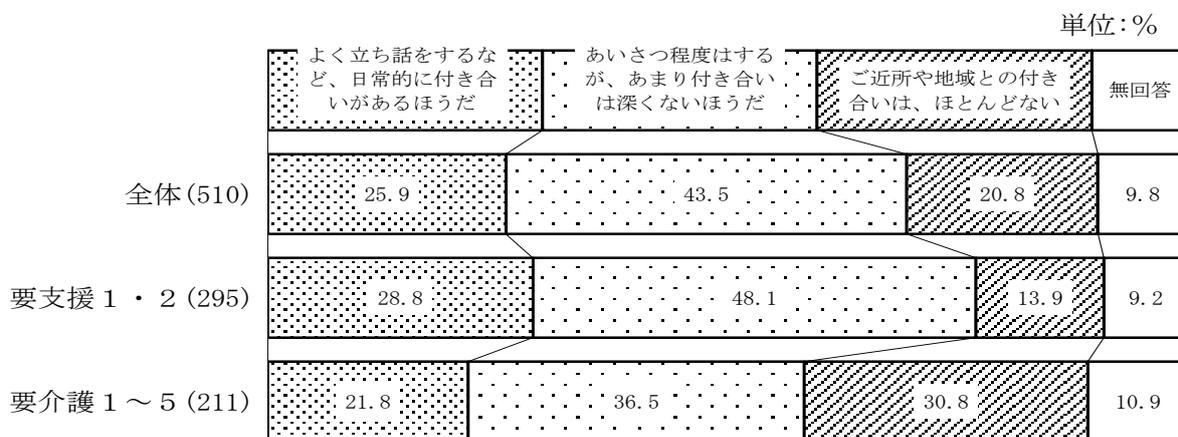
「病院への送迎」が42.7%で最も多く、次いで「病院への付き添いや薬の受け取り」が36.0%、「市役所などでの手続き」が34.6%、「買い物」が28.4%、「調理」が26.1%となっています。



□全体(510) □要支援1・2(295) □要介護1～5(211)

問21. ご近所や地域の方との付き合いは、どのようなものですか。（1つに○）

1. よく立ち話をするなど、日常的に付き合いがあるほうだ
2. あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くないほうだ
3. ご近所や地域との付き合いは、ほとんどない



【全体（問21）】

「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くないほうだ」が43.5%、「よく立ち話をするなど、日常的に付き合いがあるほうだ」が25.9%、「ご近所や地域との付き合いは、ほとんどない」が20.8%となっています。

【要支援 1・2（問21）】

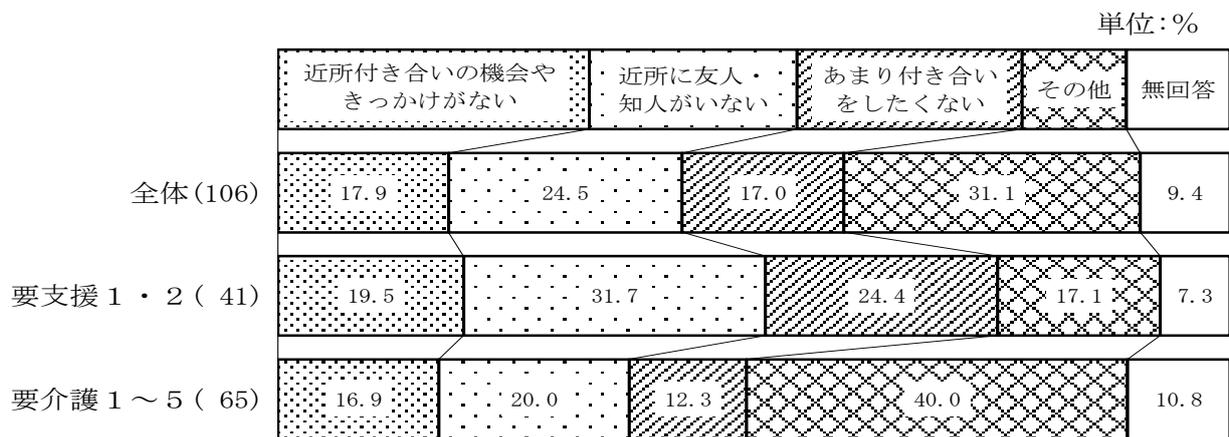
「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くないほうだ」が48.1%、「よく立ち話をするなど、日常的に付き合いがあるほうだ」が28.8%、「ご近所や地域との付き合いは、ほとんどない」が13.9%となっています。

【要介護 1～5（問21）】

「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くないほうだ」が36.5%、「ご近所や地域との付き合いは、ほとんどない」が30.8%、「よく立ち話をするなど、日常的に付き合いがあるほうだ」が21.8%となっています。

問 21-1. 問 21 で 3 に ○ をつけた方にうかがいます。その理由について、最もあてはまるものに ○ をつけてください。
(1 つに ○)

- | |
|----------------------|
| 1. 近所付き合いの機会やきっかけがない |
| 2. 近所に友人・知人がいない |
| 3. あまり付き合いをしたくない |
| 4. その他 () |



【全体（問 21-1）】

「その他」が 31.1% で最も多く、次いで「近所に友人・知人がいない」が 24.5%、「近所付き合いの機会やきっかけがない」が 17.9%、「あまり付き合いをしたくない」が 17.0% となっています。

【要支援 1・2（問 21-1）】

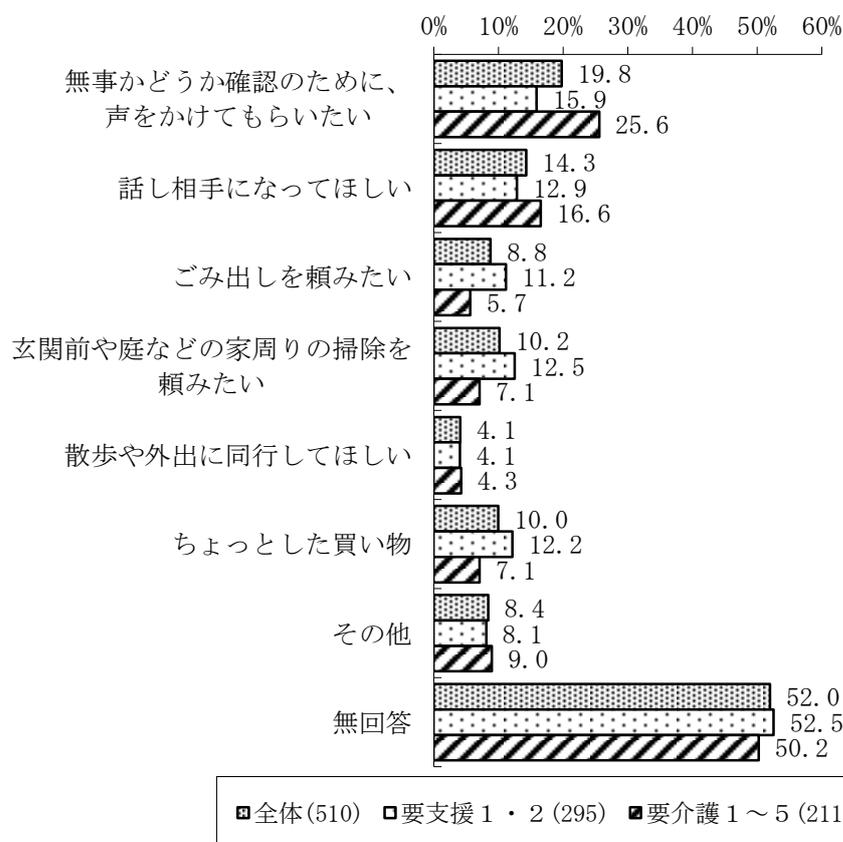
「近所に友人・知人がいない」が 31.7% で最も多く、次いで「あまり付き合いをしたくない」が 24.4%、「近所付き合いの機会やきっかけがない」が 19.5%、「その他」が 17.1% となっています。

【要介護 1～5（問 21-1）】

「その他」が 40.0% で最も多く、次いで「近所に友人・知人がいない」が 20.0%、「近所付き合いの機会やきっかけがない」が 16.9%、「あまり付き合いをしたくない」が 12.3% となっています。

問22. 隣近所の方や地域にお住いの方に、以下のようなことを頼みたいと思ったことは、
ありますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 無事かどうか確認のために、声をかけてもらいたい
2. 話し相手になってほしい
3. ごみ出しを頼みたい
4. 玄関前や庭などの家周りの掃除を頼みたい
5. 散歩や外出に同行してほしい
6. ちょっとした買い物
7. その他 ()



【全体（問22）】

「無回答」が52.0%で最も多く、次いで「無事かどうか確認のために、声をかけてもらいたい」が19.8%、「話し相手になってほしい」が14.3%となっています。

【要支援 1・2（問22）】

「無回答」が52.5%で最も多く、次いで「無事かどうか確認のために、声をかけてもらいたい」が15.9%、「話し相手になってほしい」が12.9%となっています。

【要介護 1～5（問22）】

「無回答」が50.2%で最も多く、次いで「無事かどうか確認のために、声をかけてもらいたい」が25.6%、「話し相手になってほしい」が16.6%となっています。

(7) ご家族などの中心となって介護をしている方におうかがいします

問 23. 中心となって介護している方は、宛名ご本人から見てどのような関係にありますか。
(1つに〇)

1. 配偶者（夫・妻）	4. 子どもの配偶者	7. 兄弟・姉妹
2. 子ども	5. 孫の配偶者	8. その他（ ）
3. 孫	6. 親	

単位：%

	配偶者（夫・妻）	子ども	孫	子どもの配偶者	孫の配偶者	親	兄弟・姉妹	その他	無回答	
全体 (510)	25.7	30.0	0.0	0.0	0.0	1.6	7.8	0.8	1.2	32.9
要支援 1・2 (295)	25.4	25.8	0.0	0.0	0.0	1.0	7.5	1.4	1.4	37.6
要介護 1～5 (211)	26.1	36.0	0.0	0.0	0.0	2.4	8.5	0.0	0.9	26.1

【全体（問 23）】

「無回答」が 32.9%で最も多く、次いで「子ども」が 30.0%、「配偶者（夫・妻）」が 25.7%となっています。

【要支援 1・2（問 23）】

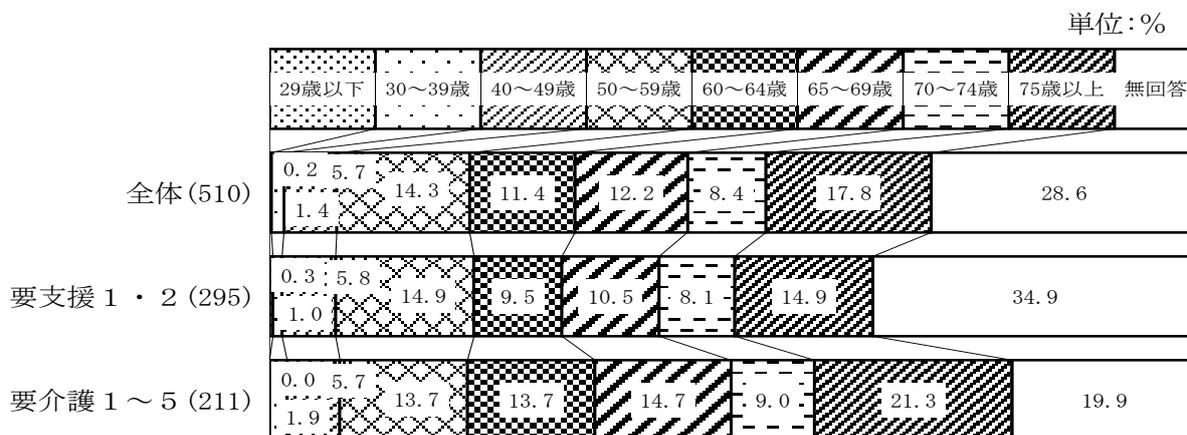
「無回答」が 37.6%で最も多く、次いで「子ども」が 25.8%、「配偶者（夫・妻）」が 25.4%となっています。

【要介護 1～5（問 23）】

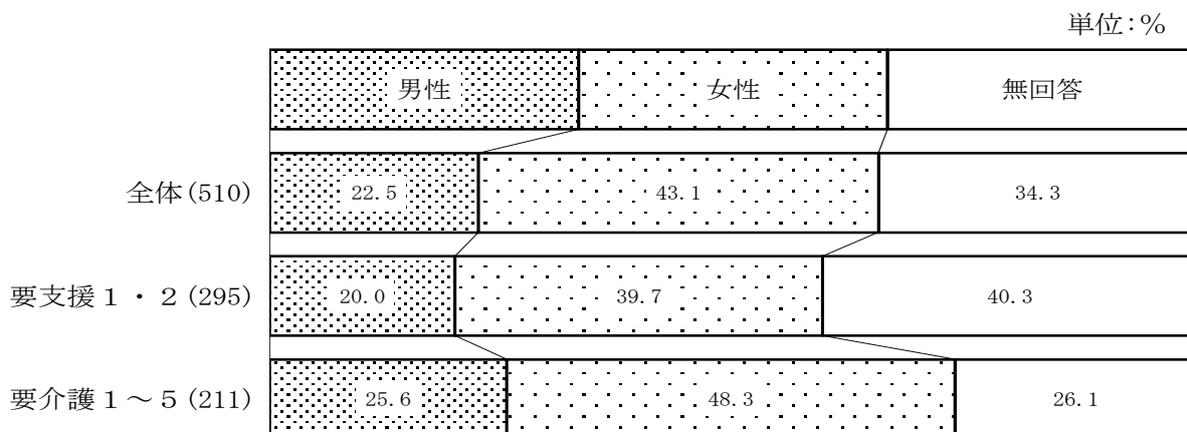
「子ども」が 36.0%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」「無回答」が同ポイントの 26.1%となっています。

問 24. ご本人を主に介護している方の状況について、次の1)～5)についてお答えください。
(それぞれ1つに○)

1) 年齢	1. 29歳以下	4. 50～59歳	7. 70～74歳
	2. 30～39歳	5. 60～64歳	8. 75歳以上
	3. 40～49歳	6. 65～69歳	



2) 性別	1. 男性	2. 女性
-------	-------	-------



【全体（問 24）】

年齢は、「無回答」が 28.6%で最も多く、次いで「75 歳以上」が 17.8%、「50～59 歳」が 14.3%、「65～69 歳」が 12.2%、「60～64 歳」が 11.4%となっています。

性別は、「女性」が 43.1%、「無回答」が 34.3%、「男性」が 22.5%となっています。

介護者の住まいは、「同居している」が 54.5%と最も多く、次いで「無回答」が 28.8%、「佐倉市内」が 10.2%となっています。

仕事の有無は、「無回答」が 37.3%、「以前からしていない」が 29.2%、「仕事をしている」が 27.3%「介護のため辞めた」が 6.3%となっています。

健康の状態は、「おおむね健康」が 36.7%、「無回答」が 32.5%、「健康に不安がある」が 22.4%、「病気や障がいがある」が 8.4%となっています。

【要支援 1・2（問 24）】

年齢は、「無回答」が 34.9%で最も多く、次いで「50～59 歳」「75 歳以上」が同ポイントの 14.9%、「65～69 歳」が 10.5%、「60～64 歳」が 9.5%となっています。

性別は、「無回答」が 40.3%、「女性」が 39.7%、「男性」が 20.0%となっています。

介護者の住まいは、「同居している」が 51.5%と最も多く、次いで「無回答」が 34.6%、「佐倉市内」が 6.8%となっています。

仕事の有無は、「無回答」が 45.1%、「仕事をしている」が 25.8%、「以前からしていない」が 24.7%「介護のため辞めた」が 4.4%となっています。

健康の状態は、「無回答」が 39.0%、「おおむね健康」が 36.3%、「健康に不安がある」が 14.2%、「病気や障がいがある」が 10.5%となっています。

【要介護 1～5（問 24）】

年齢は、「75 歳以上」が 21.3%で最も多く、次いで「無回答」が 19.9%、「65～69 歳」が 14.7%、「50～59 歳」「60～64 歳」が同ポイントの 13.7%となっています。

性別は、「女性」が 48.3%、「無回答」が 26.1%、「男性」が 25.6%となっています。

介護者の住まいは、「同居している」が 58.3%と最も多く、次いで「無回答」が 20.9%、「佐倉市内」が 15.2%となっています。

仕事の有無は、「以前からしていない」が 35.5%、「仕事をしている」が 28.9%、「無回答」が 26.5%「介護のため辞めた」が 9.0%となっています。

健康の状態は、「おおむね健康」が 37.4%、「健康に不安がある」が 33.2%、「無回答」が 23.7%、「病気や障がいがある」が 5.7%となっています。

問 25. 中心となって介護をしている方は、日常生活や健康のことなどで困った時、どなたに協力を頼んだり、相談されたりしますか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 10. 高齢者クラブ |
| 2. 息子 | 11. 社会福祉協議会 |
| 3. 子の配偶者 | 12. 地域包括支援センター |
| 4. 娘 | 13. ケアマネジャー |
| 5. 兄弟、姉妹 | 14. 市役所、保健所 |
| 6. 友人、知人 | 15. 近所の方 |
| 7. 医師、歯科医師、看護師、薬剤師 | 16. その他（ ） |
| 8. 民生委員、児童委員 | 17. 協力や相談する相手がない |
| 9. 自治会、町内会 | |

【全体（問 25）】

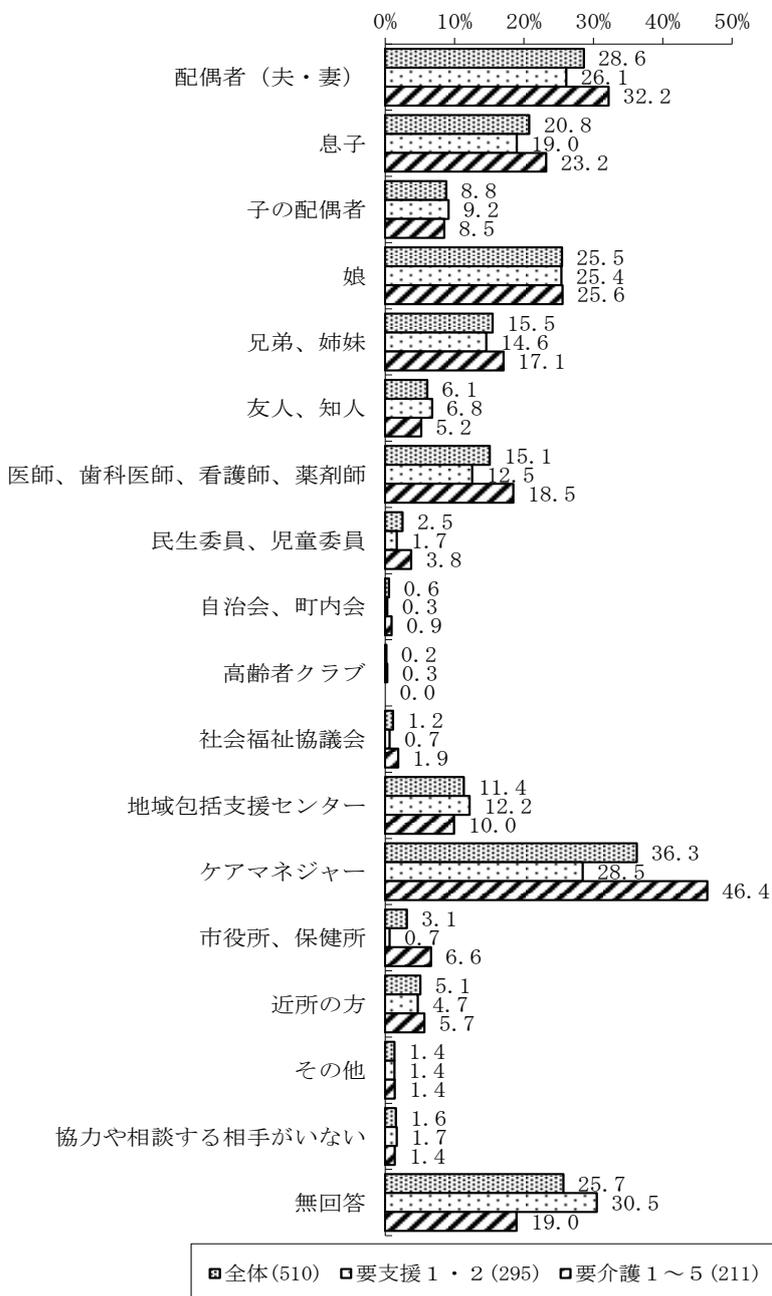
「ケアマネジャー」が36.3%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が28.6%、「無回答」が25.7%、「娘」が25.5%となっています。

【要支援 1・2（問 25）】

「無回答」が30.5%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が28.5%、「配偶者（夫・妻）」が26.1%、「娘」が25.4%となっています。

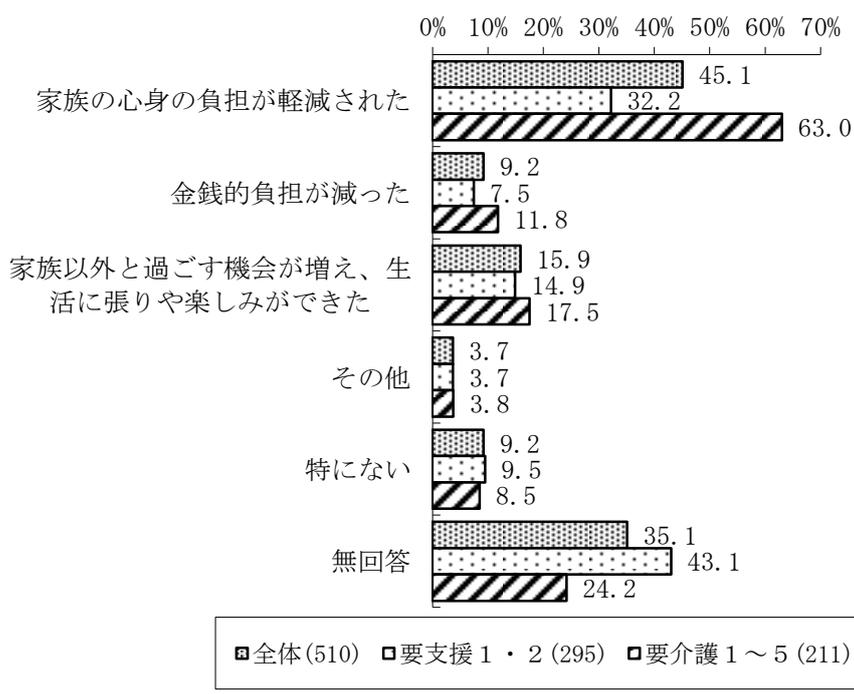
【要介護 1～5（問 25）】

「ケアマネジャー」が46.4%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が32.2%、「娘」が25.6%、「息子」が23.2%となっています。



問 26. 中心となって介護をしている方にとって、介護保険サービスを利用した効果等がありますか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 家族の心身の負担が軽減された
 2. 金銭的負担が減った
 3. 家族以外と過ごす機会が増え、生活に張りや楽しみができた
 4. その他 ()
 5. 特にない



【全体（問 26）】

「家族の心身の負担が軽減された」が 45.1%で最も多く、次いで「無回答」が 35.1%、「家族以外と過ごす機会が増え、生活に張りや楽しみができた」が 15.9%となっています。

【要支援 1・2（問 26）】

「無回答」が 43.1%で最も多く、次いで「家族の心身の負担が軽減された」が 32.2%、「家族以外と過ごす機会が増え、生活に張りや楽しみができた」が 14.9%となっています。

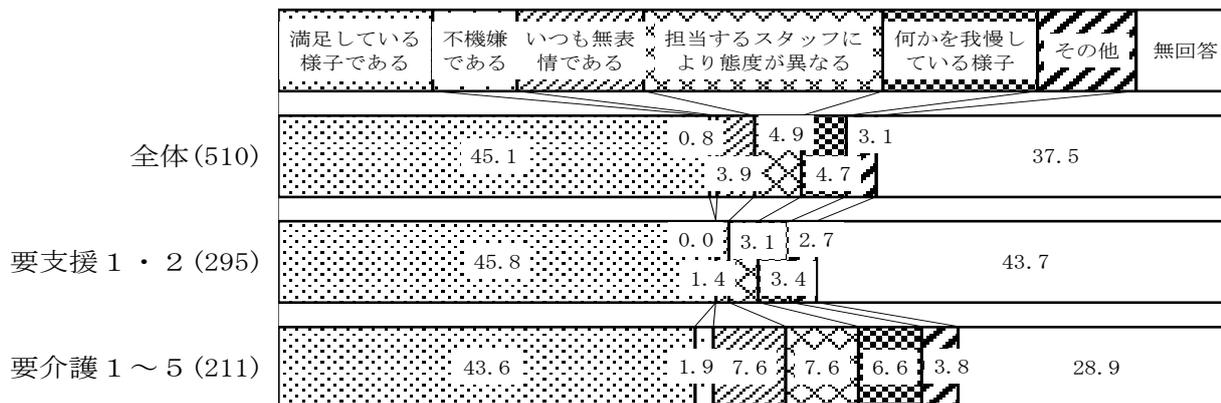
【要介護 1～5（問 26）】

「家族の心身の負担が軽減された」が 63.0%で最も多く、次いで「無回答」が 24.2%、「家族以外と過ごす機会が増え、生活に張りや楽しみができた」が 17.5%となっています。

問 27. 介護サービスを利用しているときの宛名ご本人の様子はいかがですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 満足している様子である | 4. 担当するスタッフにより態度が異なる |
| 2. 不機嫌である | 5. 何かを我慢している様子 |
| 3. いつも無表情である | 6. その他 () |

単位:%



【全体 (問 27)】

「満足している様子である」が 45.1%で最も多く、次いで「無回答」が 37.5%となっています。

【要支援 1・2 (問 27)】

「満足している様子である」が 45.8%で最も多く、次いで「無回答」が 43.7%となっています。

【要介護 1～5 (問 27)】

「満足している様子である」が 43.6%で最も多く、次いで「無回答」が 28.9%となっています。

**問 28. 介護サービスを利用されているとき、中心となって介護をしている方は、どのよう
にお感じですか。 (あてはまるものすべてに○)**

1. 本人が嬉しそうにしており、満足している
2. サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい
3. 本人よりも介護者の方が、サービス利用を増やしたいと感じる時がある
4. 本人と介護者との、サービス利用について意見が一致しないときがある
5. サービス利用後、本人が気分を害したり、具合が悪くなったりすることがあり、サービス内容やスタッフの対応等に不安がある
6. 本人がサービス利用を嫌がることがあり、介護者として辛いときがある
7. その他 ()

【全体（問28）】

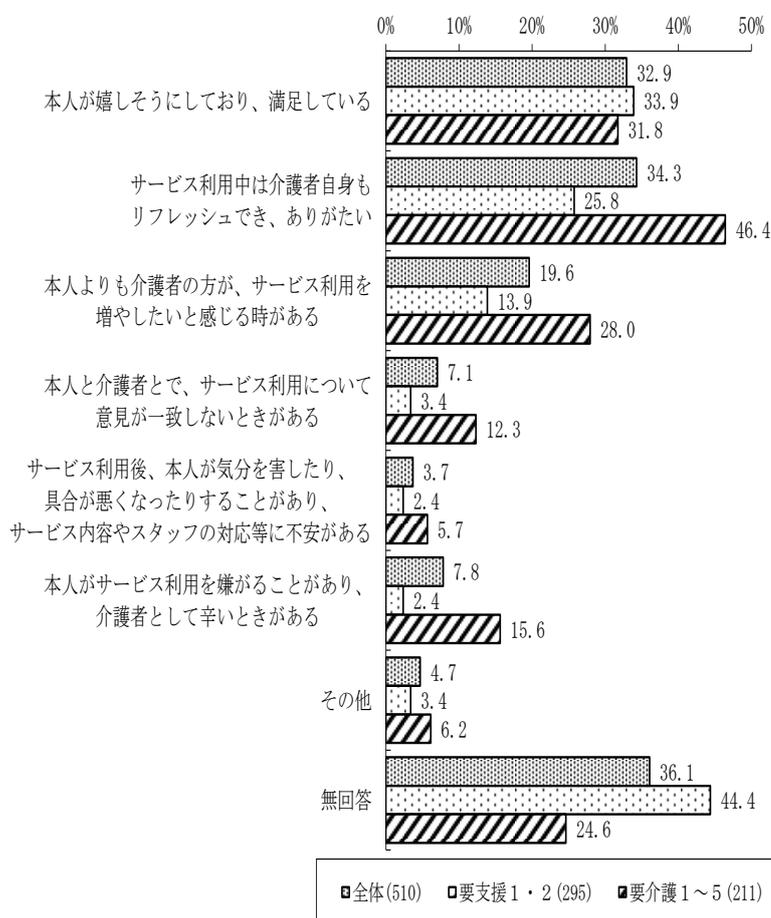
「無回答」が36.1%で最も多く、次いで「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が34.3%、「本人がうれしそうにしており、満足している」が32.9%となっています。

【要支援1・2（問28）】

「無回答」が44.4%で最も多く、次いで「本人がうれしそうにしており、満足している」が33.9%、「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が25.8%となっています。

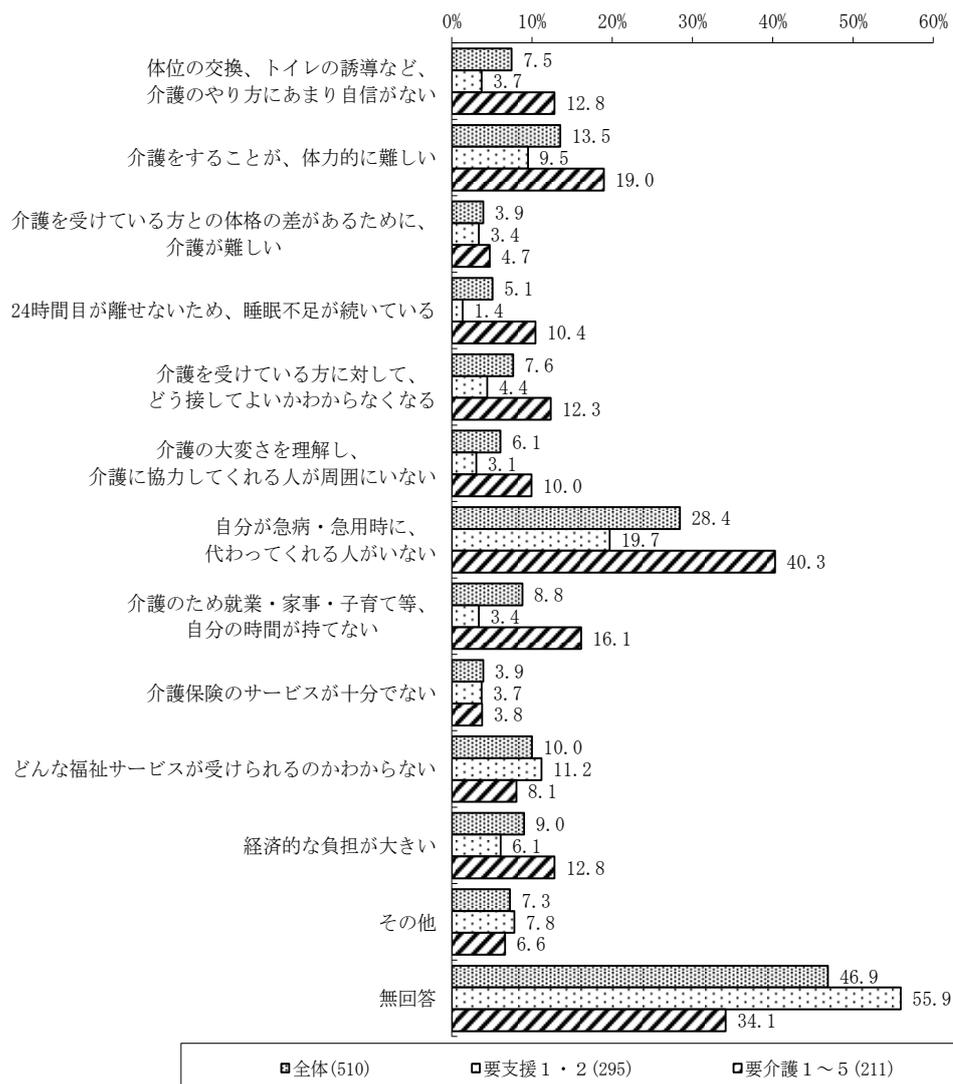
【要介護1～5（問28）】

「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が46.4%で最も多く、次いで「本人がうれしそうにしており、満足している」が31.8%、「本人よりも介護者の方が、サービス利用を増やしたいと感じる時がある」が28.0%となっています。



問 29. 中心となって介護をしている方は、介護の負担や悩みを感じることは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 体位の交換、トイレの誘導など、介護のやり方にあまり自信がない
2. 介護をすることが、体力的に難しい
3. 介護を受けている方との体格の差があるために、介護が難しい
4. 24時間目が離せないため、睡眠不足が続いている
5. 介護を受けている方に対して、どう接してよいかわからなくなる
6. 介護の大変さを理解し、介護に協力してくれる人が周囲にいない
7. 自分が急病・急用時に、代わってくれる人がいない
8. 介護のため就業・家事・子育て等、自分の時間が持てない
9. 介護保険のサービスが十分でない
10. どんな福祉サービスが受けられるのかわからない
11. 経済的な負担が大きい
12. その他 ()



【全体（問 29）】

「無回答」が 46.9%で最も多く、次いで「自分が急病・急用時に、代わってくれる人がいない」が 28.4%となっています。

【要支援 1・2（問 29）】

「無回答」が 55.9%で最も多く、次いで「自分が急病・急用時に、代わってくれる人がいない」が 19.7%となっています。

【要介護 1～5（問 29）】

「自分が急病・急用時に、代わってくれる人がいない」が 40.3%で最も多く、次いで「無回答」が 34.1%となっています。

問 30. 中心となって介護をしている方は、介護の際などで困った時、どのような手助け活動が必要ですか。 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. ごみ出し | 10. 病院以外の外出時の付き添い |
| 2. 買い物 | 11. 声かけ・見守り |
| 3. 調理 | 12. 日ごろの話し相手 |
| 4. 洗濯や部屋の掃除 | 13. 金銭管理、書類の確認 |
| 5. 玄関前や庭などの家周りの掃除 | 14. 市役所などでの手続き |
| 6. 簡単な力仕事 | 15. 家電器具やパソコン等の操作 |
| 7. 病院への送迎 | 16. その他 () |
| 8. 病院への付き添いや薬の受け取り | 17. 特になし |
| 9. 病院以外の外出時の送迎 | |

【全体（問 30）】

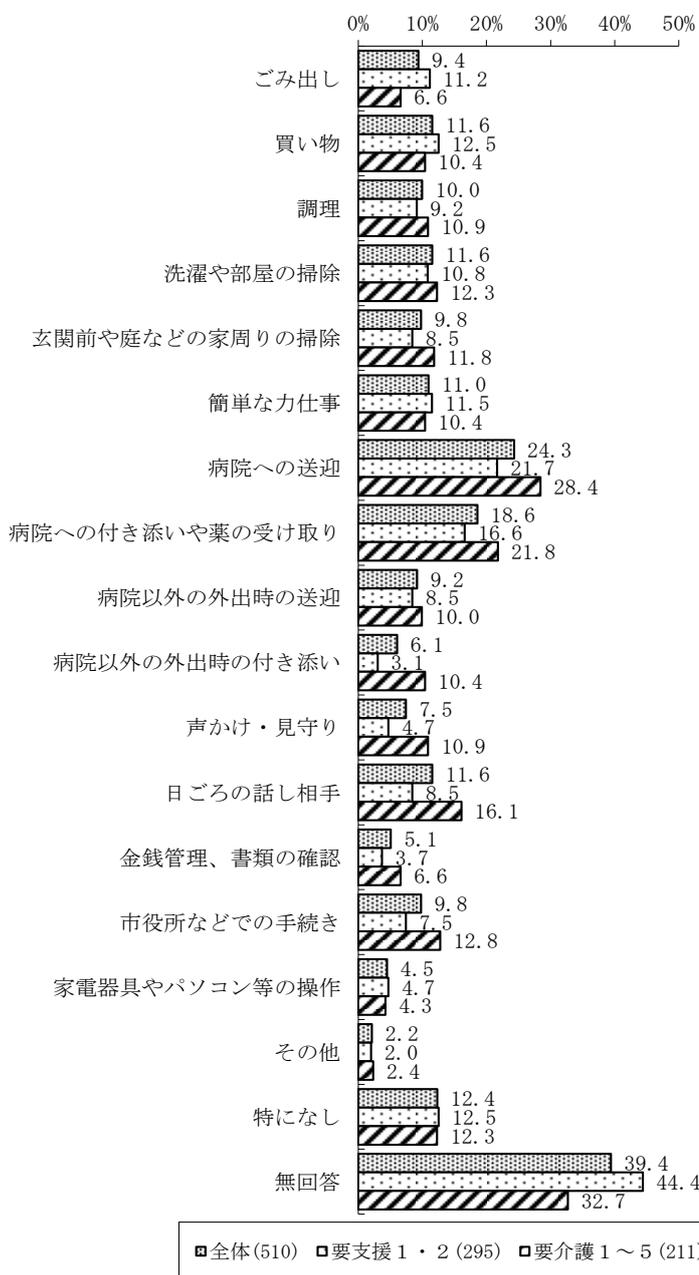
「無回答」が 39.4%で最も多く、次いで「病院への送迎」が 24.3%、「病院への付き添いや薬の受け取り」が 18.6%となっています。

【要支援 1・2（問 30）】

「無回答」が 44.4%で最も多く、次いで「病院への送迎」が 21.7%、「病院への付き添いや薬の受け取り」が 16.6%となっています。

【要介護 1～5（問 30）】

「無回答」が 32.7%で最も多く、次いで「病院への送迎」が 28.4%、「病院への付き添いや薬の受け取り」が 21.8%となっています。



問 31. 家族介護者の方が、介護者支援として充実を望むことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 介護者の会などの介護者同士の交流の場
2. 公的な機関などの個人的な相談機関
3. 介護教室などの介護技術が学べる機会
4. 介護者がリフレッシュできるような機会
5. 地域の方が認知症に学び、理解を深めるための認知症サポーターの養成講座
6. 隣近所の助け合いボランティア活動の支援
7. 保健福祉サービスの充実
8. 介護保険サービスの充実
9. 特別養護老人ホーム等の施設整備
10. その他 ()

【全体（問31）】

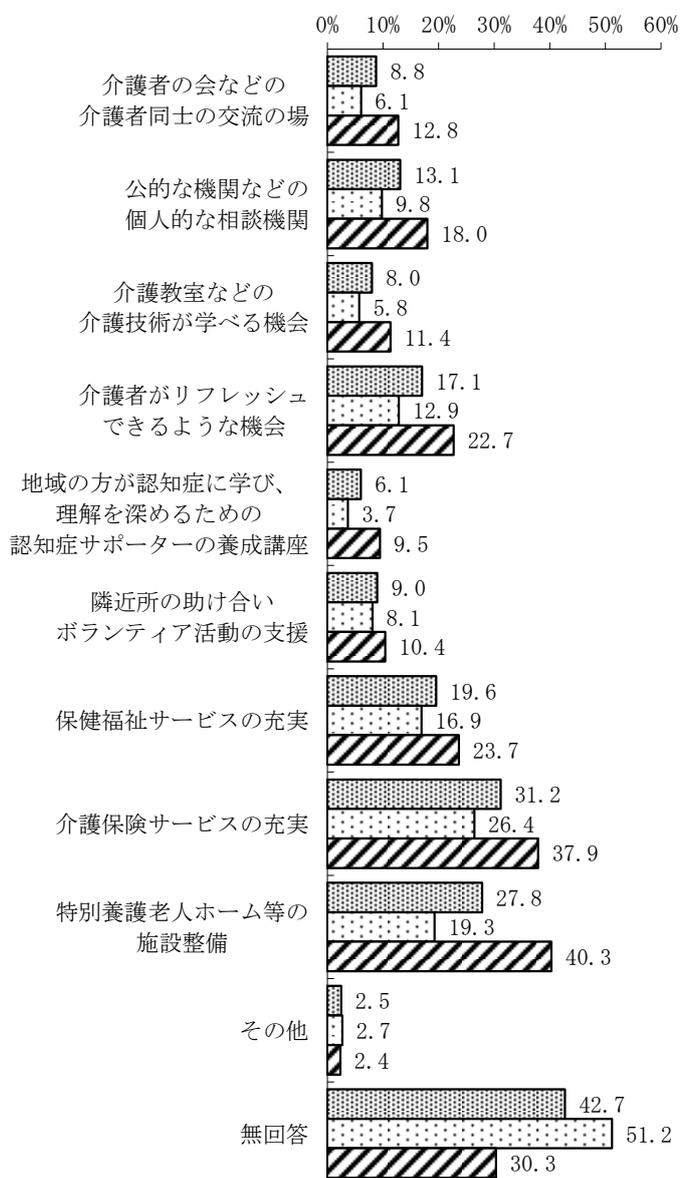
「無回答」が 42.7%で最も多く、次いで「介護保険サービスの充実」が 31.2%、「特別養護老人ホーム等の施設整備」が 27.8%となっています。

【要支援1・2（問31）】

「無回答」が 51.2%で最も多く、次いで「介護保険サービスの充実」が 26.4%、「特別養護老人ホーム等の施設整備」が 19.3%となっています。

【要介護1～5（問31）】

「特別養護老人ホーム等の施設整備」が 40.3%で最も多く、次いで「介護保険サービスの充実」が 37.9%、「無回答」が 30.3%となっています。



■全体 (510) □要支援1・2 (295) ▨要介護1～5 (211)

介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

129 名の方が意見を寄せました。

【内容】	【件数】
介護保険サービスの利用について	26 件
サービスや物品の支援の充実	26 件
経済的負担の軽減	20 件
介護保険制度に関すること	19 件
自分自身(宛名ご本人)の現状について	18 件
施設の充実	17 件
行政(組織・職員・取り組み等)への意見、質問	10 件
その他の意見	38 件

【介護保険サービスの利用について】

- 介護が必要になったとき、何をどうすればいいのか非常に分かりにくいと思いました(パンフも説明も)。幸い、病院のソーシャルワーカーの方等医療スタッフの助言・ご協力があって、ケアマネさんと出会いとなんとかかなりましたが、もっと、仕組み等が明快であればいいと思います。
- 歩行困難で要支援 1、支援センターの仲介で葵の園に入所できまして、万全の体制で治療をすすめていただいております。100%満足です。自分が病気になって支援センターを利用するまでは介護予防、支援という制度があることをまったく知りませんでした。要介護の段階まで進んでしまう前に、この「介護予防・支援」という制度を徹底的に利用すべきでしょうし、世の中の一般がこの制度についてもっと知識を持つべきでしょう。介護施設では、理学療法士さんを始め、職員の皆さまがその高度の才能を生かして活躍しておられますのですが、そのことが世の中一般には、ほとんど知られていません。要介護の段階まで進まないために、そのことをもっと世の中に周知してほしいと思います。
- 介護 10 年目、年齢も 100 歳近くなり、病気だけでなく体力も衰えてきているので、今日明日と言うことではないが、日々の生活の中で、一人では出来ないことがいろいろあり目が離せず、介護者の不休がまだまだ続く…。デイサービス、通所リハビリ、利用していますが、土日が休日なので用事があったりするとそのたびにショートがとれば 2、3 日利用しています。1 日だけ用事があるときも宿泊となり、デイが土日あればと思うことも多々あります。しかし、現在利用している施設は病院と連携しているという利便性もあり、長年通っているのも、本人のためにも今さら変えることも考えられず、現在借家ですが、送迎してもらえる地域に住んでいます。私介護者は短時間の仕事に出ています。本

人が在宅のとき（一人でおいておいては転倒したこともあり）は、近年では出られなくなり、短時間見守り、話し相手くらいのボランティアの方が近くにいらしたらと考えられます。

- 介護保険制度ができて、とても嬉しく思っています。夫は一步も外出しませんので週 2 回のデイサービスを午後から受けていますが、外の空気もすって気分がよいかと思います。私も少しの時間ですが、心が安まります。ありがとうございます。助かっています。
- もっと情報が欲しいです。佐倉のどこで相談に乗ってくれるとか集まりや特老が出来たとかケアマネを通してだけでなく、インターネットやチラシで市からの連絡と一緒にとか、気軽に見られるところが欲しいですね。
- ケアマネの助言で介護保険を利用させていただき浴室に手すり、椅子など購入させていただき本当に大助かりです。ありがとうございました。福祉サービスの件ですが今は 1 人で出掛けられないのでお食事会の案内が届いても手作りのお弁当を楽しむことが出来ないのが残念です。年に何回か手作りのお弁当が届くと嬉しいのですが私のわがままでしょうか。
- 在宅でサービスを使っている方も多くいると思いますが、本人と家族ではサービス内容のギャップがあると思います。少し理解力があっても家族の思いとは裏腹、自宅に入れば「大丈夫」と本人達は思っているでしょうが、こちらサイドからすると大変心配なこと、民生員の方や福祉員の方々が在宅でそれも家族介護している方々とどれだけ認識しているのでしょうか？支援活動があっても仕事に追われ、電話も出来ない方もいると思います。その家族への声掛けを充実させて欲しい。

【サービスや物品の支援の充実】

- 認知症の介護負担についての認定がされにくいと感じます。身体的に見える故障がないからそうなるのでしょうが、身の回りには介護する側が耐えかねて DV になった例も複数聞いていますし、自分も覚えがあり、非常に切迫する場合があります。初めてデイサービスに送り出したときの数時間の心の軽さは今も忘れません。介護には家族ゆえにできること、家族でなければできないことがあると同時に、プロの介護にお任せすることで、質的量的に充実した介護を施せる部分も多くあり、その両方を上手に棲み分けしていくことが理想だと思います。いずれにしろ、福祉によるサービスに感謝し、今後共よりよいものとともに工夫していただきますようお願いいたします。ありがとうございます。
- 現在母（要支援 1）を夫婦でみている。デイサービスにも通い 90 歳を過ぎても健康で大病なく暮らしています。今後、私どもも 70 歳を迎えることを思うと、近い将来、アンケート内容のすべての事柄に不安を感じる事となる。健康面や経済面での不安を少しでも解消されるような、サービスの充実を願う。近所住人同士での相互の助け合いも必要とは思いますが、互いに高齢者となるので、公的なサポートでそういう仕組みが作られれば良いと思う。

- 要支援 1、2 を現在の介護サービスから切り離して地域活動に変えると聞いています。現在デイケアに通って、ハードリハなどの機械を使って身体を動かし、入所始め介護 2 だったのが支援 1 に回復し喜んでいますが、これからのサービス内容によっては私たちのような回復または体調維持はできなくなるか心配です。ある程度の自己負担は増えても、よいサービス施設ができることを望みます。
- デイサービスは朝迎えで夕方まで 1 日のサービスだが、1 日だと長いという高齢者が多い。そのため、行きたくないということで結局利用できない。半日のデイサービスをもっと増やして欲しい。周囲に同意見の方がとても多いので、今回記入しました。
- ・居場所が分かる GPS を貸し出し（無料）していただくと安心する。・週に一度夕飯のサービスがあるとありがたいです。※行方不明者の呼び出しの広報車ですが、内容が全然聞こえません。何を言っているのか全く聞こえません（大勢の方が言っているのを考えてもらいたいです）。
- 介護する側のサポートの充実を望みます。まもなく 90 歳になる夫の母は現在は認知症が認められる程度で身の回りのことは自力で出来ます。私は 67 歳、これからは体力に問題が出てくると思っています。同時に精神的にも疲れが増すことは分かっています。相談に乗っていただける窓口の一層の充実をお願い致します。

【経済的負担の軽減】

- 年齢 66 歳で収入は年金のみです。医療費負担が現状 3 割負担であり、かなり支払いが厳しいところです。酸素補給等の器具リースの支払いも高額であります。介護サービスを受けるような状況となった場合には、保険料支払いの段階の減額等の施策について考慮いただけないでしょうか。
- 介護保険制度や高齢者福祉サービスは被介護者や介護者の精神的負担の軽減など、充実を求めたいが、財政面など限りがあり、次の世代の負担等考えると心苦しい。
- デイサービスに行かなくても入浴サービスだけ受けられるところがあればいいです。デイサービスだと介護保険の負担が高いので、安く入浴サービスだけ出来るところがあればいい。お願いします。

【介護保険制度に関すること】

- 政府の高齢者対策は、在宅介護を増やすという方針だったと思うのですが、それでいて女性の社会進出を望むというのは矛盾するように思っています。女性の社会進出のためには、保育所と高齢者の入所施設が必要だと思います。介護は一人一人、家庭状況と必要とされる介護が違うため一言で言い表せないことが多く、今回のアンケートも書き始めるまで何回も内容を読み、考えました。私が介護をしているのを知っている方々からは「まずどこに相談したらいいのか教えて」という言葉を何回か聞きました。またある方は、民生

委員に相談したけれど、家や土地があるから駄目と言われたと「介護保険」と「生活保護」がごっちゃになっている方もいました。必要な人たちに届く保険制度を望みます。

- どんな方も興味がなければ介護のことを知ろうとしません。自分の身近に介護が必要な方がいても、自分と関わらなければ協力しようとしません。しかし、そういう方々は決して悪い人達ではなく、ごく普通の常識のある人達とされている人なのです。ここに問題があると思います。これからはもっともっと、多くの場で介護、介護保険制度や福祉サービス、認知症等のことを学べるようよろしくお願い致します。
- 医療依存度が高い要介護者ほどショートステイなどを受けてくれる施設がないため、在宅療養生活を続けるために家族が無理をすることが多い。病院から在宅へとシフトしていく中で、家族構成の変化や社会の状況、医療の進歩などを考えると、介護保険制度の内容自体の検討が必要。現代は認知症や重度（医療依存度の高い）要介護者が増加し、介護者が仕事をしており、要介護者が日中独居となる。介護者が未婚の子、介護者が高齢（高齢世帯）などが多くなっている、その状況に応じたサービスでなければ、在宅療養は継続できない。レスパイトケアが充実することで在宅介護の医師のある介護者の負担軽減になり、介護継続できるのではないかと思う。介護職も常に不足の状況でサービス提供されており、自己研鑽を積むことも出来ていないように感じる。ケアの質を担保するための方法も検討する必要があると思います。

【自分自身(宛名ご本人)の現状について】

- 妻の介護をしている私も、週 3 回の腎臓透析を行っていますので、現在他に病気もなく元気ですが、今後のことを心配しています。
- 高齢ですが認知症とは診断されていないため、もっぱら体力、身体を動かすことの低下が問題です。在宅でショートステイ中は、私は家に帰り食事をし、少々リフレッシュ。デイサービス時は時間を気にしながら食事、役所、買い物をして過ごしています。今後の不安は、自分の足でトイレに行けるか、歩けるか、車に乗れなくなったときのお風呂、美容散髪、家の中での車椅子の使い勝手などが心配です。
- 私（アンケート当事者）自身は現在要支援 1 で介護のお世話になりつつ、自宅で一人暮らしをしています。私の妻は昨年暮れ（12月始め）まで介護 3 で二人暮らしをしていましたが、転倒し車椅子生活になり、昨年、介護老人保健施設に入所し、現在に至っております。居宅サービスに戻るべくリハビリにつとめていますが、車椅子生活は避けられず居宅はなかなか難しい状況です。
- 父は認知症で介護 5 で何も分からないのに力があり困ります。
- 主人も脳梗塞になって 11 年目になりました。今まで、私 1 人で頑張って世話をしていますが、今回は病院の先生から介護施設に入れた方が良いでしょう。家に連れて帰っても無理だと思いますよ。と言われて入所しました。けれど 1 ヶ月に 18~20 万くらいかかるのでこれから先が金銭的に心配になっています。

【施設の充実】

- 入れる施設があるといい（元気なうちに）。一人で動けなくなったときのことを考えると不安。
- 父の認知症で徘徊など、大変苦労した10年ほど以前に比べると、介護は有料老人ホームが多数できたり、受け入れ施設の充実が夢のようです。おかげで母はお世話になっています。特養の順番待ち、150～200番と聞かされ途方に暮れる日を、もう二度と経験したくないなあ。感想になりますが、私にとってまずは「量」です。極論を言うと、質の充実は後回しにしても「数」です。
- 佐倉市では低所得者が入れる老人介護施設が足りない様な気がしますが、もっと作っていただきたいです。何年待ちとか聞きますが淋しいことです。
- 現在は老健に入所中です。特養入所を待っています。新しい施設が出来、数が多くなるのはよいと思いますが、プライバシー保護のため、個室中心の施設になります。個室料が費用負担大です。それと特養でも24時間対応が整ってないところがあるとは知りませんでした。要介護5胃ろうのため全介助必要。家での介護は困難、老健を頼みの綱としています。

【行政（組織・職員・取り組み等）への意見、質問】

- 介護保険を最初に受ける時、市の職員の方より、どのようなサービスが受けられるかを少し説明してくれたが、もっと詳しく説明して欲しかった。今までにあまり知らないことがあった。私自身も市より頂いたしおりを良く読まなかったこともあります。もう少し、時間をかけて説明する機会を欲しかった。
- 市からの調査員の方々の調査の仕方に差があります。今年亡くなりました主人は関節疾患と内臓にも問題があり、1人で椅子から立ち上がることも、家の中でも足や肩が痛い私に支えられて動く状態でした。支援2から支援1にされてしまい、週2回通うリハビリを楽しみにしていましたが、頑張っていましたが、週1回になってしまい、やる気を無くしてしまいました。その後、私の調査の時に主人も側にいまして、その様子を見た調査員の人がこの状態で支援1ですかと驚いていました。
- 介護保険制度、高齢者福祉サービスなど、正直、本人や介護者が勉強したり、自分達で調べなければ分からないことばかりなので、初めて介護する人、介護を受ける本人もわかるよう説明や情報を教えて欲しい。市役所など手続き等で行くと、本人達が「知っているよな？」的な感じで話される方が初めて介護制度等を聞きに行った時すごく感じました。何を最初に初めて、どういう手続きをすればと言うことを誰が聞いても分かるようにして欲しいです。

【その他の意見】

- 近所に住む人とは少しでも会話のできる人でありたい。
- 将来的に老老介護になり、介護する側の健康に不安がある。突然の入院（介護者の交通事故等）に入所する施設がない場合、1人にしておく不安がある。
- 懸命に真面目に生きてきた老人に不安、不信、むごい生活をさせない社会を創造して欲しい。その為には不正、不信は断じて無くす社会を必ず造って欲しい。そうすれば必ず甲斐ある社会が出来ると信じます。
- 本人は認知症が進み、何回も同様の話、記憶にないと言うことも多くなりました。自分には子供たちが近くに住んでいることもあり、子供たちに頼っています。この間、入所の見学会に連れて行きましたが、自分には関係ないとのこと。私たち、子供たちも家庭があり、そして孫もあり、常に母のことが頭から離れず、体調も崩しながら、ほとんど毎日顔を出しています。母のためにも安全な場所に移ってほしいと子供たちは思っているのですが、なかなか話が進みません。ケアマネの方もショートステイなど勧めてくれますが、誰が寝たのか分からない布団で寝たくないとのこと。このまま母に縛られて、私たちが老年をとっていき、主人も退職し、施設にも行けず、先の見えない生活がいつまで続くのでしょうか。現実です。
- 以前は「デイサービスには行きたくない」と言って、この話をすると怒ったりしました。民生委員の方に事務所を紹介され、参加したら、意外にも週3回行ってくれるようになりました。「本当は行きたくない」ということがありましたが、なんとか行っています（本人は人と話をするのが、好きなので、良かったのだと思います）。デイサービスに行ってくれて助かっています。今の事務所の朝迎えに来てくれる人は女性3人男性2、3人ですが、男性の方がどちらかという優しい感じがします。でも皆さん一生懸命やっています。ありがたいです。
- 足腰が痛いため病院、買い物、外出、郵便局に全てタクシーを使いますので、日常生活に出費が重なります。公のバスを利用させて頂く方法をお考え頂けませんでしょうか。度々お願いしておりますが、実現致しません。宜しくお考え頂きますようお願い致します。ビンの回収を個別にお願い出ませんでしょうか。集める場所までが重いので困ります。生ごみ以外は当日以外の日に出してはいけませんでしょうか、お考え下さい。
- 毎日有料老人ホームで寝食し、週1～2回は現住所のマンション（無人）に行き、配送された郵便物等を受け取る。電気、水道、ガス、電話、トイレは常時使用可能にしてあるが、滞在時間が短いので掃除せず埃だらけ。あえて在置してある荷物も多く整理できず当惑している。

佐倉市高齢者福祉・介護計画見直しのためのアンケート調査報告書

発行日：平成 26 年 10 月

発行：佐倉市 福祉部 高齢者福祉課

〒285-8501 佐倉市海隣寺町 97 番地

TEL：043-484-1111（代表）

FAX：043-486-2503
